



始



改訂 近代銀行簿記

教授資料

長谷川安兵衛著



東京 富山 房 神田

教授上の御願ひ

- (1) 外國爲替の章以外では外國語の挿入を殊更差控へましたから、この點は教授の際補つて戴きたい。
- (2) 章末の練習課題は生徒の實力を養ふためと、授業時間節約のため成るべくは課外として自修させて戴きたい。
- (3) 著者の乏しい經驗から觀ますと、勘定科目の名稱と仕譯法を十分會得させることが、第一要件であると考へますから、第三章には特に力を注いで戴きたい。たゞこの章を逐一説明するため多くの時間を要し、他の説明が不十分になり勝ちの虞がある際は、章末の練習課題をミツシリやらせて戴きたい。
- (4) 帳簿記入例の下に掲げてある小活字の注意も、重要な點ですから、教授の際必ず説明して戴きたい。
- (5) 最後の綜合記帳練習問題は第七章迄の説明を終つてから、初めて戴きたい。

次にこれは私個人の御願ですが、若し本書の結構に就いての不備又は誤謬或は誤植等に御氣附の際



は何卒東京早稲田大學商學部會計學研究室宛に御
教示を戴きたい。

目次

第一章 序論	1
銀行の種類 日記帳 シヤンド	
第二章 業務と事務組織	2
銀行法規の變遷 銀行の組織 銀行業務 銀行の資本金 單位制度事務組織 分課制度 大規模銀行 統制部と營 業部	
第三章 勘定科目	7
標準勘定科目 勘定體系 銀行引受手形 荷付爲替手形 勘定 手形貸付 當座貸越勘定 偶發債務 對照勘定 所有動産不動産勘定 拂込未済資本金 小切手保證の處 理法 法定積立金缺損金勘定 株式配當金勘定と配當金 勘定 有價證券賣買益	
第四章 傳票制度	11
傳票制度 傳票の作成 收納傳票 支拂傳票 振替傳票 全部振替 一部振替	
第五章 日記帳	13
帳簿組織の表 補助簿 日記帳の記入 増補日記帳 日 記帳改良問題	
第六章 總勘定元帳	15
總勘定元帳 機械記入元帳 ルースリーフ元帳 ポスト ン元帳 標準式と殘高式 轉記法 試算表 日計表と月 計表 月計表独自の検査法	

第七章 補助簿	19
統括勘定と補助元帳 補助簿の分類 當座預金元帳 定期預金記入帳 収納帳 支拂帳 手形貸付記入帳 荷付爲替手形記入帳 商業手形元帳 國債證券賣買帳	
第八章 手形交換	24
手形交換 手形交換所所在地 社員銀行 社員銀行の義務 東京手形交換所社員銀行 銀行集會所 理事 主事 交換回数 交換方 交換尻決済 手形交換の記帳 代理交換を委託する銀行	
第九章 内國爲替會計(他店會計)	28
他店會計 取立項目と輸送項目 他所割引手形 他所代金取立手形 送金爲替 送金爲替取組の際の仕譯 當方口勘定と先方口勘定 他店勘定元帳記入法 他店勘定元帳の形式 爲替尻決済 合同他店勘定	
第十章 内國爲替會計(支店會計)	33
銀行の合同現象 支店と出張所の區別 支店勘定 支店勘定元帳 一方通知主義	
第十一章 外國爲替會計	36
外國爲替銀行 外國通貨勘定 Nostro Account	
第十二章 決算	37
決算期間 減價銷却に於て銷却すべき金額の算出法 有價證券の評価 損益勘定 繰越日記 財政表 財産目録 損益計算書の形式 損益計算書の法的雛形 考課狀 貸借對照表の形式 貸借對照表の法的雛形 本支店合併貸借對照表 貸借對照表の公告	
練習課題解答	
仕譯練習課題解答.....	43

傳票記入練習課題解答.....	46
日記帳練習課題解答.....	49
綜合練習課題解答.....	51
手形交換取引練習課題解答.....	53
他店會計練習課題解答.....	55
支店會計練習課題解答.....	59
決算練習課題解答.....	61
綜合記帳練習課題解答.....	66
附錄 單一銀行貸借對照表の分析	1-24

改訂 近代銀行簿記

教授資料

第一章 序 論

〔1頁〕 銀行の種類 我が國では銀行を次の三つに分類する。

(1)普通銀行 (Ordinary Bank)

(2)特殊銀行 (Special Chartered Bank)

(3)貯蓄銀行 (Savings Bank)

普通銀行とは、銀行法の下に設立される銀行をいひ、大部分の銀行はこれに屬し、主として商業資金の供給をなすものである。特殊銀行は特別法令に據つて設立され、或種の特権を有する銀行で、日本銀行・横濱正金銀行・朝鮮銀行・臺灣銀行・日本勸業銀行・北海道拓殖銀行・日本興業銀行・朝鮮殖産銀行・農工銀行はこれである。貯蓄銀行は貯蓄銀行法の下に設立され、複利の方法を以て拾錢以上の預金を公衆から受ける銀行である(普通銀行では1回10圓未満の預金は受けない)。

銀行簿記 Bank Book-keeping

〔2頁〕 日記帳 銀行簿記でいふ日記帳と、商業簿記乃至會計學でいふ日記帳の區別をはつきりしておかねばならない。

〔3頁〕 シヤンド は Alexander Allan (又は Allen) Shand といひ、當時英國東洋銀行の書記であつた。大藏省が同氏を聘して講習所を開き銀行簿記を講述させ、後これを纏めたものが銀行簿

記精法」である。第一回講習生の中には前第一銀行頭取佐々木勇之助氏の如き逸材があつたとのことである。シャンドは後年英國五大銀行の一である Westminster Bank の重役となつたが、昭和五年死去した。この死去に就いて東京朝日新聞(昭和五年六月十六日附)は次の如く報じてゐる。

(某所着電) 日本の親友として朝野多数の人々に記憶されて居る英國のアランシャンド翁は明治初年大蔵省のお雇となり、我が國銀行制度の創始に與つて力あつた人で、澁澤子爵等と親交ある人であるが、高齡と共に近年非常に衰弱し、昨年(昭和五年)の冬は南歐に避寒して居たが、去る十二日英國パークストンの別荘で八十六歳の高齡をもつて死去した。翁は日露戦争當時にはベース銀行の重役として我が國の外債募集に非常に努力した人で、最近(昭和五年)はウェストミンスター銀行の重役を勤めて居た。

第二章 業務と事務組織

〔3頁〕 銀行法規の變遷 我が國に於ては、最初の銀行條令は明治二十三年八月二十五日法律第七十二號を以て公布され、二十四年から實施の筈であつたが、商法施行延期に準じて延期され、二十六年一月一日から實施された。次いで三十二年商法の改正に伴ひ一部改正があり、續いて翌年にもまた改正が行はれたが、その後暫くなく、越えて大正五年に第三回の大改正が施された。然るにその後金融經濟事情の變動につれ、これでは尙不十分なりとて昭和二年に根本的改正をなし、舊法規を廢して新に名も銀行法及同施行細則と變へ、昭和三年一月一日から實施されるに至つた。

銀行の組織 については、舊法では個人組織でも、合名若しく

は合資組織でも、株式組織でも、乃至は株式合資組織でも差支なかつたが、昭和三年實施の銀行法はこれを株式組織に制限した。尙資本金に就いても原則として百萬圓以上を要求してゐる。但し勅令によつて指定する都市(現在東京市及び大阪市)に本店又は支店を有する銀行は二百萬圓以上でなければならぬ。

〔4-5頁〕 銀行業務 を分類すれば次のやうである。

- | | | |
|----------------|---|---|
| (I) 主要業務 | (イ) 預 金... | { 受信業務として知られ、銀行の活動資本を構成する。 |
| | (ロ) 貸 付... | { 両者は興信業務として知られ、銀行資金の運用方面を代表する。 |
| | (ハ) 割 引... | { 本來の性質から見れば附屬業務であるが、その取引が極めて頻繁に發生するのと、また取引額も互額であるため、現今これを主要業務と看做す。 |
| (II) 附屬業務 | (ニ) 爲 替... | { 本來の性質から見れば附屬業務であるが、その取引が極めて頻繁に發生するのと、また取引額も互額であるため、現今これを主要業務と看做す。 |
| | (イ) 信託業務... | { 主として擔保付社債の擔保物の保管及び擔保權の實行に關する信託行爲の如きもの。 |
| | (ロ) 代理業務... | { 公社債募集事務・株式の募集並びに拂込事務・公社債の利拂又は株式配當金支拂事務・有價證券賣買等の代理事務の如きもの。 |
| | (ハ) 支拂承諾... | { 銀行が顧客先に對し支拂の引受又は保證をなすが如きもの。 |
| | (ニ) 代金取立... | { 手形、その他の代金取立。 |
| | (ホ) 有價證券の賣買... | { 遊資を有價證券に投資し、これを處分すること。 |
| | (ヘ) 有價證券の貸借... | { 保證品又は擔保品として有價證券を貸付け又は借入れる。 |
| | (ト) 保護預り... | { 一定の設備を施して貴重品(寶石・貴金屬・有價證券・重要書類等)を預る。これに封緘預りと披封預りの二種がある。 |
| (チ) 貸金庫... | { 保護函又は金庫を備へて一定期間貸付ける。これは銀行としては新しい業務の一つである。 | |
| (リ) 兩 替... | { 邦貨と外國貨幣との交換であるが、僅かの外國爲替銀行に於てのみ行はれてゐる。 | |
| (ス) 地金銀の賣 買... | { 金銀の延棒又は古貨幣の賣買の如きもの、我が國では主として發券銀行に於て行はれる。 | |

なほ我が國で擔保付社債の信託行爲をなす銀行は、普通銀行では三井・安田・第一・川崎・第四・日本信託・三和・住友・野村・舊備銀行の九行、特殊銀行では日本興業・北海道拓殖・臺灣・朝鮮・朝鮮殖産銀行の五行である。

〔5頁〕 銀行の資本金 銀行は預金を吸収し、これを他方に貸付け、或は有價證券を買入れて利殖し、事業を經營するものである。随つて營業用土地・建物・什器等に要する固定資本以外は自己資本を要しない譯である。しかしながら銀行業經營の基本資金として、また債務支拂の保證として相當額の資本を要することはいふまでもない。

資本金の多寡は銀行の信用及び収益に大きな關係がある。即ち資本金が多ければ債務支拂の保證が確實であるから、信用が大となり、多額の資金を吸収することができ、随つて多額の貸出をなし収益を擧げることができるが、資本金が過小ならば十分なる信用が得られず、預金の吸収が困難で、貸付資金にも不足を來す懼がある。

〔6頁〕 單位制度式事務組織(Unit System) この制度が先づ試みられたのはカリフォルニア州に於けるロスアンゼルス第一國立銀行(First National Bank of Los Angeles)を嚆矢とする。この組織の目的は、顧客を小集團に分類して係員をして自己擔當の顧客先を知らしめるにあり、銀行を幾つかの窓口に分割し、これに係員と記帳方を置き、一係員が單位となつて收納及び支拂の兩者を兼ね、記帳も同一部署(Division)に於て悉くなすものである。即ち顧客をアルファベット順に幾つかの集團に分類して、顧客は常に同一窓口で取引をするものである。この制度の特徴は窓

口が五六以上存在する時最もよくあらはれるといはれ、カリフォルニア地方を初めその他にも漸く採用され、相當満足すべき成績を擧げてゐるとのことである。我が國で、この單位制度を試験的に採用してゐる銀行は住友銀行のみであるが、同行は事務能率増進のためこの制度を大阪市立賣場支店と上町支店に實施試験中であると。

〔7頁〕 分課制度(Departmentalization) 我銀行の事務組織は悉くこの分課制度を採用してゐる。しかしながら、その分課の仕方は普通規模の銀行と大規模の銀行との間には著しい相違がある。

營業部 Operating Department

非營業部 Non-operating Department

營業部は直接顧客に面接して營業取引をなす部門であり、これに反して非營業部は専ら經營並びに統制上の内部的事務を掌るものである。かやうに二大部門化することは一般的原則であるが、これを業務の性質により更に幾つかの課或は係に分割するのが普通である。教科書に掲げたものは標準的な一例である。

營業部のうち、預金課は一切の預金事務を處理する課で、この課はまた必要に応じて各種預金毎に係を別にする。貸付課は一般貸付事務及び割引事務を處理する。そしてその取扱事務が多い場合は更に貸付係と割引係に區分する。爲替課は爲替事務、即ち送金・手形類の取立支店或は他店に對する事務を處理する。以上の三課の處理する業務は銀行の主要業務であるが、

附屬業務といはれるものは大體一括して證券課で取扱ふ。即ち證券課は有價證券の賣買受託、證券の貸借、保護預り、擔保品の保管をなし、場合によつては矢張りそれぞれの係に分けられる。

大規模銀行 我が國では從來、安田・三井・三菱・第一・住友の五行を五大銀行(Big Five)と呼んでゐたが、近年はこれに三和銀行を加へて Big Six といふやうになつた。その公稱資本金は次の通りである(152-153頁挿畫参照)。

安田銀行 1億5千萬圓。我が國最多の支店網を有する銀行で、その數180餘に上る。これが今日の大をなしたのは大正12年の安田系銀行の大合同の結果である。

三井銀行 1億圓。遠く天保年間の三井兩替店に端を發し、三井組、私人會社三井銀行、合名會社三井銀行を経て、明治42年株式會社三井銀行となつた。

三菱銀行 1億圓。第五十九國立銀行を買収したもので、三菱合資會社銀行部として營業し、大正8年株式會社三菱銀行と變更。三井・三菱兩銀行は比較的支店數が少くいづれも20内外に過ぎない。

第一銀行 5,750萬圓。明治6年三井組を主として設立された國立第一銀行(口繪参照)の後身。明治29年株式會社第一銀行と改稱。

住友銀行 7,000萬圓。明治6年設立の住友質舖が明治28年私人銀行住友銀行、同45年株式會社住友銀行となつた。

三和銀行 1億7,200萬圓。昭和8年鴻池・山口・三十四の三行が合併して新設された。

[8頁] 統制部 Controlling Department

營業部 Operating "

統制部は専ら經營政策の指針を授けると共に、本支店の營業狀況の監督統制をなす部門である。營業部は既に説明した普

通規模銀行とほゞ同一原則で分課されるが、たゞ業務が多端であり、且つ複雑であるため、一層細分課されるのが普通である。

第三章 勘定科目

[10頁] 標準勘定科目 銀行・信託會社等の如く一定の標準勘定科目が與へられてをり、斯くて同一性質の企業に於て統一ある標準勘定科目に従つて會計整理をなすものを「統一的會計制度(Uniform Accounting System)を採用す」といふ。

[12頁] 勘定體系 ここに掲げた勘定體系は昭和三年から實施された銀行法施行細則の雛形に示されてゐるものであるが、舊雛形に示すものとの相異を表を以て示せば別表の如くである。尙この點に就き更に詳細に知りたいときは拙著「新銀行會計研究(森山書店發行)第一章を繙かれない。

[13頁] 現金勘定 Cash Account 金銀勘定ともいふ。

[14頁] コールローン勘定 Call Loan Account

[18頁] 外國證券勘定 Foreign Securities Account

[20頁] 銀行引受手形 (Bank Acceptance Bills Discounted Account)

この銀行引受手形に對し、商業手形 (Commercial Bills) に買主(即ち支拂人)が引受をなした場合は商業引受手形 (Trade Acceptance Bills) といふ。

[21頁] 荷付爲替手形勘定 Documentary Bills Discounted Account

この勘定で整理するものは内國荷爲替取組の場合に限り、外國荷爲替を含めない。

[23頁] 手形貸付 この場合手形は單記名手形(また單名手形、

Single Name Paper, One Name Paper) である。この手形は手形作成者即ち振出人たゞ一人の当事者が支拂の義務あるに過ぎぬ手形で、約束手形及び自己宛爲替手形の如きはこの例である。これに對し裏書された約束手形、通常の爲替手形の如く、支拂義務者が二人以上ある手形を複記名手形 (Two Name Paper, Double Name Paper) といふ。

〔25頁〕 當座貸越勘定 (Overdrafts Account) 當座貸越もまた貸付の一方法であるが、これは通常の貸付と幾分形の變つたもので、銀行が當座取引ある者に限り、特定契約により一定期間一定額を限度として、預金残額のない場合にも小切手の振出を許す場合に生ずる貸付をいふ。さうしてこの限度を通常貸越極度 (Limit of Overdraft) と呼んでゐる。

〔28頁〕 偶發債務 銀行が顧客先に對してなす支拂の保證または引受を一括して支拂承諾といふが、銀行はかやうな信用を貸與したのみでは純粹の負債を生じたものとはいへない。しかしながら被保證者に一旦何等かの事故が発生した場合には、銀行は支拂承諾についての責任を負ひ、支拂の義務を生ずる。例へば銀行が顧客先の振出した手形に保證した場合、この手形が満期日に無事支拂はれれば支拂と同時に保證責任は解除され、銀行にとつては何等の影響もない。しかし若しその手形が不渡となれば、銀行は支拂人に代つて支拂の義務を生ずる。かやうに事故發生により支拂義務を負ふといふ條件付の債務を通常偶發債務 (Contingent Liabilities) といふ。

この偶發債務の處理法として次の三法がある。

貸借対照表

新 雛 形	舊 雛 形	新 雛 形	舊 雛 形
資 産 (借 方)	資 産	負 債 (貸 方)	負 債
現金預ケ金勘定	現金 有 高	預 金 勘 定	當 座 預 金
現 金	預 金	特 別 當 座 預 金	特 別 當 座 預 金
預 金 (内日本銀行への預ケ金)	地 金 銀	通 知 預 金	通 知 預 金
地 金 銀 外 國 通 貨	コ ー ル ロ ー ン	定 期 預 金	定 期 預 金
コ ー ル ロ ー ン	有 價 證 券	借 用 金 勘 定	借 入 金 形
有 價 證 券	國 債 證 書	借 入 金 形	再 割 引 手 形
國 債 證 書	諸 公 債 證 書	再 割 引 手 形	コ ー ル マ ネ ー
(内手許有) 債 高	大 藏 省 證 券	借 入 有 價 證 券	借 入 有 價 證 券
地 外 國 證 券	社 債 券	外 國 爲 替 勘 定	外 國 爲 替 勘 定
社 債 券	割 引 手 形	賣 渡 外 國 爲 替	賣 渡 外 國 爲 替
債 式	荷 付 爲 替 手 形	外 國 他 店 借	外 國 他 店 借
割 引 手 形 勘 定	手 形 貸 付	他 店 借	他 店 ヨ リ 借
銀 行 引 受 手 形	手 形 貸 付	支 拂 承 諾	支 拂 承 諾
商 業 手 形	證 書 貸 付	雜 勘 定	雜 勘 定
荷 付 爲 替 手 形	當 座 預 金 貸 越	未 拂 配 當 金	未 拂 配 當 金
貸 付 金 勘 定	貸 付 有 價 證 券	未 拂 利 息 其 他	未 拂 利 息 其 他
手 形 貸 付	外 國 爲 替 勘 定	未 經 過 割 引 料 其 他	未 經 過 割 引 料 其 他
證 書 貸 付	買 入 外 國 爲 替	未 經 過 割 引 料 其 他	未 經 過 割 引 料 其 他
當 座 貸 越	利 付 爲 替 手 形	預 金 利 子 諸 稅	預 金 利 子 諸 稅
貸 付 有 價 證 券	他 店 へ 貸	株 主 勘 定	株 主 勘 定
外 國 爲 替 勘 定	代 理 店 へ 貸	資 本 金	資 本 金
買 入 外 國 爲 替	支 拂 承 諾 見 返	法 定 準 備 金	法 定 準 備 金
利 付 爲 替 手 形	動 産 不 動 産 勘 定	何 準 備 金	何 準 備 金
外 國 他 店 貸	營 業 用 土 地 建 物 什 器	何 積 立 金	何 積 立 金
他 店 貸	所 有 動 産 不 動 産	何 基 金	何 基 金
代 理 店 貸	株 主 勘 定	當 期 利 益 金	當 期 純 益 金
支 拂 承 諾 見 返	拂 込 未 済 資 本 金	(内前期繰越金)	(内前期繰越金)
動 産 不 動 産 勘 定	合 計	何 積 立 金 戻 入	何 積 立 金 戻 入
營 業 用 土 地 建 物 什 器			
所 有 動 産 不 動 産			
株 主 勘 定			
拂 込 未 済 資 本 金			
合 計			

(註 ●●印、名稱改正 ○●印、新設科目 ◎●印、消滅科目)

One Name Paper) である。この手形は手形作
 一人の当事者が支拂の義務あるに過ぎぬ
 び自己宛爲替手形の如きはこの例である。
 れた約束手形通常の爲替手形の如く、支拂義
 る手形を複記名手形(Two Name Paper, Double
 勘定(Overdrafts Account) 當座貸越もまた貸
 が、これは通常の貸付と幾分形の變つたもの
 ある者に限り、特定契約により一定期間一定
 金残額のない場合にも小切手の振出を許す
 をいふ。さうしてこの限度を通常貸越極度
 と呼んでゐる。

銀行が顧客先に對してなす支拂の保證ま
 て支拂承諾といふが、銀行はかやうな信用を
 純粹の負債を生じたものとはいへない。し
 者に一旦何等かの事故が発生した場合には、
 ついての責任を負ひ、支拂の義務を生ずる。

先の振出した手形に保證した場合、この手形
 拂はれれば支拂と同時に保證責任は解除さ
 何等の影響もない。しかし若しその手形が
 は支拂人に代つて支拂の義務を生ずる。か
 より支拂義務を負ふといふ條件付の債務を
 (Contingent Liabilities) といふ。

處理法として次の三法がある。

損益計算書

新 雜 形	舊 雜 形	新 雜 形	舊 雜 形
利 益	利 益	損 失	損 失
貸付金利息 有價證券利息 受入雜利 割引料 株式配當金 受入手數料 外國爲替買賣益 何賣買益 何償還益 有價證券貸付料 土地建物貸料 銷却債權取立益 未拂利息其 計 前記繰越金 何積立金 計	利 息 有價證券利息 割引料 株式配當金 受入手數料 外國爲替買賣益 何賣買益 何償還益 前記繰越金 計	預借金利息 借用金利息 支拂雜利 再割引料 戻割引料 支拂手數料 外國爲替買賣損 何賣買損 滯貸金銷却 有價證券價額銷却 何價額銷却 有價證券借入料 土地建物賃借料 稅 行員恩給及一時給與 給料當費 給手旅費 未經過割引料其 計 當期利益金 (內當期純益金)	利 息 割引料 手數料 外國爲替買賣損 何賣買損 滯貸金銷却 有價證券價額銷却 何價額銷却 稅 給料當費 旅營費 當期純益金 計
合 計	合 計	合 計	合 計

(註) ●印、名稱改正 ○印、新設科目 ◎印、消滅科目

(1) 全然取引として仕譯せず、随つて貸借對照表には表示しない。

(2) 取引として仕譯はしないが、支拂能力判斷の一資料として偶發債務の存在を貸借對照表の欄外に表示する。

(3) 偶發債務に對し對照勘定を設けて偶發債務を完全に表示する。

嘗ては我が國の銀行は概ね第一法を採つてゐたが、大正五年の銀行條令施行細則改正以來第三法を採らしめるに至つた。

「對照勘定(Per Contra Account) とは、支拂能力判斷の資料として偶發債務に對し偶發債權を對立せしめる場合、この對立する勘定を名付けるものである。この勘定の特徴として、平時に於ては支拂能力に影響を與へぬものである。

〔30頁〕 所有動産不動産勘定 この金額の多いのは不良貸付の多いことを暗示するものである。随つてかゝる資産は出来るだけ速かに處分すべきものである。

(注意) 2行目「銀行が所有する一切の動産」の次に「不動産」を挿入。

拂込未済資本金 臨時産業合理局財務管理委員會で未定稿として發表した標準貸借對照表に於ては拂込未済株金は資産として借方に計上せず、貸方株主勘定の公稱資本金より控除して示すべきものとし、銀行の表示法と矛盾するが、學理的には銀行の表示法が正しいと信ずる。

〔32頁〕 當座預金 Current Account

小切手保證の處理法 中、第一法を絶対に採るべからざる理由は保證によつて銀行が支拂の責任を負はねばならぬから、こ

の保證を等閑に附する時は思はざる損失を蒙る惧があるからである。

〔38頁〕 再割引手形 Bills Rediscounted

〔44頁〕 公稱資本金 Authorized Capital

株金勘定 Capital Stock Account

〔45頁〕 法定積立金 これに相當する英語はない。これは英米には原則として法定積立金規定がないからである。アメリカでは銀行にのみ法定積立金規定があるが、これには Surplus Fund なる言葉を用ひてゐる。我が國では法定積立金に Legal Reserves なる言葉を當嵌めてゐるものがあるが、この Legal Reserves は實際は銀行の法定支拂準備金を指すものである故この使用を避けねばならない。故にこれに對する言葉としては佛蘭西語の Reserves Legales を用ひねば正しくない。

〔46頁〕 缺損金勘定 不良貸付その他の原因から缺損を生ずることがある。この缺損金は資本の減少を意味するものであるが、株式會社企業に於ては資本維持の原則により、公稱資本金は常に一定して置き、この缺損金は直接資本金から控除せず、一種の評価勘定として反對側即ち借方に表示するのである。

〔48頁〕 株式配當金勘定と配當金勘定 とを明確に區別させて欲しい。即ち株式配當金は自己所有の株券から生ずる果實であり、配當金は株主總會の決議を経て利益金から支拂はるべきものである。

有價證券買賣益 銀行は有價證券を帳簿上平均値段で記帳して置くから、處分毎に單獨に損益計算をなすことができる。

かくて有價證券處分の際には必ず損益計算をすることが特色である。

第四章 傳票制度

〔59頁〕 傳票制度 (Slip System) 銀行に於ける傳票制度の研究は比較的等閑に附せられてゐる。これに就いては拙稿「銀行傳票の本質と帳簿代用論」(雜誌「會計」昭和七年一月號)を讀んで戴きたい。

傳票は元來一時的の覺書 (Memo) として發展したものである。これが時代の進運と共に、これを取引の報告に用ひると共に、その作成者の署名によつて責任者を明示するために用ひられるに至つた。

銀行で使用される傳票は、各部門間の傳達用具としての役目を果たした後は、最後に會計課に廻送されて記帳の基礎資料となる。

〔60頁〕 色別制度 Colour System

〔61頁〕 傳票の作成 に就いて注意すべき點は

- (1) 記録はすべて明確にして迅速なること
- (2) 特に數字の記入には慎重なること
- (3) 記録の能率増進上、略字略符を用ひること。

收納傳票 この例題は全部現金收入の取引であるから收納傳票の作成を要するが、その作成法は極めて簡單である。若し入金通貨の外、他行宛小切手類等を含む際には、後者については金額欄の他行切手手形欄に記入し、然る後合計額を示すべき

である。また自行切手手形欄は自行宛小切手手形類を受入れた時、これを振替取引と見ない場合に使用する。

〔62頁〕 支拂傳票 支拂傳票は金額欄に收納傳票の如き内譯欄のないことを特色とする。この例題は全部現金支拂の取引であるから、支拂傳票を作成する必要があり、その作成の要領は收納傳票とは同様である。たゞこの場合注意すべきことは、姓名欄は小切手振出人の氏名を示すもので、現金受取人の名を書き入れるべきものでないことである。

振替傳票 振替傳票の形式は、傳票そのものを示す文字と日附とは收納傳票及び支拂傳票と同一であるが、欄については姓名欄と摘要欄とが合して一欄となり、簡略化されてゐる。なほ振替取引には一部現金取引を伴ふため、それに對する用意としてかゝる現金による收支を示すために、借方側に差引現金支出欄、貸方側に差引現金収入欄を特に設けてある。

〔63頁〕 全部振替 [例三]は顧客先に對して手形貸付をなし、貸付金利息を控除して現金で支拂ふべきを、直ちに同人の當座預金に振替入金し、帳簿上の決済に終る。かやうに全額悉く帳簿振替に終るものを全部振替(完全振替)といふ。

この記入法は、既に説明した通り、振替傳票は收納傳票及び支拂傳票の結合體で、借方は入金關係を、貸方は出金關係を示すものである。故にこの取引は手形貸付による出金とその代り金及び貸付金利息の入金である。随つてこの例題に對して作られる振替傳票は教科書に示した通りである。

〔64頁〕 一部振替 [例四]は預金として受入れたものに自行宛

小切手が含まれてゐる。この小切手はこれを受入れると同時に、その小切手の支拂をなしたこととなり、随つて現金の收支を伴はず、この點に關しては單なる帳簿上の決済に終る。故に振替取引である。しかしながら、この取引ではこの外に通貨を受取つてゐるから、現金の収入をも伴ふ。かやうに部分的に現金の収入或は支出を伴ふ取引を一部振替といふ。即ち一部振替とは振替取引と現金取引との混合取引のことである。この場合の傳票作成の要領も前の全部振替と同一であるが、たゞ現金の收支はこれを特設欄に記入する手数を採らねばならぬことに注意すべきである。

例示の傳票を見て、振替傳票の借方は入金關係、貸方は出金關係を示すべきものと教へられたにも拘らず、現金収入が借方に記入されるのはどういふ譯かといふ疑問を起す生徒があるかも知れぬが、これは單に貸借を平均させるための手段としての反對記入に過ぎぬ。

第五章 日記帳

〔70頁〕 主要簿 Main Books 補助簿 Subsidiary Books

日記帳は Daily Summary Book, Cash Journal, Day Book 等種々の名で呼ばれてゐる。

總勘定元帳 General Ledger

〔71頁〕 帳簿組織の表 に於て主要簿中に總勘定元帳殘高記入帳を加へたのは、この帳簿が總勘定元帳の殘高を蒐集して作成され、随つて同元帳の延長と見られるためである。

補助簿に記録された数字は統計用として尊重される。この點から觀れば補助簿は統計的帳簿であるといへよう。

〔72頁〕日記帳の記入に際しては勘定科目その他の轉寫は明瞭なるを要するはいふまでもないが、記帳を簡單ならしめるため、傳票の場合と同様、略字略符を用ひることを心掛けねばならない。

〔77頁〕増補日記帳は教科書に述べた通り事務分掌の原理に基づき発生したものであるが、單純なる事務分擔から出發したものではなく、同一系統の取引を取纏めて即時に記録をなさんがためである。この點は商業簿記で學んだ仕譯帳の分割と些か事情を異にし、銀行日記帳の分割に於ける一特徴である。かやうな事情であるから、この増補日記帳の利用は、同一性質の取引で日々多數に發生するものに對してでなければ、その實際の効果は期待できない。蓋し稀に、または日々寡く發生する取引に對して増補日記帳を使用しても、その効果は擧げられず、寧ろ徒らに煩雜を加ふるに過ぎないからである。故に増補日記帳は銀行の規模、業務の種類、金融事情の變動等によつて左右される傾向がある。

〔84頁〕日記帳改良問題 傳票の日記帳代位問題は帳簿體裁に關する學論の變化と密接な關係を持つもので、この日記帳改良問題が理論を離れて實現化に一步を進めたことについては、その背後に帳簿體裁に關しての法學者の積極的意見の勝利あることを見逃し得ない。即ち我商法に於ては帳簿規定としてたゞ一條（商法第25條）があるのみで、而もこの規定に於ては帳

簿の體裁については何等言及されてゐないため、これに對する法學者の意見も消極・積極に對立する。即ち消極的立場を採る學者は苟も帳簿と稱へ得るものは、一定の方式を以て配列された紙片で帳綴することを必要とし、いはゆる綴込式帳簿たることを要し、分離式たるルースリーフ式或はカード式の如きは、帳簿の補助たり得るも、それ自體は帳簿でないと主張する。これに反し、積極論者は綴込式のみならず、分離式も帳簿で取へて字義に拘泥する必要はないとする。さうして今日では進歩的な積極説が勝を制し、消極説を唱へる學者は殆ど數を潜めた。このことは傳票の日記帳代用問題に一段の拍車をかけるものである。

しかしながら傳票を以て日記帳の代用たらしめるには、實際には尙幾多の技術的研究を要するが、理論的にはその日の傳票を借方貸方の各科目毎に一括し、この傳票を綴込み、表紙に各科目の振替現金合計額を記載し、この表面上の金額を元帳に轉載すれば、二重記帳の手数を省き得るのである。このためには傳票形式の改良問題を初め、幾多の技術的改良を要することはいふまでもない。

なほ日記帳改良問題に就いては、拙稿「銀行傳票の本質と帳簿代用論」と拙著「最新銀行會計論」（泰文社發行）を參考されれば一層判然することと思ふ。

第六章 總勘定元帳

〔86頁〕總勘定元帳 (General Ledger) をイギリスでは屢、Key

Ledger, または Principal Ledger と呼ぶ。總勘定元帳は會計整理の中心的帳簿で、銀行財政の日々の變化過程と現在状態を貨幣的に展開する職能を有するもの故、この帳簿については特に注意を要する。

〔87頁〕 インク記入元帳 Pen-and-ink Posted Ledger

機械記入元帳 は Machine Posted Ledger の譯語であるが、この機械を用ひて記入することは約30%の仕事を除分になし得るといはれてゐる。この元帳は必ずルースリーフ式なることが必要であり、通常これに用ひる機械は八十一の Key を有する計算機で、これによつて自由に日附數字記入、残高計算をなし得るものである。この機械によつて轉記する結果は、甚だしく時間を節約し得ると共に、記録が極めて美麗に行はれる。

綴込式元帳 Bound Ledger

分離式元帳 {
 ボストン元帳 Boston Ledger
 ルースリーフ元帳 Loose-leaf Ledger
 カード元帳 Card Ledger

ルースリーフ をルーズリーフと呼ばせてはならない。世上多くはルーズリーフと發音するが、いふ迄もなくこの發音はルースである。帳簿はルーズであつてはならない。ルースリーフ式帳簿は近來我が國に於ても大分普及せられるに至つたが、將來は益々利用せらるゝに至るであらう。

ルースリーフ式の長所は、(1)口座數を必要の最小限度に止めることができる(死口座・睡眠口座を取外して別置し、日々必要な活動口座にのみ限ることができる)。(2)紙葉の補充が容易で

ある。(3)口座の増減が自在である。(4)記帳事務を分擔し得る。(5)口座を常に一定の順序に排列し得る。随つて口座搜索が容易である。

しかし以上の長所に對し紙葉の紛失・散逸の惧があり、また偽造・變造等の不正の行はれる危険がある等の缺點がある。

〔88頁〕 ポストン元帳 は 1852年ボストン市の Old Cochituate Bank の一係員が考案した帳簿である。現今アメリカに於ては、この地方を中心にこの帳簿の活用は相當多いが、特に補助元帳としての利用が大である。この元帳は一種の表式元帳 (Tabular Ledger) であり、また一覽式元帳である。なほこの元帳は各業に示される口座については残高欄があり、日々これを表示するから、これ自體が既に試算表となる故、更めて試算表を調製する必要がない。

この元帳は日々残高欄に繰越記入をせねばならぬから變動の少い場合または勘定科目の多い場合には、これを使用するのは寧ろ不便である。随つて我が國の如く勘定科目が統一化され而もその數が頗る多い國にあつては、これを採用することは殆ど不可能である。

〔90頁〕 標準式 Standard Form

残高式 Balance Form

我が銀行では標準式を用ひるものなく、悉く残高式を採る所は教科書に述べた通りであるが、これは蓋し日々作成される試算表は残高試算表であり、これは總勘定元帳に於ける各勘定口座の残高を蒐集すればよいからである。

なほ總勘定元帳の摘要欄は平日は殆どその役立をなさず僅かに年二回の決算に際してのみ真に利用される。故にこの欄はなくもがなの欄であるといひ得るかも知れない。

〔91頁〕 轉記法 銀行に於ける日記帳より總勘定元帳への轉記は、商業會計に於ける轉記法と異なり、勘定口座へ反對轉記せられるものなることを注意されたい。この所以は日記帳は現金を主格とする帳簿であり、これに反し總勘定元帳は各口座を主格とする帳簿なるがためである。

また摘要欄に相手科目を書入れず、たゞ「日記帳」と記すのは、我銀行は悉く現金取引として記帳する故相手科目は常に現金に定つてゐるからである。

なほ總勘定元帳に轉記すべき金額は日記帳の各科目の合計欄の金額である。しかし以上の轉記の原則の一つの除外例として、現金のみは日記帳締切前の合計欄累計額を反對轉記せず、そのまま記入する。故に現金口座に示される金額は、眞の現金額を代表するものではなく、日々の總取引高を表はすものである。

試算表 (Trial Balance) には三つの種類がある。

- (イ) 残高試算表…… 日計表に用ひられる。
- (ロ) 合計試算表…… 銀行では通常は採用されぬ。
- (ハ) 合計残高試算表…… 月計表に用ひられる。

試算表の用途は

- (イ) 轉記の正否を検査するため。
- (ロ) 銀行の財政移動を知るため。

(ハ) 報告書調製の資料とするため。

日査帳 Daily Statement Book

〔92頁〕 日計表 は Daily Trial Balance 又は Daily Statement といひ、月計表は Monthly Trial Balance と呼ぶ。

日計表は寧ろ轉記検査法に重點を置くから口座開設順に勘定科目を排列して差支へないが、月計表は轉記検査法としてよりも銀行財政の推移を知ることを主眼とするもの故、科目分類法を採るべきである。随つて前者と異なり、表の作成は甚だ手数を要するものである。

なほ月計表中には自ら日計表が含まれてゐるから、月計表作成の際は、別に日計表を作る必要がない。

〔94頁〕 月計表独自の検査法 の原則の生ずる所以は、銀行取引を現金取引と看做して記帳した結果である。なほこの原則から、合計欄の現金勘定の金額を與へずして、逆にこれを算出することが出来ることに注意されたい。

第七章 補助簿

〔98頁〕 統括勘定と補助元帳 統括勘定 (Controlling Account) の意義に就いては既に第一章に於て略述したが、これは總勘定元帳に開設された代表的勘定で、この勘定口座に於ける數字の詳細は、必ず補助元帳に表示されるものであり、而もその残額數字は補助元帳の残高數字の總和と一致する作用を持つものである。かやうに一つの代表的勘定の數字が補助元帳の數字を統制する關係から、かゝる名稱が生じたのである。

この統括勘定發生の理由は、同一性質の勘定が無數に發生する傾向のある際、これを總勘定元帳に個別的に口座を設けることは著しく手數と勞力とを要する故、總勘定元帳に於ける勘定口座を省略する手段として生れ出たものである。そして統括勘定の活躍は自ら補助元帳の増加を促す。

補助簿の分類 中(4)その他に屬するものには、期日帳印鑑簿、取引者住所録、發信簿、受信簿等がある。

また補助簿の大部分は營業記録的補助簿に屬し、非營業記録的補助簿としては庶務課關係の補助簿の如きが、その代表的のものである。

〔101頁〕 當座預金元帳 (Individual Ledger) は各當座預金者毎に、同一の預入・引出・現在高並びに當座貸越の明細を示す帳簿である。

預金係がこの預金を自ら受けた時は、先づ傳票を作成し(當座預金票がある場合はこれを傳票に代用する)、若しまた他の課より關係傳票の送付があれば、これによつて記入するものである。

(註) 甲種銀行と乙種銀行の區別は一定の標準に基づいて行はれるものではない。東京手形交換所社員銀行の規約によれば、「各銀行ノ自發的ニ選擇スル所ニ依ル」旨明示してある。この區別を設けた趣旨は、資本及び信用の關係上、同率では小銀行は到底大銀行と競争することができないからである。

〔103頁〕 定期預金記入帳 (Certificate of Deposit Register) は定期預金の状態とその期日を示すものであるが、この預金契約は契約期間中は原則として引出をなさぬものであるから、元帳を必

要としない。

(注意) 記入例中、利息の利子諸税欄の金額が一單位づゝ違つてゐるから訂正せられたい。即ち#1 ¥17.50, #3 ¥35.00, #4 ¥17.50 である。

收納帳 (Received Cash Book) は日々の現金(振替現金を含まず)の受入状態を示すものである。一般商事會社では現金出納帳 (Cash Book) なる一の帳簿を以て收支雙方を記録するが、銀行の如きは同一係員をして兩者を取扱はしめるのは不適當であるから、これを分割して收納帳と支拂帳とし、別々の係員に取扱はしめてゐる。

銀行に於ける收納帳は多桁式であるが、通常の收納帳と異なり、現金収入を種類と目的とに區別して記帳し、併せて相互索制の制度を採つてゐる。

この記入法は、傳票から勘定科目及び姓名を當該欄に轉寫した後、現金が通貨ならば通貨欄に、若し小切手手形を含むならば切手々形欄に記入し、またこの入金目的が當座預金ならば當座預金欄に、然らざる時はすべて雜勘定欄に記入する。

〔104頁〕 支拂帳 (Paid Cash Book) は現金(振替現金を含まず)の支拂状態を記録する帳簿である。この形式は收納帳とは趣を異にし、支拂のための欄はその目的を示す欄のみで、支拂の種類を示す欄はなく、別に支拂資金欄が設けられてゐる。この資金欄は恰も小拂現金帳 (Petty Cash Book) に於ける小拂資金欄の如きもので、これまた記帳索制の目的に出づるものである。

記入法は收納帳とほゞ同様である。締切手續は先づ支拂記入欄の最終記入の下に單線を引き、各欄の累計を求めて、内側の

金額を外側に移して兩者の合計を求め。この合計額は當日の支拂總額を示すものである。この下に當日の手許在高を朱記して總計を求めて、複線を引き締切を終る。これは支拂資金欄合計と對照して自己牽制の目的を達するためである。これと同時に支拂資金欄の數字を合計して締切るのであるが、その合計金額は必ず支拂欄の總計と同一線上に書かねばならない。

〔105頁〕手形貸付記入帳 手形貸付に関する一切の内容條件等を記載するものである。なほ手形貸付の明細を記録する帳簿として、このほか手形貸付元帳(借主毎に口座を開設し、個々の貸付状態を示すもので、貸付金は同口座の借方に、取立は貸方に記入する)手形貸付元帳差引残高記入帳(前記帳簿の集約簿で、一見の下に各借主への日々の貸付現状を表示するもの)證書貸付期日帳(この貸付を辨済日順に示し、取立の用意に備へるもの)の三種がある。

(注意) 本記帳例中、#20の満期日を12/16、取立日を12/24、#20の満期日を12/24、取立日を12/24、#21の日附を12/16と訂正。

荷付爲替手形記入帳 は荷爲替取組に對する荷付爲替手形の明細を記録する帳簿である。

〔106頁〕商業手形元帳 (Discount Ledger) 商業手形の割引に関する明細を記録する帳簿としては、このほか商業手形元帳差引残高記入帳當所商業手形記入帳他所商業手形記入帳商業手形期日帳の四種がある。手形の割引はこれを商業手形銀行引受手形荷付爲替手形の三種とすることは既に述べた通りである(教科書 P. 19)。

商業手形元帳は手形割引者毎に口座を設けて手形債權の状態を表示するものである。この帳簿に依頼口と支拂口の二口座を設けたのは、手形債權の讓渡は一般債權の讓渡と異なり、これに手形獨得の償還義務を伴ふから、銀行が手形の割引をなした時は、手形支拂人に對する手形債權を得ると共に、割引依頼人に對し手形不渡の際の償還請求權を有するものである。随つて單に元帳に於て支拂人の口座を設けて手形債權の記帳をなすのみでは不十分とし、併せて割引依頼人の口座を設け償還請求權を表示する方法を採つたのである。この帳簿の依頼口は、これによつて同人に對する割引高を制限し得るものである。

なほ本記帳例假設取引は次の如し。

9月16日 須藤商店の依頼により商業手形 ¥10,000⁰⁰ の割引をなし、代り金は同人の當座預金に振替へる。番號當#5、爲替手形、振出人及び支拂人鎌田榮、受取人須藤商店、満期日十月二十五日。

10月1日 吉村正一の依頼により商業手形 ¥5,000⁰⁰ を割引し、代り金は同人當座預金に振替へる。當#8、爲替手形、振出人及び支拂人須藤商店、受取人吉村正一、満期日十月三十日。

10月25日 曩に割引した商業手形當#5、¥10,000⁰⁰ 満期日、支拂人鎌田榮から通貨で受取る。

9月16日及び10月25日の取引は記帳例のほか、鎌田榮の支拂口へ、10月1日の取引は吉村正一の依頼口へも同様の記入が行はれる。

この商業手形元帳の各口座の残高を蒐集したものが商業手形元帳差引残高記入帳であり、割引した商業手形を満期日順に記帳して取立の便を圖るのが商業手形期日帳であり、また手形の支拂地より區別して手形に関する一切の内容條件等を詳細に示すものが記入帳で、随つてこれには當所商業手形記入帳と

他所商業手形記入帳とがある。

〔101頁〕 國債證券賣買帳 銀行の投資物としては國債が最も多い。この國債を買入れ或は處分した時、この賣買の明細を記録するのがこの帳簿である。これには常に平均相場を出しておく必要がある。これ賣渡の際は必ず損益計算をなす故、その原價を知るためである。随つてこの帳簿の賣渡高の金額は、賣渡相場でなく、前の平均相場を以て記入すべきものである。

第八章 手形交換

〔108頁〕 手形交換 往時、銀行は現金として受入れた當所拂他行小切手及び手形類は各名宛銀行に使者を派して取立てしめたものであるが、かくすることは相互に多額の費用と尠なからざる手数を要し、その上危険をも伴ふもの故、この單獨取立の手数・費用・危険等を除くため、各銀行が一定の時一定の場所に集つて相互債權につき相殺し、残額決済の方法を探るに至つた。これが即ち手形交換である。手形交換はかゝる目的で設けられたものではあるが、この手形交換の數字は商的活動を表現するものであるから、經濟界觀測上頗る重要な役割を務めるものである。

手形交換所 (Clearing House) 所在地

(1)東京(2)大阪(3)神戸(4)京都(5)横濱(6)名古屋(7)廣島(8)關門(9)金澤(10)函館(11)小樽(12)札幌(13)福岡(14)長崎(15)新潟(16)熊本(17)岡山(18)仙臺(19)松江(20)濱松(21)秋田(22)青森(23)福島(24)静岡(25)鹿児島(26)小倉(27)宇都宮(28)若松(29)松本(30)久留米(31)尾道(32)吳(33)岐阜(34)盛岡(35)津(36)和歌山(37)室蘭(38)旭川(39)高岡(40)豊橋(41)富山(42)沼津(43)堺(44)福山

以上の中(34)盛岡は目下休止中である。

社員銀行 東京・大阪では社員銀行 (Clearing House Bank) と改稱したが、他の都市の手形交換所に於ては尙組合銀行と呼ぶものが多い。

社員銀行として加盟しようとする時は社員銀行のいずれかの紹介によつて加入申込書を提出する。さうすると手形交換所では、その銀行の内容を調査した上、社員銀行總會に附議し、出席数の四分之三以上の同意を得て始めて加盟を許されるもので、加盟料として次の如く支拂ふことを要する。

(イ) 拂込資本金三百萬圓未滿	壹千圓
(ロ) " 三百萬圓以上五百萬圓未滿	壹千五百圓
(ハ) " 五百萬圓以上	貳千圓

社員銀行の義務に就いて

(イ) 供託保證品は無記名國債證券に限られ、供託額は交換高によつて異なる。先づ加盟の年は額面五萬圓を供託するが、翌年からは交換高により異なり、交換高一日平均百萬圓未滿は五萬圓、百萬圓以上三百萬圓未滿は十萬圓、三百萬圓以上は二十萬圓を提供せねばならぬ。そしてこの供託額は前期の交換高によつて定める。

(ロ) 手形交換所の費用は比較的公平を期するため豫算額を二分し、一半を社員銀行平等に分擔し、他の一半は前期の交換高に按分して負擔する。

東京手形交換所社員銀行

(1)第一銀行(2)三菱銀行(3)三井銀行(4)安田銀行(5)三和銀行支店(6)

第三銀行(7)川崎第百銀行(8)七十七銀行支店(9)第四銀行支店(10)第十銀行支店(11)十二銀行支店(12)八十二銀行支店(13)愛知銀行支店(14)横濱正金銀行支店(15)住友銀行支店(16)日本興業銀行(17)朝鮮銀行支店(18)北海道拓殖銀行支店(19)藤本ビルブローカー銀行支店(20)日本晝夜銀行(21)名古屋銀行支店(22)明治銀行支店(23)六十九銀行支店(24)長岡銀行支店(25)日比谷銀行(26)昭和銀行(27)臺灣銀行支店(28)武州銀行支店(29)日本信託銀行支店(30)神戸岡崎銀行支店(31)小池銀行(32)野村銀行支店(33)横濱興信銀行支店(34)兩羽銀行支店(35)日本勸業銀行支店(36)北海道銀行支店(37)足利銀行支店(38)十五銀行(39)新潟銀行支店

〔109頁〕銀行集會所 一定の地域内に存在する諸銀行の本支店が相提携して銀行經營上の諸問題を考究する目的で、時々相集る場所で、銀行の一種の組合ともいへる。銀行集會所は常に手形交換所と密接な關係を持つ。

理事 (Committee) は東京手形交換所以外は委員と呼ぶ。この理事は社員銀行の代表から選ばれるもので、交換所に關する重要な事項を審議決定し、また交換所を監督する。理事の数は現在十名、任期は一ヶ年、互選により理事長を選ぶ。

主事 (Inspector) は東京手形交換所以外は監事と呼ぶ。この主事は一名で、書記及び交換方を指揮監督し、交換事務に直接携はると共に交換所の庶務一切を掌る。交換事務多端なる時は補佐として主事代理者 (Deputy Inspector) を置くことが出来るが、現在はこれを置いてゐない。

交換回数 は東京では午前一回であるが、大阪では午前と午後と二回行ふ。尙参考までに外國の例を示せば倫敦は四回、柏林は三回行ふ。

〔110頁〕交換方 Clearing Teller (米), Clearer (英) の資格としては算盤の熟達せることである。これはいふ迄もなく短時間に巨額の金額を計算せねばならぬからである。

交換尻勝 Favourable 交換尻負 Unfavourable

〔112頁〕交換尻決済 に當り、日本銀行の預金が不足する時は、その決済のためにコールマネーが盛んに行はれる。これを通常コールを漁るといふ。

〔114頁〕手形交換の記帳 手形交換所に於て決済せられた手形類は、その明細を手形交換差引残高記入帳に記入するが、その形式は次の通りである。

手形交換差引残高記入帳

昭和 年 月 日

雑	約手		爲手		小切手		合計		差引 銀行名	差引 残高	合計		小切手		爲手		約手		雑
	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	

〔114頁〕代理交換を委託する銀行 を Non-clearing Bank といふ。代理交換を委託する銀行は手形交換所所在地の銀行であつて、これがためには保證品として無記名五分利國債證券額面三萬圓を手形交換所に提供し、手形交換所の認可を要する。そしてこの保證品は手形交換所から更に日本銀行に供託されるものである。代理交換の認可に際しては認可料として三百圓を支拂ひ、尙手数料として毎年五十圓を支拂ふ。

〔115-118頁〕手形交換の仕譯説明法 は筆者獨案のもので、昭

和三年に上梓した「銀行會計學」に發表した。この説明法は從來のそれに比し了解され易いと信ずる。この説明法が吉田良三氏の「銀行簿記提要」及び「新銀行簿記教科書」にも採用されてゐることは私の光榮である。

〔116頁〕第一の場合の傳票を略式を以て示せば次の通りである。

(1)	(2)
支拂傳票	支拂傳票
當座預金	預金手形
甲 1,000 ⁰⁰	乙 1,500 ⁰⁰
交換井× 三井提出	交換井× 安田提出
(3)	
支拂傳票	
預ヶ金	
日本銀行 2,000 ⁰⁰	
交換尻	

第九章 内國爲替會計(他店會計)

〔123頁〕内國爲替 Domestic Exchange

外國爲替 Foreign Exchange

國際爲替 International Exchange

他店會計といふ言葉は一般には使用されてゐない。しかし私は支店會計に對立して他店會計なる新しい言葉を用ひた。

〔125頁〕他店 Correspondent Bank 又は Correspondent

爲替取引を取立項目 (Collection Items) と輸送項目 (Transit Items) に區別したのは、これまた新しい説明法である。この二つに區別して説明することは從來のそれよりも効果的だと信ずる。

當方取立依頼 Outgoing Collection

先方取立依頼 Incoming Collection

他所割引手形 元來割引手形は割引と同時に、手形を依頼者の預金勘定に貸方記入するが、そのうち他所拂の手形は、これを支拂地の他店に送付して取立を依頼せねばならない。さうして取立済の通知に接したとき始めて他店との間に貸借關係を發生するものである。かくて當方取立依頼の場合は他店＝貸、これに反し先方取立依頼の場合は他店ヨリ借となる。

他所代金取立手形 代金取立手形 (Bills for Collection) の記帳につき一言すれば、この種の手形は銀行が顧客から依頼されただけでは、依頼者との間に貸借關係を生じないから、依頼者に對する勘定を起して貸方記入することなく、また取立に對する特殊勘定を起すこともない。さうして他店に取立依頼をした代金取立手形が無事取立済となれば、依頼者に支拂ふ迄は別段預金(當店取引者ならば同人の當座勘定に貸記)として處理する。尙他所代金取立手形は當方取立依頼は他店へ貸、先方取立依頼は他店ヨリ借となることは前と同様である。

〔127頁〕送金爲替 實際に於ては印紙税關係上、送金爲替手形を振出すことなく、送金小切手を以てこれに代へてゐる。

送金爲替取組の際の仕譯 に就いて一言して置かう。銀行が他店宛の送金爲替を取組んだのみでは、他店との間には貸借

関係は生じない。故に理論的にいへば送金爲替の取組には

借方 現金 ××× 貸方 送金爲替 ×××
受入手数料 ×

の仕譯をなし、送金爲替といふ假勘定を設け置き、他日他店がその支拂をなしたといふ通知を受けた時、初めて次の如く他店勘定に振替へるべきものである。

借方 送金爲替 ××× 貸方 他店へ預け (又へ他店ヨリ借越) ×××

しかし送金爲替の如き爲替取引は数日中に原則的に支拂はれるといふ理由から大蔵省は記帳を簡便ならしめるため、取組と共に直ちに他店勘定に記帳せしめ、送金爲替なる勘定科目を貸借対照表に示さないやうにしてゐる。故に一般の銀行は大蔵省の意向に従つて記帳してゐる。

[130頁] 當方口に起る勘定を當方口勘定 (Our Account) といひ、先方口に起る勘定を先方口勘定 (Their Account) と呼ぶ。

當方口か先方口かの決定が取引の本質によらない例を示せば、例へば他店當座小切手(多く保證小切手)の支拂を當方の都合上なした時は、これを當方口にて處理し、これに反し豫め他店より他店當座小切手の支拂に就き依頼の通知を受けてゐる時は先方口で處理する。

[135頁] ここに示す圖は複雑な他店會計を知るに最も大切なもの故力を注いで戴きたい。

[137頁] 他店勘定元帳記入法 注意(1)の場合、相手銀行は當方よりの付替を俟たず、當方爲替尻(爲替預け金)より控除するのが普通であるが、この場合起算店が相手銀行であるため、外觀上先

方口勘定のやうに見受けられる。しかしこれは當行仕向の取立依頼の手形類に關聯して發生したものの故起算店の如何に拘らず當方口で整理すべきものである。

注意(2)については、最近までは全く反對の整理法を採つてゐた。蓋し當座振込は銀行が被振込人の便宜のために振込を承諾するもの故、それは結局被振込銀行のためになるといふ一面の理由があるにも拘らず、これを當方口で處理せねばならぬとすれば爲替尻の出合良好ならざる(相手銀行に爲替預け金を持たぬ場合限り當座振込を歓迎しないから、これを避けるため従來は先方口勘定で處理してゐたのである。然るに大正末期から昭和初頭へかけての金融界不安時代に直面して、各銀行はこの處理法の不都合を痛感するに至り、遂に昭和二年十二月東京有志銀行の間に、これを當方口で處理すべき原則を立て、爾來各地の銀行もこれに倣ふやうになつた。

[139頁] 他店勘定元帳の形式 注意(1)の他店勘定元帳は一帳簿中に當方口と先方口とを對立的に設ける場合と、兩者を分離して別個の帳簿を用ふべきかについては相互に得失があるが、その概要は次の如くである。

(A) 同一帳簿による場合

(イ) 残高の確知が容易である。

(ロ) 他店勘定残高帳調製に便利である。

(ハ) 貸方付替に便利である。

以上の(イ)と(ロ)は記帳上の便利であり、(ハ)は爲替尻操縦上の便宜である。

(B)別帳簿による場合

(イ)他店勘定元帳に誤記の憂少し。

(ロ)別帳簿に於ても付替の場合は爲替尻整理の目的を達し得る。

他店勘定元帳の記入が終つたならば、記帳の正否を確めるため、毎日各他店の口座残高を合計し、これを總勘定元帳の總括勘定残高と照合することが必要である。このために銀行は各他店勘定の残高を知り、併せてその日々の累計額を確知する目的で、他店勘定元帳差引残高記入帳を備へつける。かくて残高帳と總勘定元帳の他店関係の勘定と比較すれば、當方口勘定の借方残高合計は「他店へ預け」と、貸方残高合計は「他店ヨリ借越」と一致し、また先方口勘定の借方合計は「他店へ貸越」と、貸方残高合計は「他店ヨリ預り」と一致すべきである。

〔141頁〕爲替尻決済 爲替尻を調和決済することをまた爲替尻操縦ともいふ。この爲替尻操縦は爲替事務中最も重要であり、且つまた最も困難な問題とされ、その操縦法の如何は直ちに營業成績を左右するものとして、銀行經營上の重要問題とされてゐる。

(注意) 144頁圖解〔第二例〕他店ヨリ借越口座の「借又ハ貸」欄第3行に「貸」の字脱落。

146頁第二番目の振替傳票下の仕譯の金額5,000⁰⁰は3,000⁰⁰の誤植。

〔151頁〕合同他店勘定 かゝる共通計算をなす所以は、同一地域内に多數の支店を有する銀行が、その支店毎に別個獨立の爲替契約をなすことは種々の不便がある故である。

この共通計算の長所及び短所として次の諸項が擧げられる。

(1)共通計算の長所

(イ)共通店は獨立の他店勘定を持たぬから、爲替尻操縦の勞を省略し得る。

(ロ)共通店は個々の相手銀行と爲替決済の手数を省き得る。

(ハ)貸越極度の増加を齎さぬ。

(ニ)約定書に貼用する印紙代を節約し得る。

(2)共通計算の短所

(イ)共通店は時々本店の指揮を仰ぐ必要があり、随つて顧客に對し不便を與へ易い。

(ロ)記帳複雑なるため誤記を生じ易く、且つ報告についても誤謬が起り勝ちである。

(ハ)本店は爲替尻操縦に齟齬を來し易い。

第十章 内國爲替會計(支店會計)

〔153頁〕銀行の合同現象 我が國に於ては嘗ては銀行はやゝ亂立の形にあり、大小強弱の多數銀行が徒らに競争を續けてゐた。然るに經濟界の合同に對する自然的趨勢は監督官廳の合同促進運動、昭和二年の金融恐慌、次いで銀行法の制定と相俟つて、銀行同合現象に一時代を劃するに至つた。即ち昭和二年の銀行破綻事件は遺憾なく銀行基礎の不堅實、内容の貧弱さを曝露したものである。ここに於て監督官廳は銀行財政の堅實化を圖り金融制度を確立強化する一手段として、從來の自然的合同に俟つよりも、寧ろこれを促進するに如かずとして地方長官

に通牒を發して地方銀行の合同を斡旋し、また銀行検査官を各地に派して實際合同を獎勵せしめ、同時に銀行法を制定して銀行の組織形態と資本金に關し制限規定を設けた結果、銀行の合同は急速に實現し、今や銀行の財政的基礎の確立と共に、支店制度の發達を來し、漸く支店網の時代を劃さんとしてゐる。

我が國に於ける普通銀行數とその資本金の變動趨勢を示せば次の如くである。

	行數	拂込資本金
大正元年	1,456	327,593千圓
六年	1,398	437,938
十一年	1,799	1,450,228
昭和二年	1,283	1,482,658
五年	782	1,297,493
六年	683	1,250,022
七年	538	1,217,431
八年	516	1,186,662
九年	483	1,161,680

なほ昭和八年末銀行營業所數は次の如くである。

種類	本店	支店	出張所	合計
特殊銀行	26	292		318
普通銀行	516	4,021	1,436	5,973
貯蓄銀行	85	465	91	641

以上の如き銀行合同の現象は、銀行數の減少を齎すと同時に支店の整理を促すことはあるが、支店の減少は銀行の減少數に比例せず、寧ろ支店制度の發達を促進するもので、現在では上表の通り支店出張所數は普通銀行に於ては一行當り十以上となり、大銀行にあつては全國的に百數十の支店網を有するものがある。

支店 (Branch) と出張所 (Sub-Branch) との區別 は別段特定の標準がある譯ではないが、大藏省は大要次のやうな條件を具備するものを支店としてゐる。

- (1) 金櫃を備へて現金債權證書書類を常置すること。
- (2) 帳簿を備へ置き獨立の計算をなすこと。
- (3) その店舗の名を以て取引をなすこと。

この中の(2)の條件が最も肝要である。

出張所は從來出張所又は派出所などの名稱に於て呼ばれてゐたが昭和三年以來これを出張所と統一した。

(注意) 154頁終りより第二行目「この支店間に起る取引……」は「この本支店間に起る取引……」の誤植。

〔155頁〕 支店勘定 Branches Account

支店勘定へは、日々の支店に對する總括的貸借を日記帳を通し、轉記するものである。さうしてこの口座の殘高數字が、各支店に於ける本店勘定の殘高數字の總和に反對に一致する理由は、本支店の利害關係は同一であるが、貸借については反對の位置にあり、随つて取引の表裏から記帳するためである。

支店勘定元帳 Branches Ledger

支店勘定元帳

× × 支店

日附	摘 要	借 方	貸 方	借又貸	殘 高

[156頁] 本店勘定 Head Office Account

[157頁] 本店勘定元帳 Head Office Ledger

支店相互勘定 Interbranch Account

(注意) 159頁仕譯中本店集中主義第3行甲銀行とあるのは乙銀行の誤植。

[153頁] 一方通知主義 は通常單通知法と呼ばれてゐるが、この單通知法といふ名稱はどうも通知を一通だけ發するとも解され易い故、これを避けた方がよいと思ふ。またこれと同様雙方通知主義は複通知法と呼ばれてゐるが、同一理由によつてその使用を避けたらどうかと思ふ。

なほ何れの通知制を採るも、本店に於ける記帳は同一であるから、簡単な一方通知主義の方が便利である。

第十一章 外國爲替會計

本章は時間の都合によつては省略するも差支へない。

[163頁] 外國爲替 Foreign Exchange

外國爲替會計 Foreign Exchange Accounting

外國爲替銀行 業務の一部として外國爲替を取扱ふ銀行に於ては、外國爲替課を内國爲替課から獨立して取扱ふのが普通である。

現在我が國で外國爲替を取扱ふ銀行は次の通り。

(1)横濱正金銀行(2)日本興業銀行(3)朝鮮銀行(4)臺灣銀行(以上特殊銀行)(5)三井銀行(6)三菱銀行(7)住友銀行(8)安田銀行(9)第一銀行(10)三和銀行(11)川崎第百銀行(12)日本晝夜銀行(13)野村銀行(14)愛知銀行(15)三十八銀行(16)佐賀百六銀行(17)豊前銀行(18)三州平和銀行(19)中國銀行大阪

支店〔以上普通銀行〕(20)オランダ銀行(21)香上銀行(22)チャータード銀行(23)ナショナルシティ銀行(24)蘭印商業銀行(25)日佛銀行〔以上外國銀行支店〕

外國通貨勘定 邦價への換算は貸借對照表調製時の爲替相場で評價する。

[166頁] Nostro Account 外國爲替は元來イタリーに發達したものであるから、外國爲替に關する術語には屢々かやうなイタリー文字或はラテン文字が現はれる。(8)の Vostro or Loro Account も同様。

第十二章 決算

[169頁] 決算期間 我が國では決算期間は一年を最長期としてゐる。株式企業に於ては年二回決算を行ふ。決算の時期に就いては、特殊の企業を除いて一定せず、多く決算に便宜なる時を選ぶ。我銀行は銀行法の規定により、その時期が一定してゐる。トムスン氏によれば、英國の銀行は多く年二回決算し、England ではその時を我が國と同じく六月三十日と十二月三十一日としてゐるとのことである。

[170頁] 修正記入 Adjustment Entries

[174頁] 減價銷却に於て銷却すべき金額の算出法 には種々あるが、この直線法 (Straight Line Method) も、その一つの方法である。これはまた定額法ともいはれ、固定資産の壽命年數間に每期平等額だけ銷却する方法である。この方法の計算公式は次の如くである。

$$\frac{\text{固定資産原價}}{\text{壽命年數}} = \text{一ケ年の減價銷却額}$$

例へば營業用建物がY15,000で、その建物の壽命年數が30年とすれば、直線法による銷却額は、公式により次の如くである。

$$\frac{Y15,000}{30} = Y500$$

即ち毎年必ずY500づゝ銷却してゆく。しかし銀行では半年毎に決算する故に、これを2で除せば各決算期に銷却すべき金額を知り得る。

[175頁] 有價證券の評價 銀行に於ける有價證券の評價は時價と原價とを比較して常に低い價格を採るのが普通である。この評價法を比較低價主義 (Cost or Market Price, whichever is the lower) といふ。かゝる評價法を採る所以は銀行の性質から、堅實なる保守的な評價主義を尊重することがよいと考へられるためである。

銀行が所有する有價證券の評價は、原則として以上の如き比較低價主義であるが、經濟界不況のため有價證券價額暴落の甚だしい時、これを時價によつて評價すると、そのため缺損を生ずるといふ悲劇を起すため、時に大藏省がこの評價原則に手心を加へることがある。

著書によつては時價主義を採り、時價と原價との差即ち値上り額を評價益として計上することを述べてゐる。例へば太田哲三氏の最近銀行簿記に於ては、この値上りを「有價證券價格引上勘定」といふ特殊の勘定を設けて計上することを述べてゐる。

[176頁] 損益勘定 (Profit & Loss Account) は名目勘定を集合す

る目的のため設けられるものである。かゝる目的の勘定を集合勘定 Summary Accountと呼ぶ。また損益勘定は決算に際し特に設けられる勘定で決算締切によつて直ちに閉鎖されるものであるから、この點から中間勘定でもある。

なほ損益項目を損益勘定へ振替へる場合には、日記帳を通さず、直接振替をなす。

[180頁] 繰越日記 の作成は總勘定元帳の残高科目の借方を日記帳摘要欄の貸方に、反對に貸方を借方に記入し、金額は合計欄にのみ記載して、振替及び現金欄には記入しない。また振替摘要欄にも何等の書入をも行はない。

なほ繰越日記から總勘定元帳への轉記は、普通の場合と同一であるが、たとへば現金勘定へ轉記する場合は、その借方には繰越日記の借方合計を、貸方には繰越日記の貸方現金を除く合計を轉記する。

[182頁] 財政表 Financial Statements

財産目録 Inventory

損益計算書 Profit & Loss Statement; Operating

Statement; Income Statement; Statement

of Operating Results

貸借對照表 Balance Sheet

財政表 は組織的且つ秩序的に、特定の形式によつて企業財政の鳥瞰圖的表現をなすものであるから、利害關係者には企業の成績及び財政判斷に極めて重要な資料である。さうしてこれ等構成書類は單獨で各、独自の職能を有するものであるが、企

業の總括的財政状態を知るためには、これ等は分離すべからざる關係に立つものである。

財産目録 は一般に一定する形式を持たない。尤も最古の銀行條令に於ては財産目録及び貸借對照表の調製を命じ、これ等諸表の形式を雛形を以て示してあつた由であるが、その後銀行條令の改正によつて如何なる理由によつてか、條文中から財産目録調製の要求とその雛形とを削除するに至つたのである。

損益計算書の形式 は、一般企業では報告式 Report Form を採用してゐるが、我銀行では勘定式 Account Form を用ひてゐる。報告式は對比形式を採らず、組織的且つ秩序的に収益項目とその金額とを列挙し、この下に経費項目とその金額とを漸次展開して、この経費額を収益額より控除し、最後に一見直ちに當期利益金或は缺損金が判る形式のものである。これに反し勘定式は収益及び経費項目を左右に對比して示し、その何れかの差額を反對側に記載して貸借平均の形式を採り、差額を以て當期利益金或は缺損金として表はすものである。

損益計算書の形式が勘定式を採る場合は、借方は當然経費及び損失項目を代表し、貸方は収益項目を表示すべきである。然るに法規に示す雛形はこれと全く反對に、借方側に収益項目を表示し、貸方側に経費及び損失項目を掲げてゐる。

[183頁] **損益計算書の法的雛形** に於て注意すべきことは

(1) **當期利益金の意味** この雛形に於ける當期利益金の中には當期純益金と前期繰越金と何積立金戻入(若しあるならば)とを含んでゐる。これは大なる誤謬である。會計學的には當期

利益金も當期純益金も同一意味に用ひられるもので、前期繰越金の如きは損益計算書に記載すべき項目ではない。これに就いての詳論は拙著「最新銀行會計論」第十八章を参照されたい。

(2) この表中に「未経過割引料其ノ他戻入」「未拂利息其ノ他戻入」の修正項目を含んでゐること 既に述べた如く決算の際帳簿に現はれぬものであつて、その期間の損益に影響を及ぼすもの、及び記帳済なるもその一部が當期の損益に屬せず次期の損益を構成するものは、これを摘出して修正記入をなすものである。その結果戻入勘定を設けたものは、これを損益計算書に計上するためである。そこで損益計算書にかゝる項目が現はれるのである。

〔挿畫〕 **考課狀** といふのは、會社が營業報告・決算報告並びに利益處分等に関する報告を戴せたパンフレットで、主として株主に配布するものである。

[184頁] **貸借對照表の形式** 中、勘定式とは複式簿記の基本概念たる貸借對照表方程式 $資産 = 負債 + 資本$ に基づき調製したもので、これが一般的形式であり、表の左側即ち借方には資産を、右側即ち貸方には負債及び資本の兩者を示し、以て貸借を平均せしめる形式である。これに反し報告式は前記の等式より誘導したる資本方程式即ち $資産 - 負債 = 資本$ の表示法を採るもので、表を左右に對比せしめず、資産項目を最初に列挙し、續いて負債項目を掲げ、最後に資産總和より負債總和を控除して資本を示す形式を採るものである。

[185頁] **貸借對照表の法的雛形** に於て注意すべきことは

(1)項目に就き綜合分類をなすこと。

(2)項目の排列が流動性排列主義 (Current Arrangement) になつてゐること。これは銀行の性質上頗る當を得たる排列である(流動性排列法による方が貸借對照表の分析的現察をなすのに便利である)。

[189頁] 本支店合併貸借對照表 に於て注意すべき點は、借方側本店の各支店に對する金額は、これを必ず合計欄に零を記入し、また貸方側各支店の本店に對する金額も合計欄に零と記入すべきことである。何となれば、本支店は同一企業單位に屬し、銀行の主體的觀察に於ては本支店の貸借は全く内部的關係に過ぎぬから、當然相殺せられ、隨つてこの表から除去せねばならぬからである。これを本支店貸借の除去または消去といふ。

[194頁] 貸借對照表の公告 銀行は組織の如何を問はず、貸借對照表を社會に公告する必要がある(銀行法第十一條)。而して公告機關としては必ず新聞紙に依ることを要し(銀行法第三十七條)、その公表する新聞紙は定款に規定するものである。勿論新聞廣告以外に定期刊行物引札その他の方法を併せ用ふるも差支へない。

公告すべき形式は從來集約貸借對照表 (Condensed Balance Sheet) と稱せらるゝ同一性質又は類似の項目を綜合し要約して示すを排して、法的雛形通りの貸借對照表(それは大藏省に提出するものと同じ形式)で公表せねばならぬこととした(銀行法第十一條及び銀行法施行細則第九條)。尙詳細は拙著『最新銀行會計論』第十九章參照。

練習課題解答

〔54—59頁〕 仕譯練習課題解答

(1) 借方 商業手形	5,000.00	貸方 割引料	27.00
		當座預金	4,973.00
(2) 國債	100,500.00	預金手形	5,000.00
假拂金	1,849.32	特別當座預金	97,349.32
(3) 手形貸付(新)	10,000.00	手形貸付(舊)	10,000.00
現金	60.00	貸付金利息	60.00
(4) 現金	1.00	受入手數料	1.00
(5) 現金	2,000.00	定期預金	2,000.00
(6) 支拂承諾見返	10,000.00	支拂承諾	10,000.00
(7) 現金	10,000.00	別段預金	10,000.00
(8) 別段預金	10,000.00	現金	10,000.00
支拂承諾	10,000.00	支拂承諾見返	10,000.00
(9) 現金	10.00	受入手數料	10.00
(10) 定期預金	3,000.00	現金	3,139.50
預金利息	150.00	預金利子諸税	10.50
(11) 當座預金	5,000.00	(所得税5%, 資本利子税 2%)	
(山本寛次)		當座預金	5,000.00
(12) 福岡支店	7,500.00	(支拂保證口)	
(又ハ支店)		別段預金	7,500.00
(13) 證書貸付	10,000.00	現金	10,000.00

(14) 借方 所有動産不動産 12,000.00	貸方 證書貸付 10,000.00
	貸付金利息 1,000.00
	別段預金 1,000.00
(15) 支拂承諾見返 1,000,000.00	支拂承諾 1,000,000.00
現金 1,000.00	受入手數料 1,000.00
(16) 雜費 100.00	現金 100.00
(17) 當座預金 4,350.00	現金 7,500.00
當座貸越 3,150.00	
(18) (イ)預ケ金 49,800.00	再割引手形 50,000.00
再割引料 200.00	
(ロ)預ケ金 49,800.00	商業手形 50,000.00
再割引料 200.00	
再割引手形見返 50,000.00	再割引手形 50,000.00
(19) (イ)再割引手形 50,000.00	商業手形 50,000.00
(ロ)再割引手形 50,000.00	再割引手形見返 50,000.00
(20) 支拂承諾見返 100,000.00	支拂承諾 100,000.00
(21) 支拂承諾 100,000.00	支拂承諾見返 100,000.00
現金 75.00	受入手數料 75.00
(22) 國債 99,000.00	借入有價證券 99,000.00
(23) 借入有價證券 99,000.00	國債 99,000.00
有價證券借入料 50.00	現金 50.00
(24) 現金 2.00	受入手數料 2.00

(25) 貸方 他店へ預ケ 1,000.00	借方 受入雜利息 1,000.00
(26) 現金 15,000.00	別段預金 15,000.00
(27) 支拂承諾見返 10,000.00	支拂承諾 10,000.00
現金 10,000.00	別段預金 10,000.00
(28) 支拂承諾 2,000.00	支拂承諾見返 2,000.00
別段預金 2,000.00	現金 2,000.00
(29) 手當 5,000.00	現金 5,000.00
(30) 現金 30,000.00	國債 27,900.00
	有價證券償還益 2,100.00
(31) 現金 3,000.00	預金手形 3,000.00
(32) 現金 9,990.00	商業手形 10,000.00
戻割引料 10.00	
(33) 土地建物賃借料 200.00	現金 200.00
(34) 有價證券價額銷却 4,000.00	國債 4,000.00
(35) 現金 98,000.00	社債 97,000.00
	有價證券賣買益 1,000.00
(36) 名古屋支店 2,000.00	特別當座預金 2,000.00
(又ハ支店)	
(37) 荷付爲替手形 50,000.00	當座預金 49,800.00
	割引料 200.00
(38) 他店へ預ケ 50,000.00	荷付爲替手形 50,000.00
(39) 旅費 200.00	現金 200.00
(40) 前期損益金 100,000.00	配當金 100,000.00

(41) 借方 現 金 5.00	貸方 受入手数料 5.00
(42) 現 金 5,000.00	他店ヨリ預リ 5,000.00
(43) 預ケ金 50,000.00 (又ハ信託預金)	現 金 50,000.00
(44) 預金利子諸税 250.00	現 金 250.00
(45) 現 金 25.00	旅 費 25.00
(46) 建物什器價額銷却 5,000.00 (又ハ減價銷却)	營業用土地建物 } 5,000.00 營業用什器 }
(47) 未経過割引料戻入 750.00	未経過割引料 750.00
(48) 雜 費 45.00	現 金 45.00
(49) 營業用土地建物 200,000.00	預ケ金 150,000.00 當座借越 50,000.00
(50) 現 金 150.00	土地建物賃貸料 150.00

〔68—70頁〕 傳票記入練習課題解答

〔1〕 (1) 收納傳票 (2) 支拂傳票

當座預金
倉橋商會 通貨 5,000.00

證書貸付
三村商店 通貨 10,000.00
期限××, 年利△分擔保付

(3) 支拂傳票

社 債
山一商會 9,800.00
東電 10,000.00 @ 98.00

支拂傳票

假拂金
山一商會 1,000.00
社債端數利子××日分

(4) 振替傳票

(借方) (貸方)

當座預金 須田商事 9,930.00	商業手形 須田商事 10,000.00
割引料 35日 @2.0 70.00	當 #×
合 計 10,000.00	合 計 10,000.00

(5) 支拂傳票

(6) 收納傳票

支拂手数料
山本ビルブローカー 20.00
コールマネー

定期預金
飯田ふみ子 通貨 20,000.00
證書 #×, 期限××

(7) 振替傳票

(借方) (貸方)

預ケ金 日本銀行 20,000.00 # 20	コールローン 東京銀行 20,000.00 #×, ……
合 計 20,000.00	合 計 20,000.00

(8) 振替傳票

(借方) (貸方)

支拂承諾 古川商會 10,000.00 爲手引受 當行宛	支拂承諾見返 古川商會 10,000.00
合 計 10,000.00	合 計 10,000.00

(9) 振替傳票

(借方) (貸方)

支拂承諾見返 10,000.00 古川商會	支拂承諾 古川商會 10,000.00
合 計 10,000.00	合 計 10,000.00

元帳(略式)

株金 (1)	定期預金 (4)	營業用什器 (7)
1,000,000 ⁰⁰	100,000 ⁰⁰	10,000 ⁰⁰
拂込未済株金 (2)	貸付金利息 (5)	預ヶ金 (8)
1,000,000 ⁰⁰ 1,000,000 ⁰⁰	126 ⁰⁰	500,000 ⁰⁰
當座預金 (3)	營業用土地建物 (6)	手形貸付 (9)
29,874 ⁰⁰	100,000 ⁰⁰	20,000 ⁰⁰
現金 (10)		
2,130,000 ⁰⁰	1,630,000 ⁰⁰ 借	500,000 ⁰⁰

日計表

9月20日

元丁	科目	借方残高	貸方残高
1	株金		1,000,000 ⁰⁰
2	拂込未済株金	0	
3	當座預金		29,874 ⁰⁰
4	定期預金		100,000 ⁰⁰
5	貸付金利息		126 ⁰⁰
6	營業用土地建物	100,000 ⁰⁰	
7	營業用什器	10,000 ⁰⁰	
8	預ヶ金	500,000 ⁰⁰	
9	手形貸付	20,000 ⁰⁰	
10	現金	500,000 ⁰⁰	
		1,130,000 ⁰⁰	1,130,000 ⁰⁰

〔121-123頁〕手形交換取引練習課題解答

(注意) [I] の(5)持出手形,山口銀行を三和銀行に,三十四銀行を第一銀行と訂正。

[I] (1) 交換尻は勝で持出手形が悉く現金手形随つて第一の場合に當嵌る。

當座預金 2,500.00 現金 6,000.00
預ヶ金 3,500.00

(2) 交換尻が負で持出手形はない。しかしこれは第三の場合に當嵌る。

(イ) 現金 2,000.00 預ヶ金 2,000.00
(ロ) 預金手形 1,000.00 現金 2,000.00
當座預金 1,000.00

(3) 交換尻は勝で持出手形に取立を要すべき手形を含む。随つて第二の場合に當嵌る。

(イ) 現金 3,000.00 商業手形 3,000.00
(ロ) 當座預金 3,000.00 現金 6,000.00
預ヶ金 3,000.00

(4) 交換尻が勝で持出手形に取立を要すべき手形を含む。故に第二の場合に當嵌る。

(イ) 現金 3,000.00 別段預金 3,000.00
(ロ) 預ヶ金 4,500.00 現金 4,500.00

(5) 交換尻が負で持出手形に取立を要すべき手形を含む。随つて第四の場合に當嵌る。

(イ) 現金 5,000.00 商業手形 5,000.00
(ロ) 現金 1,500.00 預ヶ金 1,500.00
(ハ) 當座預金 5,000.00 現金 8,000.00
預金手形 3,000.00

〔II〕 (1) 收納傳票

商業手形
山田一郎 5,000.00
交換 三菱銀行拂

支拂傳票

當座預金
村田文吉 2,000.00
交換 #28 日比谷銀行提出

支拂傳票

預金手形
内山省三 1,000.00
交換 #36 三井銀行提出

支拂傳票

預ヶ金
日本銀行 3,500.00
交換尻

(2) 收納傳票

預ヶ金
日本銀行 4,500.00
交換尻

支拂傳票

當座預金
井上豊作 2,000.00
交換 #32 第一銀行提出

支拂傳票

支店
横濱支店 4,000.00
交換 #60 安田銀行提出

支拂傳票

當座預金
片岡良一 3,500.00
交換 #25 野村銀行提出

〔III〕 (1) 當座預金 15,000.00 現金 15,000.00

支拂傳票

當座預金
三井商店 15,000.00
商手當 #125 不渡手形入金取消

(2) 當座預金 3,000.00 現金 3,000.00

支拂傳票

當座預金
四村商會 3,000.00
不渡手形入金取消

〔152-153頁〕 他店會計練習課題解答

〔I〕 仕譯：a=單勘定組織, b=二勘定組織, c=四勘定組織

- (1) (當方口)
- | | | | |
|----------|-----------|------|-----------|
| a. 他店 | 10,000.00 | 別段預金 | 10,000.00 |
| b. 他店貸 | 10,000.00 | 別段預金 | 10,000.00 |
| c. 他店へ預ヶ | 10,000.00 | 別段預金 | 10,000.00 |
- (2) (先方口)
- | | | | |
|-------|-----------|--------|-----------|
| a. 現金 | 15,000.00 | 他店 | 15,000.00 |
| b. 現金 | 15,000.00 | 他店借 | 15,000.00 |
| c. 現金 | 15,000.00 | 他店ヨリ預リ | 15,000.00 |
- (3) (當方口)
- | | | | |
|-------|----------|-------|----------|
| a. 現金 | 6,000.00 | 他店 | 6,000.00 |
| b. 現金 | 6,000.00 | 他店貸 | 6,000.00 |
| c. 現金 | 6,000.00 | 他店へ預ヶ | 6,000.00 |
- (4) (當方口)
- | | | | |
|----------|----------|------|----------|
| a. 他店 | 2,000.00 | 當座預金 | 2,000.00 |
| b. 他店貸 | 2,000.00 | 當座預金 | 2,000.00 |
| c. 他店へ預ヶ | 2,000.00 | 當座預金 | 2,000.00 |
- (5) (先方口)
- | | | | |
|-----------|-----------|------|-----------|
| a. 他店 | 18,000.00 | 當座預金 | 18,000.00 |
| b. 他店借 | 15,000.00 | 當座預金 | 18,000.00 |
| 他店貸 | 3,000.00 | | |
| c. 他店ヨリ預リ | 15,000.00 | 當座預金 | 18,000.00 |
| 他店へ貸越 | 3,000.00 | | |

他店ヨリ借越

(6)		4,000.00	貸	4,000.00
(7)	4,000.00			0.00
	4,000.00	4,000.00		

他店ヨリ預リ

(2)		15,000.00	貸	15,000.00
(5)	15,000.00			0.00
(8)		2,000.00	貸	2,000.00
残高	2,000.00			0.00
	17,000.00	17,000.00		

他店へ貸越

(5)	3,000.00		借	3,000.00
(8)		3,000.00		0.00
	3,000.00	3,000.00		

(註) 勘定口座は標準式の略式を用いても差支へないが、本書に於ては、各口座の残高関係を明瞭ならしめるため、特に残高式を採った。

(II) (1) 他店ヨリ預リ 2,500.00 現金 2,500.00
(前橋銀行)

支拂傳票

他店ヨリ預リ
前橋銀行 2,500.00
爲替戻振込 安田送金

(2) 他店ヨリ借越 1,000.00 現金 1,000.00
(大阪銀行)

支拂傳票

他店ヨリ借越
大阪銀行 1,000.00
爲替戻振込 同行當地支店へ

(3) 他店ヨリ預リ 3,500.00 他店へ預ケ 3,500.00
(神戸銀行) (神戸銀行)

借方 振替傳票 貸方

他店へ預ケ	他店ヨリ預リ
神戸銀行 3,500.00	神戸銀行 3,500.00
爲替戻	付替

(4) 他店ヨリ借越 2,000.00 他店へ預ケ 2,000.00
(福岡銀行) (熊本銀行)

借方 振替傳票 貸方

他店へ預ケ	他店ヨリ借越
熊本銀行 2,000.00	福岡銀行 2,000.00
爲替戻	付替

[161-163頁] 支店會計練習課題解答

(I) 支店勘定元帳
横濱支店

日附	摘要	借方	貸方	借 又 貸	残高
3 7	經營資金	100,000.00		借	100,000.00
" 9	送金爲替#58		3,000.00	"	97,000.00
" 11	代金取立手形取立済	5,000.00		"	102,000.00
" 15	當座振込	1,000.00		"	103,000.00
" 18	預金手形立替	5,000.00		"	108,000.00

名古屋支店

日附	摘要	借方	貸方	借 又 貸	残高
3 10	荷爲手取立済	3,000.00		借	3,000.00
" 12	支拂送金支拂済	1,000.00		"	4,000.00
" 18	取立商手取立済		8,000.00	貸	4,000.00

〔II〕 本店集中主義

(1) 横濱支店	本店	現金	¥ 5,000 ⁰⁰	¥ 5,000 ⁰⁰
----------	----	----	-----------------------	-----------------------

宇都宮支店	現金	本店	¥ 5,000 ⁰⁰	¥ 5,000 ⁰⁰
-------	----	----	-----------------------	-----------------------

本店	宇都宮支店	横濱支店	¥ 5,000 ⁰⁰	¥ 5,000 ⁰⁰
----	-------	------	-----------------------	-----------------------

(2) 横濱支店	本店	商業手形	¥ 10,000 ⁰⁰	¥ 10,000 ⁰⁰
----------	----	------	------------------------	------------------------

宇都宮支店	現金	本店	¥ 10,000 ⁰⁰	¥ 10,000 ⁰⁰
-------	----	----	------------------------	------------------------

本店	宇都宮支店	横濱支店	¥ 10,000 ⁰⁰	¥ 10,000 ⁰⁰
----	-------	------	------------------------	------------------------

(3) 横濱支店	本店	現金	¥ 1,500 ⁰⁰	¥ 1,500 ⁰⁰
----------	----	----	-----------------------	-----------------------

宇都宮支店	當座預金	本店	¥ 1,500 ⁰⁰	¥ 1,500 ⁰⁰
-------	------	----	-----------------------	-----------------------

本店	宇都宮支店	横濱支店	¥ 1,500 ⁰⁰	¥ 1,500 ⁰⁰
----	-------	------	-----------------------	-----------------------

(4) 横濱支店	現金	本店	¥ 500 ⁰⁰	¥ 500 ⁰⁰
----------	----	----	---------------------	---------------------

宇都宮支店	本店	現金	¥ 500 ⁰⁰	¥ 500 ⁰⁰
-------	----	----	---------------------	---------------------

本店	横濱支店	宇都宮支店	¥ 500 ⁰⁰	¥ 500 ⁰⁰
----	------	-------	---------------------	---------------------

(5) 横濱支店	現金	本店	¥ 4,000 ⁰⁰	¥ 4,000 ⁰⁰
----------	----	----	-----------------------	-----------------------

宇都宮支店	本店	別段預金	¥ 4,000 ⁰⁰	¥ 4,000 ⁰⁰
-------	----	------	-----------------------	-----------------------

本店	横濱支店	宇都宮支店	¥ 4,000 ⁰⁰	¥ 4,000 ⁰⁰
----	------	-------	-----------------------	-----------------------

支店獨立主義

(1) 横濱支店	宇都宮支店	現金	¥ 5,000 ⁰⁰	¥ 5,000 ⁰⁰
----------	-------	----	-----------------------	-----------------------

宇都宮支店	現金	横濱支店	¥ 5,000 ⁰⁰	¥ 5,000 ⁰⁰
-------	----	------	-----------------------	-----------------------

本店	宇都宮支店	横濱支店	¥ 5,000 ⁰⁰	¥ 5,000 ⁰⁰
----	-------	------	-----------------------	-----------------------

(2) 横濱支店	宇都宮支店	商業手形	¥ 10,000 ⁰⁰	¥ 10,000 ⁰⁰
----------	-------	------	------------------------	------------------------

宇都宮支店	現金	横濱支店	¥ 10,000 ⁰⁰	¥ 10,000 ⁰⁰
-------	----	------	------------------------	------------------------

本店	宇都宮支店	横濱支店	¥ 10,000 ⁰⁰	¥ 10,000 ⁰⁰
----	-------	------	------------------------	------------------------

(3) 横濱支店	宇都宮支店	現金	¥ 1,500 ⁰⁰	¥ 1,500 ⁰⁰
----------	-------	----	-----------------------	-----------------------

宇都宮支店	當座預金	横濱支店	¥ 1,500 ⁰⁰	¥ 1,500 ⁰⁰
-------	------	------	-----------------------	-----------------------

本店	宇都宮支店	横濱支店	¥ 1,500 ⁰⁰	¥ 1,500 ⁰⁰
----	-------	------	-----------------------	-----------------------

(4) 横濱支店	現金	宇都宮支店	¥ 500 ⁰⁰	¥ 500 ⁰⁰
----------	----	-------	---------------------	---------------------

宇都宮支店	横濱支店	現金	¥ 500 ⁰⁰	¥ 500 ⁰⁰
-------	------	----	---------------------	---------------------

本店	横濱支店	宇都宮支店	¥ 500 ⁰⁰	¥ 500 ⁰⁰
----	------	-------	---------------------	---------------------

(5) 横濱支店	現金	宇都宮支店	¥ 4,000 ⁰⁰	¥ 4,000 ⁰⁰
----------	----	-------	-----------------------	-----------------------

宇都宮支店	横濱支店	別段預金	¥ 4,000 ⁰⁰	¥ 4,000 ⁰⁰
-------	------	------	-----------------------	-----------------------

本店	横濱支店	宇都宮支店	¥ 4,000 ⁰⁰	¥ 4,000 ⁰⁰
----	------	-------	-----------------------	-----------------------

〔III〕 (1) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
名古屋支店	2,500.00	横濱支店	2,500.00
合計	2,500.00	合計	2,500.00

(2) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
横濱支店	8,000.00	名古屋支店	8,000.00
合計	8,000.00	合計	8,000.00

(3) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
横濱支店	5,000.00	名古屋支店	5,000.00
合計	5,000.00	合計	5,000.00

〔191—195頁〕 決算練習課題解答

(I) この問題は昭和六年度實業教員檢定試験問題である。故に幾分解答が複雑で、中等學校の生徒にはむつかしいかも知れぬが、次の如く解答を與へて置く。

先づ便宜上(2)決算整理に必要な傳票(略式)より示せば

(借方)		振替傳票		(貸方)	
有價證券價格引上	2,000 ⁰⁰	國債	2,000 ⁰⁰		

(註) 有價證券評價益の計上

(ロ) 振替傳票

(借方)		(貸方)
營業用土地建物	2,500 ⁰⁰	建物價額銷却
		2,500 ⁰⁰

(ハ) 振替傳票

(借方)		(貸方)
營業用什器	1,500 ⁰⁰	什器價額銷却
		1,500 ⁰⁰

(ニ) 振替傳票

(借方)		(貸方)
手形貸付	3,000 ⁰⁰	滞貸金銷却
		3,000 ⁰⁰

(ホ)及び(ヘ) 振替傳票

(借方)		(貸方)
未経過割引料 其ノ他	3,550 ⁰⁰	未経過割引料 其ノ他戻入
		3,550 ⁰⁰

(註) 未経過割引料 1,670⁰⁰ 未経過利息 1,880⁰⁰

(ト)及び(チ) 振替傳票

(借方)		(貸方)
未拂利息其ノ他	4,480 ⁰⁰	預金利息
		3,280 ⁰⁰
		税金
		1,200 ⁰⁰

(リ) 振替傳票

(借方)		(貸方)
有價証券利息	1,280 ⁰⁰	未收利息
		1,280 ⁰⁰

(註) 未收利息といふ累積項目を設ける代りに國債で處理する方法もある。

次に(1)貸借対照表及び損益計算書を調製する過程を Working Sheet を以て示せば次の如くである。

精算表 (Working Sheet)

科目	決算前諸勘定残高		修正		記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	34,750 ⁰⁰									
手形	42,850 ⁰⁰									
預金	213,700 ⁰⁰		3,000 ⁰⁰							
貸付	321,000 ⁰⁰									
土地建物	34,600 ⁰⁰									
什器	9,800 ⁰⁰									
未経過割引料	168,000 ⁰⁰									
未経過利息	45,300 ⁰⁰									
未拂利息	12,600 ⁰⁰									
税金	750,000 ⁰⁰									
未收利息	11,400 ⁰⁰									
有價証券	2,800 ⁰⁰									
未收利息	5,300 ⁰⁰									
未経過割引料	175,000 ⁰⁰									
未経過利息	257,000 ⁰⁰									
未拂利息	32,100 ⁰⁰									
税金	(a)2,850 ⁰⁰									
未收利息	5,600 ⁰⁰									
未経過割引料	1,750 ⁰⁰									
未経過利息	1,000,000 ⁰⁰									
未拂利息	75,000 ⁰⁰									
有價証券	37,000 ⁰⁰									
未收利息	18,950 ⁰⁰									
未経過割引料	5,870 ⁰⁰									
未経過利息	(b)11,650 ⁰⁰									
未拂利息	18,730 ⁰⁰									
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										
未收利息										
未経過割引料										
未経過利息										
未拂利息										
有價証券										

Working Sheet の結果を別表にて示せば次の如くである。

(イ) 損益計算書 (附属簿形に據る)

利益	金額	損失	金額
貸付金利息	18,950 ⁰⁰	預金利息	14,680 ⁰⁰
有價証券利息	7,150 ⁰⁰	滞貸金銷却	3,000 ⁰⁰
割引料	14,500 ⁰⁰	建物價額銷却	2,500 ⁰⁰
銷却債權取立益	18,730 ⁰⁰	什器價額銷却	1,500 ⁰⁰
有價証券價格引上	2,000 ⁰⁰	稅給	1,200 ⁰⁰
未拂利息其ノ他戻入	5,600 ⁰⁰	雜費	5,300 ⁰⁰
前期繰越金	66,930 ⁰⁰	未經過割引料其ノ他戻入	2,800 ⁰⁰
	37,600 ⁰⁰		3,550 ⁰⁰
		計	34,530 ⁰⁰
		当期利益金	70,000 ⁰⁰
		(内当期純益金)	(32,400 ⁰⁰)
合計	104,530 ⁰⁰	合計	104,530 ⁰⁰

(註) 項目の見出を反對に示す方が理論的である。尙必ずしも附属簿形に據る必要なし。

貸借対照表 (附属簿形に據る)

資産(借方)	金額	負債(貸方)	金額
現金預ケ金勘定	77,600 ⁰⁰	預金勘定	432,000 ⁰⁰
現預ケ金	34,750 ⁰⁰	當座預金	175,000 ⁰⁰
有價証券勘定	42,850 ⁰⁰	定期預金	257,000 ⁰⁰
割引手形勘定	160,000 ⁰⁰	他店借付	32,100 ⁰⁰
商業手形勘定	160,000 ⁰⁰	雜勘定	9,780 ⁰⁰
貸付金勘定	213,700 ⁰⁰	未拂利息其ノ他	4,480 ⁰⁰
手形貸付	213,700 ⁰⁰	未經過割引料其ノ他	3,550 ⁰⁰
他店貸付	318,000 ⁰⁰	預金利息諸稅	1,750 ⁰⁰
不動産勘定	318,000 ⁰⁰	株主勘定	1,145,000 ⁰⁰
營業用土地建物什器	44,400 ⁰⁰	資本金	1,000,000 ⁰⁰
雜勘定	53,900 ⁰⁰	積立金	75,000 ⁰⁰
株主未收利息	1,280 ⁰⁰	当期利益金	70,000 ⁰⁰
株主拂込未済資本金	1,280 ⁰⁰	(内前期繰越金)	(37,600 ⁰⁰)
合計	750,000 ⁰⁰		
	750,000 ⁰⁰	合計	1,618,880 ⁰⁰

(註) (イ)未收利息¥1,280⁰⁰は雜勘定として示さないで、これを國債勘定に加算して示す方法もある。その時は國債は¥161,280⁰⁰となる。
(ロ)細括分類項目別に示さずとも差支へない。

〔II〕 この問題も〔I〕と同様實業教員檢定試験問題で昭和二年に提出されたものである。その解答は次の如くである。

本支店貸借不一致額は

$$¥62,796.60 - ¥57,337.07 = ¥5,459.53$$

である。そして本支店合併貸借対照表に於て本支店の貸借を除去せんがためには、貸借不一致を一致させねばならぬ。この不一致を調節する第一法は本支店貸借の差額 ¥5,459.53に對し合併貸借対照表の借方に「本支店未達勘定」を設ける方法である。

これに對し第二法は不一致の原因たる未達項目を調査し、一致するを俟つて除去するものである。この問題に於ては未達項目は

- (イ) 本店にて支店取組荷爲替手形入金 ¥5,300.00
- (ロ) 支店より本店へ向け半期利益金送金 440.47
- (ハ) 支店より本店へ送金爲替 600.00

この未達項目を次の如く振替加減すれば、本支店の貸借は一致するに至る。その仕譯は

本店に於ては

(ロ) 借方 現金	440.47	貸方 支店	440.47
(ハ) " 支店	600.00	" 未拂送金爲替	600.00

支店に於ては

(イ) 借方 本店	5,300.00	貸方 荷付爲替手形	5,300.00
-----------	----------	-----------	----------

尙参考までに振替加減したる本支店總勘定元帳の口座を示せば、次の如くである。

本店總勘定元帳

借方	支店	貸方
残高	57,337 ⁰⁷ (ハ)	440 ⁴⁷
(ロ)	600 ⁰⁰	修正残57,496 ⁰⁰
	57,937 ⁰⁷	57,937 ⁰⁷

支店總勘定元帳

借方	本店	貸方
(イ)	5,300 ⁰⁰	残高 62,796 ⁰⁰
	修正残57,496 ⁰⁰	
	62,796 ⁰⁰	62,796 ⁰⁰

〔196—217頁〕 綜合記帳練習問題解答

(注意) 總勘定元帳に開設すべき勘定名中(24)の次に(25)當座借越を設く。十一月一日取引(8)は同時に當座借越契約(日歩一錢三厘)をなしたものとす。

昭和×年十一月一日取引に對する傳票及び關係帳簿

(1) 銀行設立に對する傳票

(借方)			振替傳票			(貸方)		
勘定科目	摘要	金額	勘定科目	摘要	金額	勘定科目	摘要	金額
株 金	株 主 一株額面¥100 ⁰⁰ 總數二萬株	2,000,000 ⁰⁰	拂込未済株 金	株 主	2,000,000 ⁰⁰			
合 計		2,000,000 ⁰⁰	合 計		2,000,000 ⁰⁰			

第一回拂込に對する傳票

收納傳票

科目	拂込未済株 金
姓名	株 主
金額	通貨 500,000 ⁰⁰
摘要	第一回四分ノ一拂込

▲ 株式元帳 株式臺帳
收納帳

註 この例題に於ては株式に關する補助簿に記入する必要なし

(3) 支拂傳票

科目	創 業 費
姓名	石 井 一 郎
金額	1,000 ⁰⁰
摘要	發起人代表

▲ 支 拂 帳

(4) 支 拂 傳 票

營業用土地	
帝都土地株式會社	20,000 ⁰⁰
100坪 @ ¥ 200 ⁰⁰	

▲ 支 拂 帳

支 拂 傳 票

營業用建物	
帝都土地株式會社	9,000 ⁰⁰
建坪50坪 @ ¥ 180 ⁰⁰	

(5) 支 拂 傳 票

營業用什器	
中 村 商 會	985 ⁰⁰
机・椅子・算盤,その他計十點	

支 拂 傳 票

營業用什器	
黒 川 商 店	200 ⁰⁰
自轉車二臺	

▲ 支 拂 帳

支 拂 傳 票

營業用什器	
田 中 商 店	4,500 ⁰⁰
電話・金庫・タイプライター計八點	

(6) 支 拂 傳 票

雜 費	
松 屋 商 店	175 ⁰⁰
帳簿・文房具	

▲ 支 拂 帳

(7) 支 拂 傳 票

營業用土地	
用 度 係	750 ⁰⁰
登記料及び附帶費用	

▲ 支 拂 帳

支 拂 傳 票

營業用建物	
用 度 係	300 ⁰⁰
登記料及び附帶費用	

(8) 支拂傳票

預ヶ金
日本銀行 250,000 ⁰⁰

▲ 預ヶ金元帳 支拂帳

昭和 × 年十一月二日取引に関する傳票及び關係帳簿

(1) 收納傳票

當座預金
鎌田 一郎 通貨 5,000 ⁰⁰
通帳 A # 0001 小切手 # 1-25 當座貸越約定

▲ 當座預金元帳 收納帳

(3) 收納傳票

當座預金
高橋源一郎 他行切手手形 10,000 ⁰⁰
通帳 A # 0002 小切手 # 26-50 當座貸越約定

▲ 當座預金元帳 收納帳

(4) 振替傳票

(借方)	(貸方)
當座預金 石川孝三 9,933 ²⁰ 通帳 A # 0003 小切手 # 51-75	手形貸付 石川孝三 10,000 ⁰⁰ # 1 擔保附
貸付金利息 29日 @ 2.3 66 ⁷⁰	
合計 10,000 ⁰⁰	合計 10,000 ⁰⁰

▲ 當座預金元帳 手形貸付元帳 手形貸付記入帳 擔保品記入帳

(5) 收納傳票

定期預金
村上太郎 通貨 10,000 ⁰⁰
證書 C # 1 期限一ヶ年

▲ 定期預金記入帳 收納帳

(6) 振替傳票

(借方)	(貸方)
預ヶ金 日本銀行 45,575 ⁰⁰ # 1	國債 橋本商會 44,850 ⁰⁰ 假拂金 國債端數利子 725 ⁰⁰
合計 45,575 ⁰⁰	合計 45,575 ⁰⁰

▲ 預ヶ金元帳 國債證券賣買帳

(7) 支拂傳票

證書貸付
山本五郎 20,000 ⁰⁰
1 期限一ヶ月半, 年利九分擔保附

▲ 證書貸付元帳 證書貸付
記入帳 擔保品記入帳 支
拂帳

(8) 支拂傳票

當座預金
高橋源一郎 3,500 ⁰⁰
26 青山豊太渡

▲ 當座預金元帳 支拂帳

(9) 振替傳票

(借方)	(貸方)
當座預金 鎌田一郎 9,967 ⁶⁰ 割引料 44日 @ 2.1 92 ⁴⁰	商業手形 鎌田一郎 10,000 ⁰⁰ 當 # 1
合計 10,000 ⁰⁰	合計 10,000 ⁰⁰

▲ 當座預金元帳 商業手形元帳 當所商業手形記入帳

(10) 收納傳票

定期預金
安田合名會社
通貨 50,000 ⁰⁰
證書 C # 2 期限一ヶ年

▲ 定期預金記入帳 收納帳

(12) 支拂傳票

預ヶ金
日本銀行 50,000 ⁰⁰

▲ 預ヶ金元帳 支拂帳

昭和 年十一月十五日取引に對する傳票及び關係帳簿

(1) 支拂傳票

當座預金
高橋源一郎 1,000 ⁰⁰
27 本人渡

▲ 當座預金元帳 支拂帳

(11) ▲ 當所代金取立手形記入帳

(13) 收納傳票

特別當座預金
飯田文吉
他行切手手形 5,000 ⁰⁰
通帳 B # 0002

▲ 特別當座預金元帳 收納帳

(2) 收納傳票

預金手形
山本忠次 通貨 3,000 ⁰⁰
1

▲ 預金手形記入帳 收納帳

(3) 振替傳票

貸付金利息 島田泰三 106 ⁹⁵	手形貸付 島田泰三 15,000 ⁰⁰
31日 @ 2.3	# 2 擔保附
差引現金支拂 14,893 ⁹⁵	合計 15,000 ⁰⁰
合計 15,000 ⁰⁰	

▲ 手形貸付元帳 手形貸付記入帳 擔保品記入帳 支拂帳

(4) 振替傳票

(借方)		(貸方)
別段預金 高木三郎 8,000 ⁰⁰		當座預金 高橋源一郎 5,500 ⁰⁰
代手取立濟		當座貸越 " 2,500 ⁰⁰
合計 8,000 ⁰⁰		# 28 高木三郎渡 合計 8,000 ⁰⁰

▲ 別段預金記入帳 當所代金取立手形記入帳 當座預金元帳

(5) 收納傳票

特別當座預金
飯田文吉
通貨 5,000 ⁰⁰

▲ 特別當座預金元帳 收納帳

(6) 振替傳票

(借方)		(貸方)
別段預金 木村商店 2,000 ⁰⁰		荷付爲替手形 木村商店 10,000 ⁰⁰
割引料 13日 @ 2.2 28 ⁰⁰		# 1
差引現金支拂 7,971 ⁴⁰		合計 10,000 ⁰⁰
合計 10,000 ⁰⁰		

▲ 別段預金記入帳 荷付爲替手形記入帳 支拂帳

(7) 振替傳票

(借方)		(貸方)
當座預金 支拂保證口 10,000 ⁰⁰		當座預金 鎌田一郎 10,000 ⁰⁰
合計 10,000 ⁰⁰		# 1 合計 10,000 ⁰⁰

▲ 當座預金元帳 (鎌田一郎口座記入, 支拂保證口口座開設)

(8) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
當座預金 遠山商店	15,000 ⁰⁰	當座預金 石川孝三	5,000 ⁰⁰
通帳 A # 0004		# 51	
小切手 # 76-100		差引現金収入	10,000 ⁰⁰
合計	15,000 ⁰⁰	合計	15,000 ⁰⁰

▲ 當座預金元帳 收納帳

(9) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
預ヶ金 日本銀行	100,000 ⁰⁰	コールローン 東京銀行	100,000 ⁰⁰
# 2		# 1 無條件物	
擔保付			
合計	100,000 ⁰⁰	合計	100,000 ⁰⁰

預ヶ金元帳 コールローン元帳 コールローン記入帳 擔保品記入帳

(10) 支拂傳票

國債	
山一合資會社	92,000 ⁰⁰
甲號五分利 100,000 ⁰⁰ @ 92 ⁰⁰	

▲ 國債證券賣買帳 支拂帳

(11) 收納傳票

定期預金	
清水商會	
通貨	100,000 ⁰⁰
證書 C # 3 期限六ヶ月	

▲ 定期預金記入帳 收納帳

支拂傳票

假拂金	
山一合資會社	950 ⁰⁰
國債端數利子	

(12) 支拂傳票

特別當座預金	
山中元吉	500 ⁰⁰

▲ 特別當座預金元帳 支拂帳

(13) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
國債 中野銀行	45,942 ⁰⁰	貸付有價證券 中野銀行	45,942 ⁰⁰
		甲號五分利	
合計	45,942 ⁰⁰	合計	45,942 ⁰⁰

▲ 國債證券賣買帳 貸付有價證券記入帳

(14) 支拂傳票

當座預金	
石川孝三	1,000 ⁰⁰
# 52 原田次郎渡	

▲ 當座預金元帳 支拂帳

(15) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
定期預金 下田源吉	5,000 ⁰⁰	當座預金 遠山商店	3,000 ⁰⁰
證書 C # 4		# 76	
期限六ヶ月		差引現金収入	2,000 ⁰⁰
合計	5,000 ⁰⁰	合計	5,000 ⁰⁰

▲ 定期預金記入帳 當座預金元帳 收納帳

(16) 支拂傳票

雜費	
用度係	52 ⁰⁰

▲ 支拂帳

(17) ▲ 荷付爲替手形記入帳

昭和×年十一月三十日取引に対する傳票及び関係帳簿

(1) 收納傳票

當座預金
山田平一
他行切手手形 5,000 ⁰⁰
通帳A#0005,小切手#101-125

▲ 當座預金元帳 收納帳 増補日記帳

(2) 振替傳票

(借方)

(貸方)

受入手数料 高木三郎 1 ⁰⁰	別段預金 高木三郎 8,000 ⁰⁰
差引現金支拂 7,999 ⁰⁰	
合計 8,000 ⁰⁰	合計 8,000 ⁰⁰

▲ 別段預金記入帳 支拂帳

(3) 振替傳票

(借方)

(貸方)

預金手形 三井商店 5,000 ⁰⁰	商業手形 三井商店 10,000 ⁰⁰
割引料 55日 @ 2.1 115 ⁰⁰	當#2擔保付
差引現金支拂 4,884 ⁵⁰	
合計 10,000 ⁰⁰	合計 10,000 ⁰⁰

▲ 預金手形記入帳 商業手形元帳 當所商業手形記入帳
擔保品記入帳 支拂帳

(4) ▲ 他店勘定元帳 (口座開設)

(5) 收納傳票

定期預金
神田商事會社
通貨 20,000 ⁰⁰
他行切手手形 30,000 ⁰⁰
證書C#5,期限一ヶ年

▲ 定期預金記入帳 收納帳

(6) 收納帳票

手形貸付
石川孝三
他行切手手形 10,000 ⁰⁰
#1

▲ 手形貸付元帳 手形貸付記入帳
擔保品記入帳 收納帳

(7) ▲ 他所代金取立手形記入帳

(8) 振替傳票

(借方)

(貸方)

當座貸越 高橋源一郎 2,500 ⁰⁰	商業手形 高橋源一郎 10,000 ⁰⁰
當座預金 同人 7,441 ²⁰	他#1
割引料 28日 @ 2.1 58 ⁰⁰	
合計 10,000 ⁰⁰	合計 10,000 ⁰⁰

▲ 當座預金元帳 商業手形元帳 他所商業手形記入帳 増補日記帳

(9) 振替傳票

(借方)

(貸方)

荷付爲替手形 木村商店 10,000 ⁰⁰	他店へ預ヶ 北海道銀行 10,000 ⁰⁰
合計 10,000 ⁰⁰	合計 10,000 ⁰⁰

▲ 荷付爲替手形記入帳 他店勘定元帳

(10) 支拂傳票

當座預金
支拂保證口 10,000 ⁰⁰
多田商會渡

▲ 當座預金元帳 支拂帳
増補日記帳

(11) 振替傳票

(借方)

(貸方)

コールローン 東京銀行 100,000 ⁰⁰	預ヶ金 日本銀行 100,160 ⁰⁰
貸付金利息 16日 @ 1.0 160 ⁰⁰	
合計 100,160 ⁰⁰	合計 100,160 ⁰⁰

▲ コールローン元帳 コールローン記入帳 擔保品記入帳
預ヶ金元帳

(12) 収納傳票

受入手数料	
田中正一	
通貨	100
名古屋#1 代金取立手形	

▲ 他所代金取立手形記入帳
収納帳

(13) 振替傳票

(借方)			(貸方)
預ヶ金 日本銀行	49,632 ⁰⁰	手形貸付 三輪商會	50,000 ⁰⁰
#3		#3	
貸付金利息 32日 @ 2.3	368 ⁰⁰	合計	50,000 ⁰⁰
合計	50,000 ⁰⁰		

▲ 預ヶ金元帳 手形貸付元帳 手形貸付記入帳 擔保品記入帳

(14) 支拂傳票

旅費	
木内一郎	200 ⁰⁰
神戸支店設置ノ爲	

▲ 支拂帳

(15) 振替傳票

(借方)			(貸方)
預ヶ金 日本銀行	120,000 ⁰⁰	神戸支店 支配人	120,000 ⁰⁰
#4		經營資金	
合計	120,000 ⁰⁰	合計	120,000 ⁰⁰

▲ 預ヶ金元帳 支店勘定元帳

(16) 振替傳票

(借方)			(貸方)
貸付有價證券 中野銀行	45,942 ⁰⁰	國債 中野銀行	45,942 ⁰⁰
有價證券貸付料 16日 @ 0.6	44 ¹⁰	差引現金収入	44 ¹⁰
合計	45,986 ¹⁰	合計	45,986 ¹⁰

▲ 貸付有價證券記入帳 國債證券賣買帳

(註) 有價證券貸付料の入金に就いては別に収納傳票にて處理するもよい。

(17) 振替傳票

(借方)			(貸方)
他店へ預ヶ 北海道銀行	2,000 ⁰⁰	當座預金 山田平一	2,000 ⁰⁰
送金#1		合計	2,000 ⁰⁰
合計	2,000 ⁰⁰		

収納傳票

受入手数料	
山田平一	
通貨	100
北海道向送金手数料	

▲ 送金爲替記入帳 他店勘定元帳 當座預金元帳 収納帳
増補日記帳

(18) 振替傳票

(借方)			(貸方)
預ヶ金 日本銀行	84,953 ⁰⁰	證書貸付 高村工業	200,000 ⁰⁰
當座借越	65,047 ⁰⁰	#2 財團擔保	
#5		合計	200,000 ⁰⁰
差引現金支拂	50,000 ⁰⁰		
合計	200,000 ⁰⁰		

▲ 證書貸付元帳 證書貸付記入帳 擔保品記入帳 預ヶ金元帳

(19) 收納傳票

神戸支店
田村庫吉
通貨 1,500 ⁰⁰
送金爲替#1

▲ 送金爲替記入帳 支店勘定元帳 收納帳

(20) 收納傳票

當座預金
石川孝三
通貨 3,800 ⁰⁰

▲ 當座預金元帳 收納帳
増補日記帳

(22) 支拂傳票

預金手形
山本忠次 3,000 ⁰⁰
#1 交換 三菱銀行提出

支拂傳票

當座借越
日本銀行 40,000 ⁰⁰
交換戻

▲ 預金手形記入帳 當座預金元帳 預ヶ金元帳 増補日記帳

收納傳票

受入手數料
田村庫吉
通貨 1 ⁰⁰
神戸向送金手數料

(21) 支拂傳票

別段預金
木村商店 2,000 ⁰⁰
荷爲替殘金

▲ 別段預金記入帳 支拂帳

支拂傳票

當座預金
鎌田一郎 2,000 ⁰⁰
#2 交換 第一銀行提出

(23) 支拂傳票

給料
社員 350 ⁰⁰
十一月分

▲ 支拂帳

昭和 × 年十二月十五日取引に對する傳票及び關係帳簿

(1) 收納傳票

國債
杉山商會
他行切手手形 63,342 ⁰⁰
甲號五分利 50,000 ⁰⁰ @91884 45,942 ⁰⁰
乙號四分利 20,000 ⁰⁰ @87 ⁰⁰ 17,400 ⁰⁰

收納傳票

假拂金
杉山商會
他行切手手形 1,550 ⁰⁰
國債端數利子

▲ 國債證券賣買帳 收納帳

(2) (1) 振替傳票

(借方)

(貸方)

當座預金 鎌田一郎 5,000 ⁰⁰	他店へ預ヶ 大阪銀行 5,000 ⁰⁰
	代金取立手形
	大阪#1
合計 5,000 ⁰⁰	合計 5,000 ⁰⁰

▲ 他所代金取立手形記入帳 當座預金元帳 他店勘定元帳
増補日記帳

(24) 支拂傳票

雜費
用度係 25 ⁰⁰

▲ 支拂帳

(ロ) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
當座預金 山田平一	2,000 ⁰⁰	他店へ貸越 大阪銀行	2,000 ⁰⁰
		當座振込	
合計	2,000 ⁰⁰	合計	2,000 ⁰⁰

▲ 當座預金元帳 他店勘定元帳 増補日記帳

(3) 收納傳票

商業手形
鎌田 一郎
通貨 10,000 ⁰⁰
支拂人 黒田商會

▲ 商業手形元帳 當所商業手形記入帳 收納帳

(4) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
他店ヨリ預リ 名古屋銀行	10,000 ⁰⁰	當座預金 鎌田一郎	7,907 ⁶⁰
代金取立手形		#3	
		當座貸越 同人	2,092 ⁴⁰
合計	10,000 ⁰⁰	合計	10,000 ⁰⁰

▲ 當所代金取立手形記入帳 他店勘定元帳 當座預金元帳 増補日記帳

(5) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
當座借越 日本銀行	14,910 ⁹⁰	商業手形 鎌田一郎	15,000 ⁰⁰
#6		神戸 #1	
割引料 27日@2.2	891 ⁰		
合計	15,000 ⁰⁰	合計	15,000 ⁰⁰

▲ 預ケ金元帳 商業手形元帳 他所商業手形記入帳 擔保品 記入帳

(6) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
別段預金 田中正一	5,000 ⁰⁰	他店へ預ケ 名古屋銀行	5,000 ⁰⁰
		代手名 #1	
合計	5,000 ⁰⁰	合計	5,000 ⁰⁰

▲ 他所代金取立手形記入帳 別段預金記入帳 他店勘定元帳

(7) 支拂傳票

別段預金
田中正一 5,000 ⁰⁰
代手預リ金

▲ 他所代金取立手形記入帳 別段預金記入帳 支拂帳

(8) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
再割引手形 日本銀行	10,000 ⁰⁰	當座借越 日本銀行	9,928 ⁰⁰
		再割引料 40日 @ 1.8	72 ⁰⁰
合計	10,000 ⁰⁰	合計	10,000 ⁰⁰

▲ 再割引手形元帳 再割引手形記入帳 預ケ金元帳

(9) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
借入有價證券 住友銀行	27,900 ⁰⁰	國債 住友銀行	27,900 ⁰⁰
甲號五分利國債			
合計	27,900 ⁰⁰	合計	27,900 ⁰⁰

▲ 借入有價證券記入帳 國債證券賣買帳

(10) (イ) ▲ 支拂送金爲替記入帳

(ロ) ▲ 取立荷付爲替手形記入帳

(11) 振替傳票

(借方) (貸方)

手形貸付 島田泰三 15,000 ⁰⁰ #4	手形貸付 島田泰三 15,000 ⁰⁰ #2書換
貸付金利息 30日 @ 2.3 103 ⁰⁰	差引現金收入 103 ⁰⁰
合計 15,103 ⁰⁰	合計 15,103 ⁰⁰

▲ 手形貸付元帳 手形貸付記入帳 收納帳

(12) 振替傳票

(借方) (貸方)

支拂承諾 三井商店 20,000 ⁰⁰ 荷爲替保證 三菱銀行宛	支拂承諾見返 三井商店 20,000 ⁰⁰
合計 20,000 ⁰⁰	合計 20,000 ⁰⁰

▲ 支拂承諾元帳 支拂承諾記入帳

(13) 收納傳票

收納傳票

神戸支店
柿沼政太郎 通貨 5,000 ⁰⁰
送金爲替 #2 受取人新海商會

受入手數料
柿沼政太郎 通貨 1 ⁰⁰
神戸向送金手數料

▲ 送金爲替記入帳 支店勘定元帳 收納帳

(14) 支拂傳票

他店ヨリ預リ
名古屋銀行 1,000 ⁰⁰
支拂送金爲替 #1 受取人黒田新太郎

▲ 支拂送金爲替記入帳 他店勘定元帳

(15) 收納傳票

收納傳票

證書貸付
山本五郎 通貨 20,000 ⁰⁰
證書 #1

貸付金利息
山本五郎 通貨 225 ⁰⁰
證書貸付利息

▲ 證書貸付元帳 證書貸付記入帳 擔保品記入帳 收納帳

(16)

(借方) (貸方)

他店ヨリ預リ 大阪銀行 10,000 ⁰⁰	當座預金 遠山商店 12,000 ⁰⁰
他店へ貸越 2,000 ⁰⁰ 代金取立手形	#77
合計 12,000 ⁰⁰	合計 12,000 ⁰⁰

▲ 當所代金取立手形記入帳 他店勘定元帳 當座預金元帳
増補日記帳

(17) ▲ 當所代金取立手形記入帳

(18) (イ) ▲ 支拂送金爲替記入帳

(ロ) 振替傳票

(借方) (貸方)

他店ヨリ預リ 大阪銀行 5,000 ⁰⁰	預金手形 三井商店 5,000 ⁰⁰
合計 5,000 ⁰⁰	合計 5,000 ⁰⁰

▲ 預金手形記入帳 他店勘定元帳

(19) 支拂傳票

特別當座預金
飯田文吉 1,000 ⁰⁰

▲ 特別當座預金元帳 支拂帳

(20) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
當座預金	支拂保證口 2,500 ⁰⁰	當座預金	石川孝三 2,500 ⁰⁰
			# 53
合計	2,500 ⁰⁰	合計	2,500 ⁰⁰

▲ 當座預金元帳 増補日記帳

(21) ▲ 他所代金取立手形記入帳

(22) 支拂傳票一枚は二枚の誤り。

支拂傳票		支拂傳票	
預ヶ金		當座借越	
日本銀行	35,620 ¹⁰	日本銀行	30,029 ⁹⁰
交換尻		交換尻	

▲ 預ヶ金元帳 支拂帳

(23) 振替傳票

(借方)		(貸方)	
當座貸越	鎌田一郎 23 ⁸⁰	預金利息	鎌田一郎 24 ⁰⁶
貸付金利息	同人		
	當座貸越利息 0 ⁴⁶		
合計	24 ⁰⁶	合計	24 ⁰⁶

振替傳票

(借方)		(貸方)	
當座預金	高橋源一郎 8 ³⁸	預金利息	高橋源一郎 16 ⁰⁸
貸付金利息	同人 7 ⁷⁰		
	當座貸越利息		
合計	16 ⁰⁸	合計	16 ⁰⁸

振替傳票

(借方)		(貸方)	
當座預金	石川孝三 24 ⁶³	預金利息	石川孝三 24 ⁶³
合計	24 ⁶³	合計	24 ⁶³

振替傳票

(借方)		(貸方)	
當座預金	遠山商店 28 ⁸⁰	預金利息	遠山商店 28 ⁸⁰
合計	28 ⁸⁰	合計	28 ⁸⁰

振替傳票

(借方)		(貸方)	
當座預金	山田平一 4 ⁰⁰	預金利息	山田平一 4 ⁰⁰
合計	4 ⁰⁰	合計	4 ⁰⁰

振替傳票

(借方)		(貸方)	
特別當座預金	山中元吉 5 ⁰⁶	預金利息	山中元吉 5 ¹⁴
預金利子諸税	同人 0 ²⁸		
合計	5 ⁴⁴	合計	5 ⁴⁴

振替傳票

(借方)		(貸方)	
特別當座預金	飯田文吉 38 ²⁷	預金利息	飯田文吉 41 ¹⁴
預金利子諸税	同人 2 ⁸⁷		
合計	41 ¹⁴	合計	41 ¹⁴

▲ 當座預金元帳 特別當座預金元帳

昭和×年十二月三十一日取引に対する傳票及び関係帳簿

(1) (イ) 振替傳票 (貸方)

當座預金 遠山商店	4,650 ⁰⁰	神戸支店 代金取立手形	4,650 ⁰⁰
		神戸 #1	
合計	4,650 ⁰⁰	合計	4,650 ⁰⁰

▲ 他所代金取立手形記入帳 當座預金元帳 支店勘定元帳
増補日記帳

(ロ) 支拂傳票

神戸支店	
神田英吉	3,500 ⁰⁰
支拂送金 受取人島田賢一	

▲ 支拂送金爲替記入帳 支店勘定元帳 支拂帳

(2) 支拂傳票

當座預金	
支拂保證口	2,500 ⁰⁰
#52 田口勝次渡	

▲ 當座預金元帳 支拂帳
増補日記帳

(4) 收納傳票

他店ヨリ預リ	
北海道銀行	
通貨	13,500 ⁰⁰
代取手 #1	

▲ 當所代金取立手形記入帳
他店勘定元帳 收納帳

(3) 收納傳票

貸付金利息	
高村工業會社	
他行切手手形	1,500 ⁰⁰
證書貸付一ヶ月分利息	

▲ 證書貸付記入帳 收納帳

(5) 收納傳票

手形貸付	
三輪商會	
通貨	30,000 ⁰⁰
他行切手手形	20,000 ⁰⁰
#3	

▲ 手形貸付元帳 手形貸付
記入帳 收納帳

(6) 振替傳票 (貸方)

他店へ預ケ 大阪銀行	5,000 ⁰⁰	當座預金 高橋源一郎	6,000 ⁰⁰
他店ヨリ借越 同行	1,000 ⁰⁰	#29	
當座振込			
合計	6,000 ⁰⁰	合計	6,000 ⁰⁰

▲ 當座預金元帳 他店勘定元帳 増補日記帳

(7) 振替傳票 (貸方)

當座預金 山田平一	20,000 ⁰⁰	他店へ預ケ 名古屋銀行	5,000 ⁰⁰
		#20 保證小切手	
合計	20,000 ⁰⁰	差引現金収入	15,000 ⁰⁰
		合計	20,000 ⁰⁰

▲ 當座預金元帳 他店勘定元帳 收納帳 増補日記帳

(8) 振替傳票 (貸方)

國債 住友銀行	27,900 ⁰⁰	借入有價證券 住友銀行	27,900 ⁰⁰
差引現金支拂	14 ²³	有價證券借入料 17日 @ 0.3	14 ²³
合計	27,914 ²³	合計	27,914 ²³

▲ 借入有價證券記入帳 國債證券賣買帳 支拂帳

(9) 振替傳票 (貸方)

預ケ金 日本銀行	30,000 ⁰⁰	證書貸付 山本五郎	30,000 ⁰⁰
#7		#3	
合計	30,000 ⁰⁰	合計	30,000 ⁰⁰

▲ 證書貸付元帳 證書貸付記入帳 擔保品記入帳 預ケ金
元帳

(10) 收納傳票

他店へ預け
名古屋銀行 通貨 2,500 ⁰⁰
電送#1 受取人丸山龜吉

收納傳票

受入手数料
福田彦一 通貨 2 ⁰⁰
名古屋宛電送料金

▲ 送金爲替記入帳 他店勘定元帳 收納帳

(11) (イ) 支拂傳票

他店ヨリ預り
大阪銀行 2,000 ⁰⁰
支拂送金#18 受取人 津田清吉

▲ 他店勘定元帳 支拂帳

(ロ) 支拂傳票

他店ヨリ借越
大阪銀行 1,000 ⁰⁰
保證小切手#23 立替拂

▲ 他店勘定元帳 支拂帳

(12) 收納傳票

當座預金
石川孝三 通貨 6,500 ⁰⁰
代金取立手形取立 支拂人 安田敏夫

▲ 當所代金取立手形記入帳 當座預金元帳 收納帳 増補日記帳

(13) (イ) 振替傳票

(借方)		(貸方)
商業手形 高橋源一郎 10,000 ⁰⁰	他店へ預け 名古屋銀行 10,000 ⁰⁰	
合計 10,000 ⁰⁰	合計 10,000 ⁰⁰	

▲ 商業手形元帳 他所商業手形記入帳 他店勘定元帳

(ロ) 振替傳票

(借方)		(貸方)
當座貸越 鎌田一郎 2,068 ⁰⁰	他店ヨリ預り 名古屋銀行 2,500 ⁰⁰	
當座預金 同人 431 ²⁰	合計 2,500 ⁰⁰	
合計 2,500 ⁰⁰		

▲ 他店勘定元帳 當座預金元帳 増補日記帳

(14) 支拂傳票

特別當座預金
飯田文吉 500 ⁰⁰

▲ 特別當座預金元帳 支拂帳

(15) 振替傳票

(借方)		(貸方)
支拂承諾見返 三井商店 20,000 ⁰⁰	支拂承諾 三井商店 20,017 ⁰⁰	
受入手数料 17日 @ 0.5 17 ⁰⁰	差引現金収入 17 ⁰⁰	
合計 20,017 ⁰⁰	合計 20,017 ⁰⁰	

▲ 支拂承諾見返元帳 支拂承諾見返記入帳 收納帳

(16) 收納傳票

神戸支店
白石英太郎 通貨 25,000 ⁰⁰
電送#1 受取人 多田謙吉

收納傳票

受入手数料
白石英太郎 通貨 3 ⁰⁰
電送手数料

▲ 送金爲替記入帳 支店勘定元帳 收納帳

(17) 收納傳票

假拂金
通貨 125 ⁰⁰
國債端数利子受入

收納傳票

有價証券利息
通貨 1,875 ⁰⁰
國債利子

▲ 收納帳

(18) 支拂傳票

雜費
用度保 165 ⁰⁰
十二月分

▲ 支拂帳

(19) 支拂傳票

給料
社員 350 ⁰⁰
十二月分

支拂傳票

手當
社員 150 ⁰⁰
年末賞與

▲ 支拂帳

(20) 支拂傳票四枚とあるは三枚の誤り。

收納傳票

預ヶ金
日本銀行 通貨 1,000 ⁰⁰
交換尻

支拂傳票

當座預金
山田平一 12,000 ⁰⁰
#103 交換 住友銀行提出

支拂傳票

當座預金
石川孝三 5,000 ⁰⁰
#54 交換 安田銀行提出

支拂傳票

當座預金
遠山商店 3,500 ⁰⁰
#79 交換 第一銀行提出

▲ 預ヶ金元帳 預金手形記入帳 當座預金元帳 増補日記帳

(21) 決算のための修正傳票次の如し。

(イ)

振替傳票

(借方)		(貸方)
未拂利息其ノ他 本年未分	1,364 ⁵⁷	預金利息 定期預金
合計	1,364 ⁵⁷	合計
		1,364 ⁵⁷

(ロ)及び(ハ) 振替傳票

(借方)		(貸方)
未経過割引料其ノ他 本年未分	126 ¹⁵	未経過割引料其ノ他戻入
合計	126 ¹⁵	合計
		126 ¹⁵

(ニ)及び(ホ) 振替傳票

(借方)		(貸方)
營業用建物 今期減價	120 ⁰⁰	建物什器減價額銷却
營業用什器 同	100 ⁰⁰	合計
合計	220 ⁰⁰	合計
		220 ⁰⁰

補 助 簿

收 納 帳

昭和×年11月1日

通貨	切手手形	勘定科目	姓名	當座預金	雜勘定
500,000 ⁰⁰		拂込未済株金	諸株主		500,000 ⁰⁰

昭和×年11月2日

通貨	切手手形	勘定科目	姓名	當座預金	雜勘定
5,000 ⁰⁰			鎌田一郎	5,000 ⁰⁰	
1,500 ⁰⁰		特別當座	山中元吉		1,500 ⁰⁰
	10,000 ⁰⁰		高橋源一郎	10,000 ⁰⁰	
10,000 ⁰⁰		定期	村上太郎		10,000 ⁰⁰
50,000 ⁰⁰		"	安田合名		50,000 ⁰⁰
	5,000 ⁰⁰	特別當座	飯田文吉		5,000 ⁰⁰
66,500 ⁰⁰	15,000 ⁰⁰			15,000 ⁰⁰	66,500 ⁰⁰
15,000 ⁰⁰					15,000 ⁰⁰
81,500 ⁰⁰					81,500 ⁰⁰

昭和×年12月15日

通貨	切手手形	勘定科目	姓名	當座預金	雜勘定
3,000 ⁰⁰		預金手形	山本忠次		3,000 ⁰⁰
5,000 ⁰⁰		特別當座	飯田文吉		5,000 ⁰⁰
10,000 ⁰⁰			遠山商店	10,000 ⁰⁰	
100,000 ⁰⁰		定期	清水商會		100,000 ⁰⁰
	2,000 ⁰⁰	"	下田源吉		2,000 ⁰⁰
118,000 ⁰⁰	2,000 ⁰⁰			10,000 ⁰⁰	110,000 ⁰⁰
2,000 ⁰⁰					10,000 ⁰⁰
120,000 ⁰⁰					120,000 ⁰⁰

收 納 帳

昭和×年11月30日

通 貨	切手手形	勘定科目	姓 名	當座預金	雜 勘 定
	5,000.00		山田平一	5,000.00	
20,000.00	30,000.00	定 期	神田商事		50,000.00
	10,000.00	手形貸付	石川孝三		10,000.00
100		受入手數料	田中正一		100
44.10		有價證券	中野銀行		44.10
100		貸付料	山田平一		100
1,500.00		神戸支店	田村康吉		1,500.00
100		受入手數料	"		100
3,800.00			石川孝三	3,800.00	
25,347.10	45,000.00			8,800.00	61,547.10
	25,347.10				8,800.00
	70,347.10				70,347.10

昭和 年12月15日

通 貨	切手手形	勘定科目	姓 名	當座預金	雜 勘 定
	63,342.00	國 債	杉山商會		63,342.00
	758.00	有價證券買賣	"		758.00
	1,550.00	假 拂 金	"		1,550.00
10,000.00		商業手形	鎌田一郎		10,000.00
103.50		貸付金利息	島田泰三		103.50
5,000.00		神戸支店	柿沼政太郎		5,000.00
100		受入手數料	"		100
20,000.00		證書貸付	山本五郎		20,000.00
225.00		貸付金利息	"		225.00
35,329.50	65,650.00			0.00	100,979.50
	35,329.50				0.00
	100,979.50				100,979.50

收 納 帳

昭和×年12月31日

通 貨	切手手形	勘定科目	姓 名	當座預金	雜 勘 定
	1,500.00	貸付金利息	高村工業		1,500.00
13,500.00		他店ヨリ預リ	北海道銀行		13,500.00
30,000.00	20,000.00	手形貸付	三輪商店		50,000.00
15,000.00			山田平一	15,000.00	
2,500.00		他店へ預ケ	名古屋銀行		2,500.00
2.50		受入手數料	福田彦一		2.50
6,500.00			石川孝三	6,500.00	
17.00		受入手數料	三井商店		17.00
25,000.00		神戸支店	白石英太郎		25,000.00
3.00		受入手數料	"		3.00
125.00		假 拂 金			125.00
1,875.00		有價證券利息			1,875.00
1,000.00		預ケ金	交換尻日銀		1,000.00
96,522.50	21,500.00			21,500.00	95,522.50
21,500.00					21,500.00
118,022.50					117,022.50

支 拂 帳

昭和×年11月1日

勘定科目	姓 名	當座預金	雜勘定	支拂資金	
				摘要	金額
創業費	石井一郎		1,000 ⁰⁰	受入高	500,000 ⁰⁰
營業用土地	帝都土地		20,000 ⁰⁰		
" 建物	"		9,000 ⁰⁰		
" 什器	中村商會		985 ⁰⁰		
"	田中商店		4,500 ⁰⁰		
"	黒川商店		200 ⁰⁰		
雜費	松屋商店		175 ⁰⁰		
營業用土地	用度方		750 ⁰⁰		
" 建物	"		300 ⁰⁰		
預ヶ金	日本銀行		250,000 ⁰⁰		
	本日殘高		286,910 ⁰⁰		
			213,090⁰⁰		
			500,000 ⁰⁰		500,000 ⁰⁰

昭和×年11月2日

勘定科目	姓 名	當座預金	雜勘定	支拂資金	
				摘要	金額
證書貸付	山本五郎		20,000 ⁰⁰	繰越高	213,090 ⁰⁰
	高橋源一郎	3,500 ⁰⁰		受入高	81,500 ⁰⁰
預ヶ金	日本銀行		50,000 ⁰⁰		
		3,500 ⁰⁰	70,000 ⁰⁰		
			3,500 ⁰⁰		
			73,500 ⁰⁰		
	本日殘高		221,090⁰⁰		
			294,590 ⁰⁰		294,590 ⁰⁰

支 拂 帳

昭和×年11月15日

勘定科目	姓 名	當座預金	雜勘定	支拂資金	
				摘要	金額
	高橋源一郎	1,000 ⁰⁰		繰越高	221,090 ⁰⁰
手形貸付	鳥田泰三		14,893 ⁰⁵	受入高	120,000 ⁰⁰
荷付爲替手形	木村商店		7,971 ⁴⁰		
國債	山一合資		92,000 ⁰⁰		
假拂金	"		950 ⁰⁰		
特別當座	山中元吉		500 ⁰⁰		
	石川孝三	1,000 ⁰⁰			
雜費	用度係		52 ⁵⁰		
			116,366 ⁹⁵		
		2,000 ⁰⁰	2,000 ⁰⁰		
			118,366 ⁹⁵		
	本日殘高		222,723⁰⁵		
			341,090 ⁰⁰		341,090 ⁰⁰

昭和×年11月30日

勘定科目	姓 名	當座預金	雜勘定	支拂資金	
				摘要	金額
別段預金	高木三郎		7,999 ⁰⁰	繰越高	222,723 ⁰⁵
商業手形	三井商店		4,884 ⁵⁰	受入高	70,347 ¹⁰
	支拂保證口	10,000 ⁰⁰			
旅費	木内一郎		200 ⁰⁰		
證書貸付	高村工業		50,000 ⁰⁰		
別段預金	木村商店		2,000 ⁰⁰		
	交換 鎌田一郎	2,000 ⁰⁰			
預金手形	" 山本忠次		3,000 ⁰⁰		
預ヶ金	交換 日本銀行		40,000 ⁰⁰		
給料	社員		350 ⁰⁰		
雜費	用度係		25 ³⁰		
		12,000 ⁰⁰	108,458 ⁸⁰		
			12,000 ⁰⁰		
			120,458 ⁸⁰		
	本日殘高		172,611³⁵		
			293,070 ¹⁵		293,070 ¹⁵

支 拂 帳

昭和×年12月15日

勘定科目	姓 名	當座預金	雜勘定	支 拂 資 金	
				摘要	金額
別段預金	田中正一		5,000.00	繰越高	172,611.35
他店ヨリ預リ	名古屋銀行		1,000.00	受入高	100,979.50
特別當座預ケ金	飯田文吉		1,000.00		
	交換尻日本銀行		65,650.00		
		0.00	72,650.00		
			0.00		
			72,650.00		
	本日騰高		200,940.85		
			273,590.85		273,590.85

昭和×年12月31日

勘定科目	姓 名	當座預金	雜勘定	支 拂 資 金	
				摘要	金額
神戸支店	支拂送金		3,500.00	繰越高	200,940.85
	支拂保証口	2,500.00		受入高	117,022.50
有價證券借入料	住友銀行		14.23		
他店ヨリ預リ	大阪銀行		2,000.00		
他店ヨリ借越	"		1,000.00		
他店へ預ケ	"		3,250.00		
特別當座	飯田文吉		500.00		
雜給手	費用度保		165.38		
	社 員		350.00		
	"		150.00		
	交換山田平一	12,000.00			
	" 石川孝三	5,000.00			
	" 遠山商店	3,500.00			
		23,000.00	10,929.61		
			23,000.00		
			33,929.61		
	本日騰高		284,033.74		
			317,963.35		317,963.35

當座預金元帳

姓名 鎌田一郎 (1)

通帳 A#0001
小切手 #1-25

日附	摘要	小切手 番号	貸方		借方		残高	日数	利率	利息	
			金額	枚数	金額	枚数				借方	貸方
11	通商支取振	1	5,000.00	1		5,000.00	1				
"	手拂立	2	9,907.00	12		14,907.00	12				
"	振保手	3	4,907.00	15		9,814.00	15				
"	換形替		2,907.00	15		7,907.00	15				
"	越息込				2,092.40	2,092.40	1		@0.8	0.00	24.00
"	繰越		22,000.00			22,000.00	44				23.00
"	繰越				24.00	24.00					
"	繰越		2,500.00			2,500.00					
12	通商支取振		10,000.00			10,000.00					
"	手拂立		2,000.00			2,000.00					
"	換形替		10,000.00			10,000.00					
"	越息込		22,000.00			22,000.00					
"	繰越		2,092.40			2,092.40					
"	繰越		0.00			0.00					
"	繰越		431.20			431.20					

姓名 高橋源一郎 (2)

通帳 A#0002
小切手 #26-50

日附	摘要	小切手 番号	貸方		借方		残高	日数	利率	利息	
			金額	枚数	金額	枚数				借方	貸方
11	通商支取振	26	10,000.00	13		10,000.00	13				
"	手拂立	27	6,500.00	1		6,500.00	1				
"	振保手	28	5,500.00	14		5,500.00	14				
"	換形替		7,441.20	15		7,441.20	15				
"	越息込				35,000.00	35,000.00			@0.8	7.70	16.08
"	繰越		19,941.20	43		19,941.20	43				7.70
"	繰越		7,441.20			7,441.20					
"	繰越		16.08			16.08					
"	繰越		6,000.00			6,000.00					

特別當座預金元帳

通帳 B#0001 姓名 山中元吉(1)

日附	摘要	借方	貸方	残高	日数	積數	利率	利息
11 2	通貨		1,500 00	1,500 00	13	19,500 00		
" 15	拂戻	500 00		1,000 00	30	30,000 00		
12 15	繰越	1,000 00		0 00	43	49,500 00	@1.1	5 44
		1,500 00	1,500 00			諸税		0 38
12 16	繰越		1,000 00	1,000 00				5 06
	利息(諸税控除)		5 06	1,005 06				

通帳 B#0002 姓名 飯田文吉(2)

日附	摘要	借方	貸方	残高	日数	積數	利率	利息
11 2	通貨		5,000 00	5,000 00	13	65,000 00		
" 15	"		5,000 00	10,000 00	30	300,000 00		
12 15	拂戻	1,000 00		9,000 00	1	9,000 00		
" "	繰越	9,000 00		0 00	44	374,000 00	@1.1	41 14
		10,000 00	10,000 00			諸税		2 87
12 16	繰越		9,000 00	9,000 00				38 27
" "	利息(諸税控除)		38 27	9,038 27				
" 31	拂戻	500		8,538 27				

定期預金記入帳

日附	番號	預金者	期限	期日	金額	利率	利息			支拂日	備考
							金額	利子諸税	支拂額		
11 2	C#1	村上太郎	一ヶ年	11 2	10,000 ⁰⁰	5%					
" "	C#2	安田合名	一ヶ年	11 2	50,000 ⁰⁰	5%					
" 15	C#3	清水商會	六ヶ月	5 15	100,000 ⁰⁰	5%					
" "	C#4	下田源吉	六ヶ月	5 15	5,000 ⁰⁰	5%					
" 30	C#5	神田商事	一ヶ年	11 30	50,000 ⁰⁰	5%					
					215,000 ⁰⁰						

證書貸付元帳

姓名 山本五郎(1)

昭和年	番號	摘要	期日	借方	貸方	残高
11	2	現金	12 15	20,000 ⁰⁰		20,000 ⁰⁰
12	15	#1取立済			20,000 ⁰⁰	0 ⁰⁰
"	31	日銀小切手	1 30	30,000 ⁰⁰		30,000 ⁰⁰
"	"	次期繰越			30,000 ⁰⁰	0
				50,000 ⁰⁰	50,000 ⁰⁰	
1	1	前期繰越		30,000 ⁰⁰		30,000 ⁰⁰

姓名 高村工業會社(2)

昭和年	番號	摘要	期日	借方	貸方	残高
11	30	現金及日銀小切手	1 15	200,000 ⁰⁰		200,000 ⁰⁰
12	31	次期繰越			200,000 ⁰⁰	0 ⁰⁰
				200,000 ⁰⁰	200,000 ⁰⁰	
1	1	前期繰越		200,000 ⁰⁰		200,000 ⁰⁰

手形貸付元帳

姓名 石川孝三(1)

昭和年	番號	摘要	期日	借方	貸方	残高
11	2	當座預金振替	11 30	10,000 ⁰⁰		10,000 ⁰⁰
"	30	#1取立済			10,000 ⁰⁰	0 ⁰⁰
				10,000 ⁰⁰	10,000 ⁰⁰	

證書貸付記入帳

昭和年	番號	姓名	元丁	擔保品名	擔保品數量	擔保品價額	保證人	貸付金額	期日	利率	摘要	金額	取立日	備考
11	2	山本五郎	1	家屋	2棟	40,000 ⁰⁰	ナシ	20,000 ⁰⁰	12 15	@ 9分		225 ⁰⁰	12 15, 12 15	取立済
"	30	高村工業	2	工場財團	600株	600,000 ⁰⁰	"	200,000 ⁰⁰	1 23	@ 9分	1ヶ月分	1,500 ⁰⁰	12 31	
12	31	山本五郎	1	臺灣糖株	600株	42,000 ⁰⁰	"	30,000 ⁰⁰	1 30	@ 9分				
								250,000 ⁰⁰						

手形貸付記入帳

昭和年	番號	姓名	元丁	擔保品名	擔保品數量	擔保品價額	保證人	手形種類	手形番號	手形日附	満期日	手形金額	利率	摘要	金額	取立日	備考
11	2	石川孝三	1	鐘紡株	80株	15,200 ⁰⁰	ナシ	爲手	# 35	11	2 11 30	10,000 ⁰⁰	2.3		69 ⁰⁰	11 30	取立済
"	15	鳥田泰三	2	鐘國電株	4000株	30,000 ⁰⁰	"	"	# 98	"	15 12 15	15,000 ⁰⁰	2.3		106 ⁹⁵	12 15	書換
"	30	三輪商會	3	鐘國電株		72,000 ⁰⁰	"	"	# 26	"	30 12 31	50,000 ⁰⁰	2.3		368 ⁰⁰	12 31	取立済
12	15	鳥田泰三	2	鐘國電株		30,000 ⁰⁰	"	"	# 126	12 15	1 13	15,000 ⁰⁰	2.3		103 ⁹⁰		
												90,000 ⁰⁰			647 ⁴⁵		

手形貸付元帳

姓名 島田泰三(2)

昭和年	番號	摘要	期日	借方	貸方	殘高
11	15	#2 現金	12 15	15,000.00		15,000.00
12	15	#2書換延期			15,000.00	0.00
"	"	#4 手形書換	1 13	15,000.00		15,000.00
12	31	次期繰越			15,000.00	0.00
				30,000.00	30,000.00	
1	1	前期繰越		15,000.00		15,000.00

姓名 三輪商會(3)

11	30	#3 日銀小切手	12 31	50,000.00		50,000.00
12	31	#3 取立済			50,000.00	0.00
				50,000.00	50,000.00	

當所商業手形記入帳

日附	番號	依頼人	元丁	支拂人	元丁	種類	手番	手形金額	擔保品	擔保品	數量	價額	引割	引割	支拂場所	取立	備考
11	2	#1 藤田一郎	1	黒田商店	2	爲手	#91	10,000.00					44	@2.1	92.40	12 15	取立済
"	30	#2 三井商會	3	岩井商會	4	"	#107	10,000.00					55	@2.1	115.00		再割引ス
								20,000.00							207.00		

他所商業手形記入帳

日附	番號	依頼人	元丁	支拂人	元丁	種類	手番	手形金額	擔保品	擔保品	數量	價額	引割	引割	支拂場所	取立	備考
11	30	名高橋源一郎	5	上山商店	6	爲手	#102	10,000.00					28	@2.1	58.80	11 30	名古屋銀行
12	15	神#1 藤田一郎	4	マレーヤ商會	7	"	#20	15,000.00			230株	18,400.00	27	@2.2	89.10	12 15	神戸支店
								25,000.00							147.90		

荷付爲替手形記入帳

日附	番號	依頼人	荷受人	貨品	數量	價額	運送	種類	保額	會社	金額	手形	手形	手形	金額	引割	引割	手料	手料	發月	發日	支拂地	取立	備考
11	15	北#1 木村商店	近藤商會	雜貨	15捆	10,000.00	鐵道			東邦保險	12,000.00	#39	11 15	11 27	10,000.00	13	@2.2	25.00		11 15	11 15	北海道	11 27	取立

前	次	期	終	日	借	入	金	高
15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00
15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00
15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00

(7) 島根ルヤン一ノ 名簿

前	次	期	終	日	借	入	金	高
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(9) 岩井銀行 名簿

前	次	期	終	日	借	入	金	高
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(口掛金)

(9) 第一建設銀行 名簿

(口掛金)

商業手形元帳

(依頼口)

姓名 黒田 一郎 (1)

(支拂口)

日附	支拂人	満期日	借方	貸方	残高	日附	支拂人	満期日	借方	貸方	残高
11.12.15	黒田商店	12.15	10,000.00	10,000.00	0.00	11.12.15	黒田一郎	12.15	10,000.00	10,000.00	0.00
12.31	黒田商店	1.10	15,000.00	15,000.00	0.00	12.31	黒田一郎	1.10	15,000.00	15,000.00	0.00
1.1	黒田商店		25,000.00	25,000.00	0.00						
1.1	黒田商店		15,000.00	15,000.00	0.00						

姓名 黒田商店 (2)

日附	支拂人	満期日	借方	貸方	残高	日附	支拂人	満期日	借方	貸方	残高
11.12.15	三井商店	12.15	10,000.00	10,000.00	0.00	11.12.15	三井商店	12.15	10,000.00	10,000.00	0.00
12.31	三井商店	1.10	10,000.00	10,000.00	0.00	12.31	三井商店	1.10	10,000.00	10,000.00	0.00
1.1	三井商店		10,000.00	10,000.00	0.00						

姓名 三井商店 (3)

日附	支拂人	満期日	借方	貸方	残高	日附	支拂人	満期日	借方	貸方	残高
11.12.31	岩井商店	1.23	10,000.00	10,000.00	0.00	11.12.31	岩井商店	1.23	10,000.00	10,000.00	0.00
12.31	岩井商店	1.23	10,000.00	10,000.00	0.00	12.31	岩井商店	1.23	10,000.00	10,000.00	0.00
1.1	岩井商店		10,000.00	10,000.00	0.00						

姓名 岩井商店 (4)

日附	支拂人	満期日	借方	貸方	残高	日附	支拂人	満期日	借方	貸方	残高
11.12.31	三井商店	1.23	10,000.00	10,000.00	0.00	11.12.31	三井商店	1.23	10,000.00	10,000.00	0.00
12.31	三井商店	1.23	10,000.00	10,000.00	0.00	12.31	三井商店	1.23	10,000.00	10,000.00	0.00
1.1	三井商店		10,000.00	10,000.00	0.00						

預ケ金元帳

銀行名 日本銀行

昭和年	摘要	小番切手號	借方	貸方	借又貸	残高
11 1	通橋本商會	#1	250,000.00		借	250,000.00
" 2	通橋本商會	#1		45,575.00	貸	204,425.00
" 15	東京銀行	#2	50,000.00		借	254,425.00
" 30	同 三輪商會	#3	100,160.00		借	154,425.00
" "	神戶支店	#4		49,632.00	貸	204,957.00
" "	高交村工業	#5		120,000.00	貸	84,953.00
" "	高交村工業	#5		15,000.00	貸	65,047.00
12 15	鎌田一郎	#6	40,000.00		借	25,047.00
" "	再交割	#6	9,928.00		借	39,975.00
" 15	山本五郎	#7	65,650.00		借	30,029.00
" 31	交換	#7		30,000.00	貸	35,620.00
" "	次期繰越			1,000.00	貸	5,620.00
" "	次期繰越			4,620.00	貸	4,620.00
1 1	前期繰越		515,738.00	515,738.00	借	
			4,620.00		借	4,620.00

支店勘定元帳

神戸支店

昭和年	摘要	借方	貸方	借又貸	残高
11 30	經營資金	120,000.00		借	120,000.00
" "	送金爲替#1		1,500.00	貸	118,500.00
12 15	送金爲替#2		5,000.00	貸	113,500.00
" 31	代金取立手形#1	4,650.00		借	118,150.00
" "	支拂送金#3	3,500.00		借	121,650.00
" "	電送#1		25,000.00	貸	96,650.00
" "	次期繰越		96,650.00	貸	0.00
1 1	前期繰越	128,150.00	128,150.00	借	
		96,650.00		借	96,650.00

他店勘定元帳

北海道銀行 (1)

残高 10,000.00
預リ日歩貸越日歩
① 0.9 ② 1.9

(當方口)

昭和年	摘要	借方	貸方	借又貸	残高
12 31	代金取立手形#1	13,500.00		借	13,500.00
" "	次期繰越	13,500.00		借	13,500.00
1 1	前期繰越		13,500.00	貸	
				貸	8,000.00

大阪銀行 (2)

残高 5,000.00
預リ日歩貸越日歩
① 0.9 ② 1.9

昭和年	摘要	借方	貸方	借又貸	残高
12 15	代金取立手形取立済	5,000.00		借	5,000.00
" "	當座振込		6,000.00	貸	3,250.00
" "	代金取立手形#2	4,250.00		借	3,250.00
" "	次期繰越	9,250.00		借	3,250.00
1 1	前期繰越		3,250.00	貸	
				貸	1,000.00

名古屋銀行 (3)

残高 5,000.00
預リ日歩貸越日歩
① 0.9 ② 1.9

昭和年	摘要	借方	貸方	借又貸	残高
12 15	代金取立手形取立済	5,000.00		借	5,000.00
" "	當座振込		5,000.00	貸	10,000.00
" "	代金取立手形#1	2,500.00		借	7,500.00
" "	次期繰越	10,000.00		借	17,500.00
1 1	前期繰越		20,000.00	貸	
				貸	17,500.00

主要簿及び諸表

振替要	摘要	元丁	振替収入	現金収入	合計	振替要	摘要	元丁	振替支拂	現金支拂	合計
借手	(營) 座川孝三郎	19	9,933.00	10,000.00	34,840.00	(營) 座川孝三郎	19	3,500.00	10,000.00	3,500.00	3,500.00
借手	(特) 別座山元	20	5,575.00	5,000.00	6,500.00	(特) 別座山元	7	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
借手	(定) 期村安	21	45,575.00	10,000.00	60,000.00	(定) 期村安	8	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
借手	(割) 引日本銀行	2	92.40	1,500.00	6,500.00	(割) 引日本銀行	4	44,550.00	44,550.00	44,550.00	44,550.00
借手	(貸) 付金利三	36	65,575.00	50,000.00	45,575.00	(貸) 付金利三	2	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
借手	前日繰越高	1	81,500.00	213,090.00	147,075.00	前日繰越高	1	73,500.00	139,075.00	73,500.00	139,075.00
借手			294,590.00	380,165.00	380,165.00			221,090.00	221,090.00	294,590.00	380,165.00

(借方)

昭和×年11月2日

(貸方)

日記帳

(II)

(借方)

昭和×年11月2日

(貸方)

(III)

振替要	摘要	元丁	振替収入	現金収入	合計	振替要	摘要	元丁	振替支拂	現金支拂	合計
借手	(當) 座石川孝三郎	19	5,000.00	10,000.00	25,000.00	(當) 座石川孝三郎	19	5,000.00	10,000.00	1,000.00	1,000.00
借手	(特) 別座山元	20	10,000.00	5,000.00	5,000.00	(特) 別座山元	20	3,000.00	10,000.00	1,000.00	1,000.00
借手	(定) 期村安	21	3,000.00	2,000.00	105,000.00	(定) 期村安	21	3,000.00	2,000.00	500.00	500.00
借手	(割) 引日本銀行	2	8,000.00	3,000.00	3,000.00	(割) 引日本銀行	2	8,000.00	3,000.00	92,000.00	92,000.00
借手	(貸) 付金利三	36	2,000.00	100,000.00	10,000.00	(貸) 付金利三	36	2,000.00	100,000.00	14,883.05	14,883.05
借手	前日繰越高	1	100,000.00	45,942.00	45,942.00	前日繰越高	1	100,000.00	45,942.00	7,971.40	7,971.40
借手			25,000.00	5,000.00	106.95			25,000.00	5,000.00	2,500.00	2,500.00
借手			10,000.00	5,000.00	100,000.00			10,000.00	5,000.00	2,028.60	2,028.60
借手			5,000.00	2,000.00	28.60			5,000.00	2,000.00	100,000.00	100,000.00
借手			3,000.00	100,000.00	106.95			3,000.00	100,000.00	45,942.00	45,942.00
借手			8,000.00	3,000.00	294,077.55			8,000.00	3,000.00	52.50	52.50
借手			2,000.00	100,000.00	221,090.00			2,000.00	100,000.00	292,441.50	292,441.50
借手			100,000.00	45,942.00	341,090.00			100,000.00	45,942.00	222,723.05	222,723.05
借手			25,000.00	5,000.00	515,167.55			25,000.00	5,000.00	341,090.00	341,090.00

(借方)

昭和×年11月2日

(貸方)

(III)

日 記

昭和×年

(借方)

振替要	摘 要	元 丁	振替収入	現金収入	合 計
諸口	(當座預金) 増補日記帳	19	7,441 20	8,800 00	16,241 20
	(定期預金) 神田商事	21		50,000 00	50,000 00
商手	(預金手形) 三井商店	22	5,000 00		5,000 00
證貸	(當座借越) #5 日本銀行	25	65,047 00		65,047 00
預ケ金	(コ-ルロー) 東京銀行	3	10,000 00		100,000 00
	(手形貸付) 石川孝三	7		10,000 00	10,000 00
他店へ	(荷付爲替手形) 木村商店	6	10,000 00		10,000 00
預ケ	(當座貸越) 高橋源一郎	9	2,500 00		2,500 00
商手	(貸付有價証券) 中野銀行	10	45,942 00		45,942 00
國債	(預ケ金) #3 日本銀行		49,632 00		
手貸	#4 " "		120,000 00		
證貸	#5 " "	2	84,953 00		254,585 00
當座	(他店へ預ケ) 北海道銀行	11	2,000 00		2,000 00
	(神戸支店) 送金#1 田村庫吉	13		1,500 00	1,500 00
商手	(割引料) 三井商店		115 50		
	高橋源一郎	38	58 80		174 30
預ケ金	(貸付金利息) 東京銀行	36	160 00		528 00
手貸	三輪商會	41	368 00		
	(有價証券貸付料) 中野銀行			44 10	44 10
	(受入手數料) 田中正一			1 00	
	田村庫吉			1 00	
	山田平一			1 00	
別段	高木三郎	39	1 00		4 00
	前日繰越高	1	493,218 50	70,347 10	563,565 60
				222,723 50	222,723 05
				293,070 15	786,288 65

帳

(IV)

11月30日

(貸方)

振替要	摘 要	元 丁	振替支拂	現金支拂	合 計
諸口	(當座預金) 増補日記帳	19	2,000 00	12,000 00	14,000 00
	(預金手形) 交換山本忠次	22		3,000 00	3,000 00
受入	(別段預金) 木村商店			2,000 00	
手数料	#3 高木三郎	23	1 00	7,999 00	10,000 00
	(當座借越) 交換尻日本銀行	25		40,000 00	40,000 00
諸口	(手形貸付) #3 三輪商會	7	50,000 00		50,000 00
諸口	(證書貸付) 高村工業	8	150,000 00	50,000 00	200,000 00
諸口	(商業手形) 當#2 三井商店		5,115 50	4,884 50	
"	他#1 高橋源一郎	5	10,000 00		20,000 00
諸口	(預ケ金) 日本銀行	2	100,160 00		100,160 00
諸口	(國債) 中野銀行	4	45,942 00		45,942 00
高橋源一郎	(他店へ預ケ) 北海道銀行	11	10,000 00		10,000 00
預ケ金	(神戸支店) 經營費金 支配人	13	120,000 00		120,000 00
	(給十一月分社員料)	48		350 00	350 00
	(旅費) 木内一郎	49		200 00	200 00
	(雜用度係)	50		25 30	25 30
	本日發高	1	493,218 50	120,458 80	613,677 30
				172,611 35	172,611 35
				293,070 15	786,288 65

(借方)

日 記 帳

昭和×年12月15日

(借方)

(貸方)

振替要	摘要	元	摘要	元	振替要	摘要	元	振替要	摘要	元	振替要	摘要	元
諸	口	19	預金	19	振替支拂	口	19	振替支拂	口	19	現金支拂	口	19
預金利息	山	9,565.81	座増補日記帳	9,565.81	預金	諸	0.00	預金	諸	0.00	現金支拂	諸	0.00
〃	中	5.06	山元文	5.06	特別當座預金	他店ヨリ	20	特別當座預金	他店ヨリ	20	振替支拂	他店ヨリ	20
他店	飯	38.27	段田	38.27	預金	預	22	預金	預	22	現金支拂	預	22
商	田	5,000.00	座中正	5,000.00	借銀	再割手	25	借銀	再割手	25	現金支拂	再割手	25
手	日	14,910.90	書本	14,910.90	貸付	諸	5	貸付	諸	5	現金支拂	諸	5
貸	山	20,000.00	形鳥業	20,000.00	手形	諸	7	手形	諸	7	現金支拂	諸	7
〃	形	15,000.00	手一	15,000.00	借	諸	9	借	諸	9	現金支拂	諸	9
〃	田	10,000.00	貸田	10,000.00	越	他店ヨリ	4	越	他店ヨリ	4	現金支拂	他店ヨリ	4
預	業	63,342.00	手一	63,342.00	越	預	9	越	預	9	現金支拂	預	9
諸	田	23.00	借	23.00	越	預	2	越	預	2	現金支拂	預	2
〃	一	10,000.00	越	10,000.00	越	借	4	越	借	4	現金支拂	借	4
〃	郎	5,000.00	越	5,000.00	越	借	27	越	借	27	現金支拂	借	27
〃	行	10,000.00	越	10,000.00	越	借	11	越	借	11	現金支拂	借	11
預	行	2,000.00	越	2,000.00	越	借	12	越	借	12	現金支拂	借	12
諸	行	5,000.00	越	5,000.00	越	借	13	越	借	13	現金支拂	借	13
〃	行	10,000.00	越	10,000.00	越	借	26	越	借	26	現金支拂	借	26
〃	行	2,000.00	越	2,000.00	越	借	27	越	借	27	現金支拂	借	27
〃	行	5,000.00	越	5,000.00	越	借	28	越	借	28	現金支拂	借	28
〃	行	27,900.00	越	27,900.00	越	借	29	越	借	29	現金支拂	借	29
〃	行	1,000.00	越	1,000.00	越	借	30	越	借	30	現金支拂	借	30
〃	行	10,000.00	越	10,000.00	越	借	31	越	借	31	現金支拂	借	31
〃	行	2,000.00	越	2,000.00	越	借	32	越	借	32	現金支拂	借	32
〃	行	35,620.10	越	35,620.10	越	借	33	越	借	33	現金支拂	借	33
〃	行	27,900.00	越	27,900.00	越	借	34	越	借	34	現金支拂	借	34
〃	行	1,000.00	越	1,000.00	越	借	35	越	借	35	現金支拂	借	35
〃	行	10,000.00	越	10,000.00	越	借	36	越	借	36	現金支拂	借	36
〃	行	2,000.00	越	2,000.00	越	借	37	越	借	37	現金支拂	借	37
〃	行	27,900.00	越	27,900.00	越	借	38	越	借	38	現金支拂	借	38
〃	行	1,000.00	越	1,000.00	越	借	39	越	借	39	現金支拂	借	39
〃	行	10,000.00	越	10,000.00	越	借	40	越	借	40	現金支拂	借	40
〃	行	2,000.00	越	2,000.00	越	借	41	越	借	41	現金支拂	借	41
〃	行	5,000.00	越	5,000.00	越	借	42	越	借	42	現金支拂	借	42
〃	行	35,620.10	越	35,620.10	越	借	43	越	借	43	現金支拂	借	43
〃	行	27,900.00	越	27,900.00	越	借	44	越	借	44	現金支拂	借	44
〃	行	1,000.00	越	1,000.00	越	借	45	越	借	45	現金支拂	借	45
〃	行	10,000.00	越	10,000.00	越	借	46	越	借	46	現金支拂	借	46
〃	行	2,000.00	越	2,000.00	越	借	47	越	借	47	現金支拂	借	47
〃	行	5,000.00	越	5,000.00	越	借	48	越	借	48	現金支拂	借	48
〃	行	35,620.10	越	35,620.10	越	借	49	越	借	49	現金支拂	借	49
〃	行	27,900.00	越	27,900.00	越	借	50	越	借	50	現金支拂	借	50
〃	行	1,000.00	越	1,000.00	越	借	51	越	借	51	現金支拂	借	51
〃	行	10,000.00	越	10,000.00	越	借	52	越	借	52	現金支拂	借	52
〃	行	2,000.00	越	2,000.00	越	借	53	越	借	53	現金支拂	借	53
〃	行	5,000.00	越	5,000.00	越	借	54	越	借	54	現金支拂	借	54
〃	行	35,620.10	越	35,620.10	越	借	55	越	借	55	現金支拂	借	55
〃	行	27,900.00	越	27,900.00	越	借	56	越	借	56	現金支拂	借	56
〃	行	1,000.00	越	1,000.00	越	借	57	越	借	57	現金支拂	借	57
〃	行	10,000.00	越	10,000.00	越	借	58	越	借	58	現金支拂	借	58
〃	行	2,000.00	越	2,000.00	越	借	59	越	借	59	現金支拂	借	59
〃	行	5,000.00	越	5,000.00	越	借	60	越	借	60	現金支拂	借	60
〃	行	35,620.10	越	35,620.10	越	借	61	越	借	61	現金支拂	借	61
〃	行	27,900.00	越	27,900.00	越	借	62	越	借	62	現金支拂	借	62
〃	行	1,000.00	越	1,000.00	越	借	63	越	借	63	現金支拂	借	63
〃	行	10,000.00	越	10,000.00	越	借	64	越	借	64	現金支拂	借	64
〃	行	2,000.00	越	2,000.00	越	借	65	越	借	65	現金支拂	借	65
〃	行	5,000.00	越	5,000.00	越	借	66	越	借	66	現金支拂	借	66
〃	行	35,620.10	越	35,620.10	越	借	67	越	借	67	現金支拂	借	67
〃	行	27,900.00	越	27,900.00	越	借	68	越	借	68	現金支拂	借	68
〃	行	1,000.00	越	1,000.00	越	借	69	越	借	69	現金支拂	借	69
〃	行	10,000.00	越	10,000.00	越	借	70	越	借	70	現金支拂	借	70
〃	行	2,000.00	越	2,000.00	越	借	71	越	借	71	現金支拂	借	71
〃	行	5,000.00	越	5,000.00	越	借	72	越	借	72	現金支拂	借	72
〃	行	35,620.10	越	35,620.10	越	借	73	越	借	73	現金支拂	借	73
〃	行	27,900.00	越	27,900.00	越	借	74	越	借	74	現金支拂	借	74
〃	行	1,000.00	越	1,000.00	越	借	75	越	借	75	現金支拂	借	75
〃	行	10,000.00	越	10,000.00	越	借	76	越	借	76	現金支拂	借	76
〃	行	2,000.00	越	2,000.00	越	借	77	越	借	77	現金支拂	借	77
〃	行	5,000.00	越	5,000.00	越	借	78	越	借	78	現金支拂	借	78
〃	行	35,620.10	越	35,620.10	越	借	79	越	借	79	現金支拂	借	79
〃	行	27,900.00	越	27,900.00	越	借	80	越	借	80	現金支拂	借	80

(借方)

日 記 帳

(借方)

(貸方)

振替要	摘要	元	摘要	元	振替要	摘要	元	振替要	摘要	元	振替要	摘要	元
諸	口	24	形	24	振替支拂	口	24	振替支拂	口	24	現金支拂	口	24
支拂	手	10,000.00	引本	10,000.00	支拂	支拂	14	支拂	支拂	14	現金支拂	支拂	14
〃	銀	20,000.00	行	20,000.00	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	行	758.00	三	758.00	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	商	89.10	割	89.10	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	會	770	引	770	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	社	0.46	山	0.46	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	利	0.38	商	0.38	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	息	2.87	會	2.87	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	〃	1.00	社	1.00	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	〃	1,550.00	利	1,550.00	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	〃	100,979.50	五	100,979.50	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	〃	172,611.35	郎	172,611.35	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	〃	273,590.85	三	273,590.85	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	〃	403,135.00	郎	403,135.00	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	〃	129,544.15	郎	129,544.15	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	〃	1,550.00	三	1,550.00	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	〃	100,979.50	郎	100,979.50	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	〃	172,611.35	郎	172,611.35	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃	〃	273,590.85	郎	273,590.85	支拂	支拂	44	支拂	支拂	44	現金支拂	支拂	44
〃													

(VI)

日 記 帳

(貸方)

昭和×年12月31日

(借方)

振替要	摘要	元丁	振替収入	現金収入	合計	振替要	摘要	元丁	振替支出	現金支出	合計
諸口	(當座預金) 増補日記帳	19	10,081.20	21,500.00	31,581.20	諸口	(當座預金) 増補日記帳	19	6,000.00	23,000.00	29,000.00
諸口	(國債) 住友銀行	4	27,900.00		27,900.00	諸口	(特別當座預金) 飯田文吉	20		500.00	500.00
他店	(商業手形) 高橋源一郎	5	10,000.00		10,000.00	他店	(證券貸付) #3 山本五郎	8	30,000.00		30,000.00
他店	(手形貸付) #3 三輪商會	7		50,000.00	50,000.00	他店	(借入有價證券) 住友銀行	26	27,900.00		27,900.00
他店	(預金) 交換所 日本銀行	2	30,000.00	1,000.00	31,000.00	他店	(他店へ預金) 大阪銀行		10,000.00	3,250.00	13,250.00
他店	(他店へ預金) 電送名古屋銀行	11	5,000.00	2,500.00	7,500.00	他店	(他店ヨリ預金) 支拂送金 大阪銀行	11	5,000.00		18,250.00
他店	(他店ヨリ預金) 代取手 北海道銀行	27		13,500.00	13,500.00	他店	(他店ヨリ借越) 大阪銀行	27	2,500.00	2,000.00	4,500.00
他店	(他店ヨリ借越) 大阪銀行	28	1,000.00		1,000.00	他店	(神戸支店) 支拂送金	28		1,000.00	1,000.00
他店	(當座貸越) 鎌田一郎	9	2,008.80		2,008.80	他店	(支拂承諾) 支拂承諾	13	4,650.00	3,500.00	8,150.00

支拂要	摘要	元丁	振替収入	現金収入	合計	支拂要	摘要	元丁	振替支出	現金支出	合計
支拂要	電送 白石英太郎	13		25,000.00	25,000.00	支拂要	三井商店	29	20,000.00		20,000.00
支拂要	(支拂承諾見返) 三井商店	14	20,000.00		20,000.00	支拂要	(有價證券借入料) 住友銀行	46		14.23	14.23
支拂要	(假拂金) 國債端數利子	35	125.00		125.00	支拂要	(給十二月分社員) 手形	48		350.00	350.00
支拂要	(貸付金利息) 高村工業會社	36	1,500.00		1,500.00	支拂要	(雜用度) 社員費	47		150.00	150.00
支拂要	(有價證券利息) 國債利子	37	1,875.00		1,875.00	支拂要	(預金利息) 當期分定期	50		165.38	165.38
支拂要	(受入手数料) 白石英太郎	39	3.00		3.00	支拂要	(當期分定期) 未経過割引料	43	1,364.57		1,364.57
支拂要	(未拂利息其他) 福田彦一	39	2.50		2.50	支拂要	(未経過割引料) 其ノ他戻入	51		126.15	126.15
支拂要	(未経過割引料其他) 三井商店	39	17.00		17.00	支拂要	(建價) 當期分	45		220.00	220.00
支拂要	(當期分) 當期分	30		1,364.57	1,364.57	支拂要	(什物) 銷却				
支拂要	(業營用建物) 當期減價	31		126.15	126.15	支拂要	(當期分) 當期分				
支拂要	(營業用什器) 當期減價	16		120.00	120.00	支拂要	(本日繰越) 高				
支拂要	(當期減價) 當期減價	17	100.00		100.00	支拂要					
支拂要	前日繰越	1107,760.72	117,022.50	224,783.22	1,107,760.72	支拂要					
支拂要		200,940.85	100,940.85	317,963.35	284,033.74	支拂要					
支拂要		317,963.35	425,724.07		317,963.35	支拂要					
支拂要					141,630.33	支拂要					
支拂要					284,033.74	支拂要					
支拂要					425,724.07	支拂要					

當座預金増補日記帳

昭和×年11月30日

Table with columns: 振替要, 摘要, 振替入, 現入金入, 振替要, 摘要, 振替拂, 現金拂. Includes entries for 山田平一郎, 高橋源一郎, and 石川孝三.

當座預金増補日記帳

昭和×年12月15日

Table with columns: 振替要, 摘要, 振替入, 現入金入, 振替要, 摘要, 振替拂, 現金拂. Includes entries for 山田平一郎, 高橋源一郎, and 石川孝三.

當座預金増補日記帳

昭和×年12月31日

Table with columns: 振替要, 摘要, 振替入, 現入金入, 振替要, 摘要, 振替拂, 現金拂. Includes entries for 山田平一郎, 高橋源一郎, and 石川孝三.

(借方) 繰越日記帳

昭和×年1月1日

(貸方)

Main ledger table with columns: 振替要, 摘要, 元丁, 振替収入, 現金収入, 振替要, 摘要, 元丁, 振替支出, 現金支出, 合計. Includes entries for 株金, 當座預金, 特別當座預金, etc.

(註)教科書181頁の繰越日記注意事項中「未拂利息其ノ他」は「未拂利息戻入」に「未経過割引料其ノ他」は「割引料」に振替へる事が必要であると述べて置いたが、繰越日記で振替へると一寸判り難くなる故繰越日記には振替せぬまゝにして置き、決算翌日の營業日記の際振替へてもよい。その方が生徒諸君には了解し易いと思ふ故ここでは後者の方法を示す。

總勘定元帳

現金 (1)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
11 1	日記帳	1	2,500,000.00	2,286,910.00	借	213,090.00
" 2	"	2	147,075.00	139,075.00	"	221,090.00
" 15	"	3	294,077.55	292,444.50	"	222,723.05
" 30	"	4	563,565.60	613,677.30	"	172,611.35
12 15	"	5	230,523.65	202,194.15	"	200,940.85
" 31	"	6	224,783.22	141,690.33	"	284,033.74
" "	次期繰越	レ		284,033.74		0.00
1 1	前期繰越	7	3,960,025.02	3,960,025.02		
			2,294,076.84	2,041,545.10	借	284,032.74

預金 (2)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
11 1	日記帳	1	250,000.00		借	250,000.00
" 2	"	2	50,000.00	45,575.00	"	254,425.00
" 15	"	3		100,000.00	"	154,425.00
" 30	"	4	100,160.00	254,585.00	"	0.00
12 15	"	5	35,620.10		"	35,620.10
" 31	"	6		31,000.00	"	4,620.10
" "	次期繰越	レ		4,620.00		0.00
1 1	前期繰越	7	435,780.10	435,780.10		
			4,620.10		借	4,620.10

コールローン (3)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
11 15	日記帳	3	100,000.00		借	100,000.00
" 30	"	4		100,000.00	"	0.00
			100,000.00	100,000.00		

國債 (4)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
11 2	日記帳	2	44,850.00		借	44,850.00
" 15	"	3	92,000.00	45,942.00	"	90,908.00
" 30	"	4	45,942.00		"	136,850.00
12 15	"	5	27,900.00	63,342.00	"	101,408.00
" 31	"	6		27,900.00	"	73,508.00
" "	次期繰越	レ		73,508.00		0.00
1 1	前期繰越	7	210,692.00	210,692.00		
			73,508.00		借	73,508.00

商業手形 (5)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
11 2	日記帳	2	10,000.00		借	10,000.00
" 30	"	4	20,000.00		"	30,000.00
12 15	"	5	15,000.00	10,000.00	"	35,000.00
" 31	"	6		10,000.00	"	25,000.00
" "	次期繰越	レ		25,000.00		0.00
1 1	前期繰越	7	45,000.00	45,000.00		
			25,000.00		借	25,000.00

荷付爲替手形 (6)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
11 15	日記帳	3	10,000.00		借	10,000.00
" 30	"	4		10,000.00	"	0.00
			10,000.00	10,000.00		

手形貸付 (7)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
11 2	日記帳	2	10,000.00		借	10,000.00
" 15	"	3	15,000.00		"	25,000.00
" 30	"	4	50,000.00	10,000.00	"	65,000.00
12 15	"	5	15,000.00	15,000.00	"	65,000.00
" 31	"	6		50,000.00	"	15,000.00
" "	次期繰越	レ		15,000.00		0.00
1 1	前期繰越	7	90,000.00	90,000.00		
			15,000.00		借	15,000.00

證書貸付 (8)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
11 2	日記帳	2	20,000.00		借	20,000.00
" 30	"	4	200,000.00		"	220,000.00
12 15	"	5		20,000.00	"	200,000.00
" 31	"	6	30,000.00		"	230,000.00
" "	次期繰越	レ		230,000.00		0.00
1 1	前期繰越	7	250,000.00	200,000.00		
			230,000.00		借	230,000.00

當座貸越 (9)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
11 15	日記帳	3	2,500.00		借	2,500.00
" 30	"	4	4.00	2,500.00	"	0.00
12 15	"	5	2,092.40	23.60	"	2,068.80
" 31	"	6		2,068.80	"	0.00
			4,592.40	4,592.40		

貸付有價証券 (10)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
11 15	日記帳	3	45,942.00		借	45,942.00
" 30	"	4		45,942.00	"	0.00
			45,942.00	45,942.00		

他店へ預ヶ (11)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借文貸	残	高
11 30	日記帳	4	10,000 ⁰⁰	2,000 ⁰⁰	借	8,000 ⁰⁰	
12 15	"	5	10,000 ⁰⁰		"	18,000 ⁰⁰	
" 31	"	6	18,250 ⁰⁰	7,500 ⁰⁰	"	28,750 ⁰⁰	
" "	次期繰越	レ		28,750 ⁰⁰		0 ⁰⁰	
1 1	前期繰越	7	28,750 ⁰⁰	38,250 ⁰⁰	借	28,750 ⁰⁰	

他店へ貸越 (12)

12 15	日記帳	5	2,000 ⁰⁰	2,000 ⁰⁰	借	0 ⁰⁰	
" 31	"	6	2,000 ⁰⁰	2,000 ⁰⁰			

神戸支店 (13)

11 30	日記帳	4	120,000 ⁰⁰	1,500 ⁰⁰	借	118,500 ⁰⁰	
12 15	"	5		5,000 ⁰⁰	"	113,500 ⁰⁰	
" 31	"	6	8,150 ⁰⁰	25,000 ⁰⁰	"	96,650 ⁰⁰	
" "	次期繰越	レ		96,650 ⁰⁰		0 ⁰⁰	
1 1	前期繰越	7	128,150 ⁰⁰	128,150 ⁰⁰	借	96,650 ⁰⁰	

支拂承諾見返 (14)

12 15	日記帳	5	20,000 ⁰⁰		借	20,000 ⁰⁰	
" 31	"	6		20,000 ⁰⁰		0 ⁰⁰	
1 1	前期繰越	7	20,000 ⁰⁰	20,000 ⁰⁰			

営業用土地 (15)

11 1	日記帳	1	20,750 ⁰⁰		借	20,750 ⁰⁰	
12 31	次期繰越	レ		20,750 ⁰⁰		0 ⁰⁰	
1 1	前期繰越	7	20,750 ⁰⁰	20,750 ⁰⁰	借	20,750 ⁰⁰	

営業用建物 (16)

11 1	日記帳	1	9,300 ⁰⁰		借	9,300 ⁰⁰	
12 31	"	6		120 ⁰⁰	"	9,180 ⁰⁰	
" "	次期繰越	レ		9,180 ⁰⁰		0 ⁰⁰	
1 1	前期繰越	7	9,300 ⁰⁰	9,300 ⁰⁰	借	9,180 ⁰⁰	

営業用什器 (17)

11 1	日記帳	1	5,685 ⁰⁰		借	5,685 ⁰⁰	
12 31	"	6		100 ⁰⁰	"	5,585 ⁰⁰	
" "	次期繰越	レ		5,585 ⁰⁰		0 ⁰⁰	
1 1	前期繰越	7	5,685 ⁰⁰	5,685 ⁰⁰	借	5,585 ⁰⁰	

拂込未済株金 (18)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借文貸	残	高
11 1	日記帳	1	2,000,000 ⁰⁰	500,000 ⁰⁰	借	1,500,000 ⁰⁰	
12 31	次期繰越	レ		1,500,000 ⁰⁰		0 ⁰⁰	
" "	"	レ	2,000,000 ⁰⁰	2,000,000 ⁰⁰			
1 1	前期繰越	7	1,500,000 ⁰⁰			1,500,000 ⁰⁰	

當座預金 (19)

11 2	日記帳	2	3,500 ⁰⁰	34,840 ⁹⁰	貸	31,340 ⁹⁰	
" 15	"	3	25,500 ⁰⁰	25,000 ⁰⁰	"	30,840 ⁹⁰	
" 30	"	4	14,000 ⁰⁰	16,241 ²⁰	"	33,082 ¹⁰	
12 15	"	5	22,407 ⁶⁰	9,565 ⁸¹	"	20,240 ³¹	
" 31	"	6	29,000 ⁰⁰	31,581 ²⁰	"	22,821 ⁵¹	
" "	次期繰越	レ		22,821 ⁵¹		0 ⁰⁰	
1 1	前期繰越	7	117,229 ¹¹	117,229 ⁵¹	貸	22,821 ⁵¹	

特別當座預金 (20)

11 2	日記帳	2		6,500 ⁰⁰	貸	6,500 ⁰⁰	
" 15	"	3	500 ⁰⁰	5,000 ⁰⁰	"	11,000 ⁰⁰	
12 15	"	5	1,000 ⁰⁰	43 ³³	"	10,043 ³³	
" 31	"	6	500 ⁰⁰		"	9,543 ³³	
" "	次期繰越	レ		9,543 ³³		0 ⁰⁰	
1 1	前期繰越	7	11,543 ³³	11,543 ³³	貸	9,543 ³³	

定期預金 (21)

11 2	日記帳	2		60,000 ⁰⁰	貸	60,000 ⁰⁰	
" 15	"	3		105,000 ⁰⁰	"	165,000 ⁰⁰	
" 30	"	4		50,000 ⁰⁰	"	215,000 ⁰⁰	
12 31	次期繰越	レ	215,000 ⁰⁰			0 ⁰⁰	
1 1	前期繰越	7	215,000 ⁰⁰	215,000 ⁰⁰	貸	215,000 ⁰⁰	

預金手形 (22)

11 15	日記帳	3		3,000 ⁰⁰	貸	3,000 ⁰⁰	
" 30	"	4	3,000 ⁰⁰	5,000 ⁰⁰	"	5,000 ⁰⁰	
12 15	"	5	5,000 ⁰⁰				
" "	"	レ	8,000 ⁰⁰	8,000 ⁰⁰			

別段預金 (23)

11 15	日記帳	3		10,000 ⁰⁰	貸	10,000 ⁰⁰	
" 30	"	4	10,000 ⁰⁰			0 ⁰⁰	
12 15	"	5	5,000 ⁰⁰	5,000 ⁰⁰		0 ⁰⁰	
" "	"	レ	15,000 ⁰⁰	15,000 ⁰⁰			

再割引手形 (24)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
12 15	日記帳	5		10,000 00	貸	10,000 00
" 31	次期繰越	レ	10,000 00			000
			10,000 00	10,000 00		
1 1	前期繰越	7		10,000 00	貸	10,000 00

當座借越 (25)

11 30	日記帳	4	40,000 00	65,047 00	貸	25,047 00
12 15	"	5	39,957 90	14,910 90		000
			79,957 90	79,957 90		

借入有價証券 (26)

12 15	日記帳	5		27,900 00	貸	27,900 00
" 31	"	6	27,900 00			000
			27,900 00	27,900 00		

他店ヨリ預リ (27)

12 15	日記帳	5	1,000 00	25,000 00	貸	24,000 00
" 31	"	6	4,500 00	13,500 00	"	33,000 00
" "	次期繰越	レ	33,000 00			000
			38,500 00	38,500 00		
1 1	前期繰越	7		33,000 00	貸	33,000 00

他店ヨリ借越 (28)

12 31	日記帳	6	1,000 00	1,000 00		000
			1,000 00	1,000 00		

支拂承諾 (29)

12 15	日記帳	5		20,000 00	貸	20,000 00
" 31	"	6	20,000 00			0 00
			20,000 00	20,000 00		

未拂利息其ノ他 (30)

12 31	日記帳	6		1,364 57	貸	1,364 57
" "	次期繰越	レ	1,364 57			000
			1,364 57	1,364 57		
1 1	前期繰越	7		1,364 57	貸	1,364 57

未経過割引料其ノ他 (31)

12 31	日記帳	6		126 15	貸	126 15
" "	次期繰越	レ	126 15			000
			126 15	126 15		
1 1	前期繰越	7		156 15	貸	126 15

預金利子諸税 (32)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	残高
12 15	日記帳	5		3 25	貸	3 25
" 31	次期繰越	レ	3 25			000
			3 25	3 25		
1 1	前期繰越	7		3 25	貸	3 25

株 金 (33)

11 1	日記帳	1		2,000,000 00	貸	2,000,000 00
12 31	次期繰越	レ	2,000,000 00			000
			2,000,000 00	2,000,000 00		
1 1	前期繰越	7		2,000,000 00	貸	2,000,000 00

創 業 費 (34)

11 1	日記帳	1	1,000 00		借	1,000 00
12 31	次期繰越	レ	1,000 00	1,000 00		000
			1,000 00	1,000 00		
1 1	前期繰越	7		1,000 00	借	1,000 00

假 拂 金 (35)

11 2	日記帳	2	725 00		借	725 00
" 15	"	3	950 00		"	1,675 00
12 15	"	5		1,550 00	"	125 00
" 31	"	6		125 00	"	0 00
			1,675 00	1,675 00		

貸付金利息 (36)

11 2	日記帳	2		66 70	貸	66 70
" 15	"	3		106 95	"	173 65
" 30	"	4		528 00	"	701 65
12 15	"	5		336 66	"	1,038 31
" 31	"	6		1,500 00	"	2,538 31
" "	損 益	元 52	2,538 31			0 00
			2,538 31	2,538 31		

有價証券利息 (37)

12 31	日記帳	6		1,875 00	貸	1,875 00
" "	損 益	元 52	1,875 00			000
			1,875 00	1,875 00		

割 引 料 (38)

11 2	日記帳	2		92 40	貸	92 40
" 15	"	3		28 60	"	121 00
" 30	"	4		174 30	"	295 30
12 13	"	5		89 10	"	384 40
" 31	損 益	元 52	384 40			000
			384 40	384 40		

受入手數料 (39)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
11 30	日記帳	4		400	貸		400
12 15	" " "	5		100	"		500
" 31	" " "	6		2250	"		2750
" "	損益	元52	2750				000
			2750	2750			

有價證券買賣益 (40)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
12 15	日記帳	5		758.00	貸		758.00
12 31	損益	元52	758.00				000
			758.00	758.00			

有價證券貸付料 (41)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
11 30	日記帳	4		44.10	貸		44.10
12 31	損益	元52	44.10				000
			44.10	44.10			

未拂利息其ノ他戻入 (42)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高

預金利息 (43)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
12 15	日記帳	5		144.15	借		144.15
" 31	" " "	6		1,364.57	"		1,508.72
" "	損益	元52	1,508.72				000
			1,508.72	1,508.72			

再割引料 (44)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
12 15	日記帳	5		72.00	借		72.00
" 31	損益	元52	72.00				000
			72.00	72.00			

建物什器價額銷却 (45)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
12 31	日記帳	6		220.00	借		220.00
" "	損益	元52	220.00				000
			220.00	220.00			

有價證券借入料 (46)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
12 31	日記帳	6		14.23	借		14.23
" "	損益	元52	14.23				000
			14.23	14.23			

手當 (47)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
12 31	日記帳	6		150.00	借		150.00
" "	損益	元52	150.00				000
			150.00	150.00			

給料 (48)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
11 30	日記帳	4		350.00	借		350.00
12 31	" " "	6		350.00	"		700.00
" "	損益	元52	700.00				000
			700.00	700.00			

旅費 (49)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
11 30	日記帳	4		200.00	借		200.00
12 31	" " "	6		200.00	"		000
" "	損益	元52	200.00				000
			200.00	200.00			

雜費 (50)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
11 1	日記帳	1		175.00	借		175.00
" 15	" " "	3		52.50	"		227.50
" 30	" " "	4		25.30	"		252.80
12 31	" " "	6		165.38	"		418.18
" "	損益	元52	418.18				000
			418.18	418.18			

未經過割引料其ノ他戻入 (51)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
12 31	日記帳	6		126.15	借		126.15
" "	損益	元52	126.15				000
			126.15	126.15			

損益勘定 (52)

日附	摘要	日丁	借方	貸方	借又貸	殘	高
12 31	貸付金利息	元56		2,538.31			
	有價證券利息	元57		1,875.00			
	割引料	元58		384.40			
	受入手數料	元59		27.50			
	有價證券買賣益	元60		758.00			
	有價證券貸付料	元61		44.10			
	預金利息	元62	1,508.72				
	再割引料	元63	72.00				
	減價銷却	元64	220.00				
	有價證券借入料	元65	14.23				
	手當	元66	150.00				
	給料	元67	700.00				
	旅費	元68	200.00				
	雜費	元69	418.18				
	未經過割引料其他戻入	元70	126.15				
	當期純益金	元71	2,218.03				
			5,627.31	5,627.31			

前期損益金 (53)

1	1	繰越日記	7			2,242.09	貸	2,242.09
---	---	------	---	--	--	----------	---	----------

日 計 表

昭和×年11月1日

借方残高	元丁	勘定科目	貸方残高
213,090 ⁰⁰	1	現金	
250,000 ⁰⁰	2	預金	
20,750 ⁰⁰	15	營業用土地	
9,300 ⁰⁰	16	" 建物	
5,685 ⁰⁰	17	" 什器	
1,500,000 ⁰⁰	18	拂込未済株金	
	33	株創業	2,000,000 ⁰⁰
1,000 ⁰⁰	34	株創業	
175 ⁰⁰	50	雜	
2,000,000 ⁰⁰			2,000,000 ⁰⁰

日 計 表

昭和×年11月2日

借方残高	元丁	勘定科目	貸方残高
221,090 ⁰⁰	1	現金	
254,425 ⁰⁰	2	預金	
44,850 ⁰⁰	4	國債	
10,000 ⁰⁰	5	商業手形	
10,000 ⁰⁰	7	手形貨付	
20,000 ⁰⁰	8	證書貨付	
20,750 ⁰⁰	15	營業用土地	
9,300 ⁰⁰	16	" 建物	
5,685 ⁰⁰	17	" 什器	
1,500,000 ⁰⁰	18	拂込未済株金	
	19	當座預金	31,340 ⁰⁰
	20	特別當座預金	6,500 ⁰⁰
	21	定期預金	60,000 ⁰⁰
	33	株創業	2,000,000 ⁰⁰
1,000 ⁰⁰	34	株創業	
725 ⁰⁰	35	假拂金	
	36	貸付金	66 ⁷⁰
	38	割引	92 ⁴⁰
175 ⁰⁰	50	雜	
2,098,000 ⁰⁰			2,098,000 ⁰⁰

日 計 表

昭和×年11月15日

借方残高	元丁	勘定科目	貸方残高
222,723 ⁰⁵	1	現金	
154,425 ⁰⁰	2	預金	
100,000 ⁰⁰	3	コ - ル - ロ - ャ	
90,908 ⁰⁰	4	國債	
10,000 ⁰⁰	5	商業手形	
10,000 ⁰⁰	6	荷付爲替手形	
25,000 ⁰⁰	7	手形貨付	
20,000 ⁰⁰	8	證書貨付	
2,500 ⁰⁰	9	當座貨越	
45,942 ⁰⁰	10	貸付有價證券	
20,750 ⁰⁰	15	營業用土地	
9,300 ⁰⁰	16	" 建物	
5,685 ⁰⁰	17	" 什器	
1,500,000 ⁰⁰	18	拂込未済株金	
	19	當座預金	30,840 ⁹⁰
	20	特別當座預金	11,000 ⁰⁰
	21	定期預金	165,000 ⁰⁰
	22	預金手形	3,000 ⁰⁰
	23	別段預金	10,000 ⁰⁰
	33	株創業	2,000,000 ⁰⁰
1,000 ⁰⁰	34	株創業	
1,675 ⁰⁰	35	假拂金	
	36	貸付金	173 ⁶⁵
	38	割引	121 ⁰⁰
227 ⁵⁰	50	雜	
2,220,135 ⁵⁵			2,220,135 ⁵⁵

月 計 表

昭和×年12月31日

借 方		貸 方	
残	高	計	高
284,033.74	3,960,025.82	3,675,991.00	
4,620.10	435,780.00	431,160.00	
73,508.00	210,692.00	137,184.00	
25,000.00	45,000.00	20,000.00	
0.00	10,000.00	10,000.00	
0.00	100,000.00	100,000.00	
15,000.00	90,000.00	75,000.00	
230,000.00	250,000.00	20,000.00	
0.00	4,592.00	4,592.00	
0.00	45,942.00	45,942.00	
28,750.00	38,250.00	9,500.00	
0.00	2,000.00	2,000.00	
96,650.00	5,500.00	38,500.00	
	1,000.00	1,000.00	
	128,150.00	31,500.00	
	20,000.00	20,000.00	
	20,000.00	20,000.00	
20,750.00	20,750.00	120.00	
9,180.00	9,300.00	100.00	
5,585.00	5,685.00	100.00	
			33,000.00
			0.00
			0.00

勘定科目
 (現) 現金
 (有) 預金
 (割) 引当
 (貸) 手形
 (貸) 付金
 (他) 店
 (支) 店
 (支) 店
 (勘) 借

借 入		勘 借	
残	高	計	高
1,500,000.00	2,000,000.00	500,000.00	
	94,407.60	2,000,000.00	
	2,000.00	117,229.11	
	8,000.00	11,543.33	
	15,000.00	215,000.00	
	79,957.90	8,000.00	
	27,900.00	15,000.00	
		79,957.90	
		10,000.00	
		10,000.00	
		27,900.00	
		1,364.57	
		126.15	
		3.25	
		1,675.00	
		2,538.31	
		1,875.00	
		384.40	
		27.50	
		758.00	
		44.10	
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00
			22,821.51
			9,543.33
			215,000.00
			0.00
			0.00
			10,000.00
			79,957.90
			10,000.00
			10,000.00
			27,900.00
			1,364.57
			126.15
			3.25
			1,675.00
			2,538.31
			1,875.00
			384.40
			27.50
			758.00
			44.10
			2,000,000.00

第一期 昭和×年 自11月1日 至12月31日 損益計算書

株式會社 東洋銀行

利 益	金 額	損 失	金 額
貸付金利息	2,538.31	預金利息	1,508.72
有價証券利息	1,875.00	再割引料	72.00
割引料	384.40	建物什器償却額	220.00
受入手数料	27.50	有價証券借入料	14.23
有價証券買入益	758.00	手當	150.00
有價証券貸付料	44.10	給料	700.00
		旅費	200.00
		雑費	418.18
		未経過割引料	126.15
		其他戻入	
		計	
		当期利益金	2,218.03
		(内当期純益金)	2,218.03
合 計	5,627.31	合 計	5,627.31

第一期末 昭和×年 12月31日 現在貸借対照表

株式會社 東洋銀行

資 産 (借方)	金 額	負 債 (貸方)	金 額
現金預金勘定	284,033.74	預金勘定	22,821.51
現預金	4,620.10	當座預金	9,543.33
有價証券勘定	73,508.00	特別當座預金	215,000.00
割引手形勘定	25,000.00	定期預金	10,000.00
貸付金形貸付	15,000.00	借用金	33,000.00
貸付証券	230,000.00	他店	1,364.57
他店貸付	28,750.00	雑勘定	126.15
店舗支店	96,650.00	未経過割引料	3.25
不動産勘定	35,515.00	預金利息	2,000,000.00
營業用土地建物什器		株主勘定	2,218.03
雜勘定	1,000.00	当期利益金	
創業勘定			
株主未済株	1,500,000.00		
合 計	2,294,076.84	合 計	2,294,076.84

附 録

講義の都合上、時間に餘裕があつた際は銀行貸借対照表の見方を教へて戴きたい。その資料として拙稿論文を附加する。これは昭和六年十月「銀行研究」に發表の拙文であるが、これによつて唯一つの貸借対照表を如何に分析觀察すればよいかを知り得ようと思ふ。

單一銀行貸借対照表の分析

(1)

企業の財政状態が具體化され、また營利活動が反映せらるゝものは財政表 (Financial Statement) として知られるが、この財政表中貸借対照表は瞬間的な財政状態を展開するものであり、損益計算書は一定期間の營利活動の経過を敘するものである。而して兩者は企業經營分析には缺くべからざる書類なることを俟たぬが、貸借対照表以外は法規によつて公表されることが無いため、所謂考課状を受ける位置にある株主その他僅かの例外の他は、これを知る由もない。尤も貸借対照表に於ても、損益計算書に現はれたる数字の總括は当期損益金として示されるが。

かやうに財政表中、民衆一般に公開されるものは

貸借対照表のみであるから、外観者から企業の経営分析をなし財政安全の程度・経営の巧拙・財政變動の趨勢を知らんがためには、この貸借対照表に頼ることが最も確かなる方法である。そこで現今に於ては貸借対照表分析の研究が頗る著しくなつた。そしてこの分析の進歩が銀行の取引先に對する信用調査(Credit Analysis)に刺戟されたことは見逃し得ない事實である。

しかし筆者は、ここに銀行が取引先に對する信用調査上の貸借対照表分析を論ずるものでなく、逆に所を代へて第三者の立場から銀行貸借対照表を如何に分析するかを研究せんとするものである。

(2)

分析(Analysis)とは貸借対照表に關する限り、これを構成する各項目を検することにして、これには次の三つの點を検することが必要である。その第一は各項目別の検査であり、第二は項目相互關係の検査であり、第三は各項目の全體に對する關係を検査することである。(Gilman; Analysing the Financial Statements, 1925, P. 27)。故に銀行貸借対照表の分析に就いても、これ等の諸點を検することが當然の要求である。

いふ迄もなく銀行貸借対照表は銀行法に従つて法規の附屬雛形に則り極めて詳細にこれを公表することになつてをり、随つて公表形式は全く標準化されて閱覽者には頗る便利であるが、他面貸借対照表に現れる項目が相當複雑なるため、これ等項目の性質を知悉することが分析上肝要である。されば實際はこの貸借対照表項目を知り得て、初めて分析の第一要素たる各項目別の検査が爲し得るものであるが、ここには紙數の關係上、貸借対照表項目の性質に就いては論及しない。

(3)

素より貸借対照表の分析には、唯一つの貸借対照表による場合と、數個の連續する貸借対照表による場合とあり、勿論連續せる複數貸借対照表に基いて分析をなすことが、ヨリ正しい結論に導くのであるが、ここでは差し當り單一貸借対照表(Single Balance Sheet)の分析に限つて研究し、複數貸借対照表の分析に就いては他日を期して論じたいと思ふ。

偕て、單一貸借対照表の分析に就いて觀るに、これには我が國在來から用ひられてゐる方法もあるが、動もすればその分析方法が非科學的なりといふ譏りを免れない。故にこの分析を科學的に行はんが

爲には現今用ひらるゝ分析法の中最も勢力あり且つ重要視せられてゐる比率法 (Ratio Method) によることが或點まで當を得てゐる。ここに於てか、この比率法を單一銀行貸借對照表に就いて試みてみよう。

しかし先づこの比率法を銀行貸借對照表分析に試みる前に、比率とは一體何であるかを明かにしておかねばならない。實に財政表分析に於ける比率とは財政表に現れたる項目二者間の相互關係を表現する割合である。この比率算出には必ず二つの數字を要するもので、唯一個の數字のみでは關係を現す比率は知り得ない。元來財政表に現れる項目は相互間に密接なる關係を有するもの多く、例へば銀行に就いていふならば預金と支拂準備との間、又は預金と貸出との間、或は預金と資本との間等々その間頗る深い關係を有するものにて、これ等個々の單なる表面的數字の分解よりも、これ等項目間の相互關係を分析することが遙に理論的であり且つ正しい結論に導くを以て、この比率が分析上重きを置かるゝ所以である。

通常貸借對照表分析に用ひられる比率には、貸借對照表のみに現れる項目間の比率を代表する靜態

比率 (Static Ratios) 又は財政比率 (Financial Ratios) として知られるものと、賣上量と貸借對照表項目との關係比率である動態比率 (Dynamic Ratios) とがある。これ等二つの比率の内分析上特に重きを置かれるものは靜態比率である。この靜態比率の中にも幾多の比率があるが、就中支拂能力を表現する流動比率 (Current Ratio) と酸性試驗比率 (Acid Test Ratio) 及び資本構成状態を現す負債比率 (Worth & Debts Ratio) とが特にウエイトを置かるゝものである。

しかしながら、商品の販賣を目的とする營利企業の財政分析に用ひられる比率そのものは、信用の受授を目的とする銀行の財政分析には、その儘これを當て嵌めることが不可能である。随つて銀行貸借對照表の分析に比率法を用ひるには、比率法を精神を汲みながら幾分異なつた別個の比率を使用せねばならない。

(4)

借て愈々公表されたる銀行貸借對照表の一つを採つて、これに比率法を試み、その財政状態を判斷してみよう。唯ここに一言斷つて置き度いことがある。それは銀行名は殊更これを避けたことと、また數字がその儘のものでないことである。

銀行貸借対照表の分析に於ては動態比率の計算は不可能である。何となれば銀行に於ける活動は商品を対象とする商事会社と異なり、全活動が販賣の如く明瞭に表示せられざることと、その活動は貸借対照表によつては知り得ないからである。そこで銀行貸借対照表の分析には靜態比率のみが活躍するに過ぎない。

先づ銀行貸借対照表分析に於ける第一の比率は支拂準備率を知ることである。これは一般分析に於ける酸性試験比率に相當するもので、銀行の預金に對する即時的支拂能力を知り得る比率である。故にこの比率は分析をなす者には最も重要視せられるものなること頗る明白である。

この支拂準備率を求めんがためには即座に預金拂戻の請求に應じ得る資産、即ち會計學上所謂迅速資産(Quick Assets)に相當する資産を知らねばならぬ。銀行ではこの資産を支拂準備資産といふが、大藏省に提出すべき支拂準備に關する明細書雛形によれば、我が國で支拂準備資産として認められるものの第一は現金・地金・銀・外國通貨・日本銀行への預ケ金及び郵便振替貯金であり、その第二は、日本銀行以外の銀行への預ケ金・コールローン及び銀行引受手形で

あり、第三は手許所有國債である。第一の集團に屬するものは預金支拂の第一線に立つもので、即時に何等の犠牲を拂はずして、現金化し得る所謂第一次準備(Primary Reserves)として知られるものであり、第二及び第三の集團に屬するものは、引きくるめて所謂第二次準備(Secondary Reserves)といはれるもので、緊急支拂の必要に際しては幾分の犠牲を拂ふならば迅速に而も比較的容易に確實に現金化の可能なるもので、支拂の第二線に立つものである。さればこれ等の準備資産を知るならば、これによつて公表貸借対照表から明らかに支拂準備率を算出し得るものであり、また貸借対照表自體も閱覽者をして、正確な支拂準備率を知り得るやうに工夫されてゐる。

それ故次に示す貸借対照表から預金支拂準備率を知らんとするならば、先づ第一次準備たる現金及び日本銀行への預ケ金を摘出合算し、續いて第二次支拂準備たる日本銀行以外の銀行への預ケ金及び國債手許有高を合算し、然る後兩者を加算して以て總支拂準備資産額を知り、これを預金總額にて除すれば算出し得る譯である。この支拂準備算出法を具體的に示すならば次表の如くである。

第△△期末×年×月現在貸借対照表

株式△△銀行
會社

資産(借方)	金額	負債(貸方)	金額
現金預ケ金勘定	226,685 ²²	預金勘定	5,657,084 ²³
現金	224,255 ⁶⁹	當座預金	755,995 ³⁵
預ケ金	2,429 ⁶⁸	特別當座預金	1,280,703 ⁹¹
(内日本銀行へノ預ケ金)	(454 ⁶⁰)	通知預金	220,000 ⁰⁰
有價證券勘定	3,736,547 ³⁸	定期預金	3,133,116 ⁸²
國債	435,314 ⁷⁸	別段預金	267,268 ¹⁰
(内手許有高)	(1,374 ⁰⁸)	借入金勘定	2,331,560 ³²
地方債	17,670 ⁰⁰	借入金	2,275,000 ⁰⁰
株式	3,283,562 ⁶⁰	當座借越	56,560 ³²
割引手形勘定	130,348 ⁸⁵	コ-ルマネ-	300,000 ⁰⁰
商業手形	103,395 ⁰⁹	他店借	41,506 ⁸⁵
荷付爲替手形	21,953 ⁷⁶	支拂承諾	7,000 ⁰⁰
貸付金勘定	4,576,380 ⁹⁶	雜勘定	56,134 ⁶⁷
手形貸付	3,205,784 ⁴³	未拂利息其ノ他	38,385 ⁴¹
證書貸付	613,411 ²⁷	未経過割引料其ノ他	14,641 ⁷⁵
當座貸越	757,185 ²⁶	預金利子諸税	3,107 ⁴¹
他店貸	58,407 ⁰¹	株主勘定	3,479,608 ⁷⁷
假拂金	5,498 ⁶³	資本金	3,000,000 ⁰⁰
支拂承諾見返	7,000 ⁰⁰	法定準備金	373,000 ⁰⁰
動産不動産	2,132,026 ⁶⁹	行員退職給與基金	6,800 ⁰⁰
營業用土地建物什器	138,941 ³⁵	當期利益金	99,808 ⁷⁷
所有動産不動産	1,993,085 ³⁴	(内前期繰越金)	(69,025 ³³)
株主勘定	1,000,000 ⁰⁰		
拂込未済資本金	1,000,000 ⁰⁰		
合計	11,872,894 ⁷⁴	合計	11,872,894 ⁷⁴

現金	224,255 ⁶⁹	當座預金	755,995 ³⁵
日本銀行へノ預ケ金	454 ⁶⁰	特別當座預金	1,280,703 ⁹¹
第一次支拂準備	224,710 ²³	通知預金	220,000 ⁰⁰
日本銀行以外ノ預ケ金	1,974 ⁰⁸	定期預金	3,133,116 ⁸²
國債手許有高	1,374 ⁰⁸	別段預金	267,268 ¹⁰
第二次支拂準備	3,349 ⁰²	預金總額	5,657,084 ²³
總支拂準備額	228,059 ³⁰		
		$\frac{228,059^{30}}{5,657,084^{23}} = 4.03\% = \text{支拂準備率}$	

かやうにして計算された支拂準備率は、總預金に對して、僅かに4.03パーセントであるが、果してこの準備率は安全線を示すものであるか？ 元來我が國に於てはアメリカの如く法定支拂準備規定がない故、その準備の安全度を知る標準を持たぬが、聞く所によれば大藏省はその標準として東京及び大阪の二大都市に存在する銀行は總預金に對し15パーセント、また特に指定したる都市に存在する銀行は12パーセント、その他の銀行は10パーセントとしてゐるとのことであり、随つて如何なる場合を通じても10パーセント以下の準備率は危険信號點とみられる。それ故前記銀行の支拂準備率は標準線より遙に低く、随つて支拂準備の手薄きことを暴露するものである。

更に支拂準備に就いて一層精しく分析せんがた

めには、要求拂預金と支拂準備資産との比率並びに現金と預金との比率を知ることが必要である。第一の要求拂預金と支拂準備資産との比率は、真に即座に支拂の要求に應じ得る状態を示すもので、その比率は次の如く算出するものである。いふ迄もなく要求拂預金として計算に加ふべきものは當座預金・特別當座預金・預金手形別段預金にして、定期預金と通知預金は除くものである。

この比率を假に支拂準備資産對要求拂預金比率と名附けるが、この銀行に於ける比率は左表の如く

當座預金	755,995 ²⁵
特別當座預金	1,280,703 ²⁵
別段預金	267,268 ¹⁰
要求拂預金	<u>2,303,967⁴¹</u>
支拂準備資産	228,059 ²⁰
	$\frac{228,059^{20}}{2,303,967^{41}} = 9.89\% \text{強}$

9.89 パーセント強に過ぎない。この比率が如何なるパーセンテージを示すならば安全であるかはこれまた銀行の所在地如何によつて異なるが、通常尠くとも40乃至50パーセント程度の比率を有することが必要と思ふ。換言すればこの比率は概要二對一の比率を示せば安全と觀てよい。これに關聯してアメリカの實狀を顧るに、この比率は大體に於て地方銀行(Country Banks)は迅速資産が要求拂預金の40乃至50パーセントあれば十分であり、また準備市

9.89 パーセント強に過ぎない。この比率が如何なるパーセンテージを示すならば安全であるかはこれまた銀行の所在地如何によつて異なるが、通常尠くとも40乃至50パーセント程度の比率を有することが必要と思ふ。換言すればこの比率は概要二對一の比率を示せば安全と觀てよい。これに關聯してアメリカの實狀を顧るに、この比率は大體に於て地方銀行(Country Banks)は迅速資産が要求拂預金の40乃至50パーセントあれば十分であり、また準備市

銀行に於ては勿論この比率以上なることが必要であるが、50乃至60パーセントあれば足るといはれてゐる (How to Analyze a Bank's Statement, P.13.)。

次に現金と預金との比率であるが、これはいふ迄もなく預金に對する手許現金状態即ち "till" money を現すものであるが、これに就いては手許現金と預金總額及び手許現金と要求拂預金との比率を知る必要がある。これ等の比率も、また銀行所在地によつて異なるものであるが、この點は一般支拂準備率と異なり、地方に存在する銀行は都市に存在する銀行に比して幾分高い比率を持たねばならない。何となれば地方銀行は必要に際し、有價證券を處分し或は再割引等を爲して迅速に現金を調達することが困難なる故、平生より相當の現金を準備して置かねばならぬからである。

今この銀行に於ける兩者の比率を算出すれば次表の如くである。

當座預金	755,995 ²⁵
特別當座預金	1,280,703 ²⁵
別段預金	267,268 ¹⁰
要求拂預金	<u>2,303,967⁴¹</u>
手許現金	224,255 ²²
	$\frac{224,255^{22}}{2,303,967^{41}} = 9.73\%$

預金總額	5,657,084 ²³
手許現金	224,255 ²²
	$\frac{224,255^{22}}{5,657,084^{23}} = 3.96\%$

これによつて観れば、現金對要求拂預金比率は9.73パーセント、現金對預金比率は3.96パーセントであるが、いづれにしても低い率といはねばならぬ。アメリカなどに於ては現金對要求拂預金比率は通常一對五即ち20パーセントであるとのことであるが、假令彼我事情を異にするにせよ前記の銀行の現金状態が豊富でないことは十分に知り得る筈である。

尙支拂能力判断に就いて一般分析に於ては流動比率を缺くべからざるものとして尊重してゐるが、銀行は業務の性質上流動比率の援助が比較的薄い故ここには説明しない。

(5)

酸性試験比率にも相當すべき支拂準備率を計算し得た後は、預金と貸付との比率を研究することが必要である。しかしこの比率の研究に先んじて預金構成の分析を爲さねばならぬ。この預金分析は、これまた銀行貸借對照表分析上相當重きを置かれるものである。ロツトキー教授も預金分析に就いて「必ずしもといふ譯ではないが、銀行貸借對照表に於ける最も重要なる、また最も興味ある項目は預金を代表する項目である」と述べてゐる(R. G. Rodkey, The Ban-

king Process P.269)。我が國に於て公表される貸借對照表に於ては預金は英米の如く總括的數字に於て示さることなく各預金毎に詳細に示されてゐる。随つて預金構成の分析は容易に行はれ得る譯である。我が國に於ける預金は當座預金・特別當座預金・通知預金・定期預金・預金手形・別段預金の六種であるが、この中預金手形は多く別段預金に包括せられてをり、また銀行によつては雜預金なる名稱の下に預金手形と別段預金とを合併してゐる。今前記銀行の預金構成比率を示せば次の如くである。

當座預金	755,995 ²²	= 12%
特別當座預金	1,280,703 ²³	= 23%
通知預金	220,000 ²⁴	= 4%
定期預金	3,133,116 ²⁵	= 56%
別段預金	267,268 ²⁶	= 5%
預金總額	5,657,084 ²⁷	= 100%

これによつて観れば定期預金が總預金の56パーセントを占めて第一位にあり、これに次いで特別當座

預金が23パーセントで第二位であり、第三位は12パーセントの當座預金である。これ等の預金構成百分比は大體に於てノーマルの状態にありといふことが出来よう。しかしながら預金分析に關聯して預金を貸付に比較することが最も重要である。この比較は預金對貸付比率によつて明白にされるものである。今この比率を假に貸付比率と呼ぶこと

にするが、この比率の計算は貸付金総額を預金総額で除するものである。ここに貸付金といふも、それは廣義に解釋するもので、これには一般貸付の他に割引手形を含むものである。前記銀行の貸付比率を計算すれば次の如くである。

商業手形	108,395 [〃]	
荷付爲替手形	21,953 [〃]	
割引手形額	130,348 [〃]	= 3%
手形貸付	3,205,784 [〃]	
證書貸付	613,411 [〃]	
當座貸越	757,185 [〃]	
貸付金額	4,576,380 [〃]	= 97%
貸付金總額	4,706,729 [〃]	= 100%
預金總額	5,657,084 [〃]	
	$\frac{4,706,729}{5,657,084} = 83.2\%$	

この貸付比率は銀行の預金運用状態を現すものであるが、この表によつて知る如く前記銀行の貸

付比率は 83.2 パーセントである。果してこの貸付比率が當を得てゐるかどうかは遽に斷定することは困難であるが、大體に於てこの比率が 100 パーセント以下であることは貸付が度を超えて行はれたとは思はれない。唯懸念されることは貸付の内容を検討するに貸付總額の僅かに 3 パーセントが堅實なるべき貸付を代表する割引手形にして、他が殆ど悉く情實貸出の行はれ易い手形及び證書貸付に行はれてゐることである。このことは固定資産中の動産不動産勘定が莫大に巨額なることと相俟つて

嘗て不良貸付の多かりし事と現在にても相當巨額なりやを疑はしむるに十分である。これを要するに貸出比率が 100 パーセントを超ゆることは無謀の貸出擴張あるを疑はしむるものであり、また割引と貸付との百分比に於て、餘りに手形及び證書貸付の割合が大なることは、その内容の不良なることを示すバロメーターである。

(6)

次に貸出比率分析に併行して投資の分析を爲すことが頗る重要である。素より銀行は民衆より預金を受けて、これを割引貸付の形式に於て運用し、以て利益を擧ぐることを目的とする營利企業であるが、この預金に對しては既に知るが如く或程度の支拂準備をせねばならぬ。しかしながら支拂準備として保留するものを餘りに多額に現金及び預け金の状態と爲し置くことは、資金を死藏して収益の増進を妨ぐるを以てその資金の一部を幾分なりとも確實に収益を擧げ而も支拂準備の第二線に立ち得るため有價證券に投資することが常である。故にこの有價證券投資分析は銀行の内容を判斷するに缺くべからざるものの一つである。

この投資分析に當つては先づ投資有價證券の内

容を検せねばならぬ。銀行貸借対照表に於ては投資有價証券は國債・地方債・外國證券・社債・株式の五種に細別して表示されてゐるが、これ等の有價証券の中最も信用あり且つ安全にして而も市場性の頗る大なるものは國債であり、これに次ぐものは地方債であるが、これに反し株式の如き投機證券は堅實なる銀行投資として最も嫌はるゝものであり、危険視せらるゝものである。

前記銀行に於ける投資有價証券の内容は、國債・地方債・株式の三種より成つてゐるが、その百分比は次表の如くである。

國債	435,314 ⁷⁸	=12.0%
地方債	17,670 ⁸⁰	=0.5%
株式	3,283,562 ⁸⁰	=87.5%
有價証券總額	3,736,547 ⁷⁸	=100%

これによつて觀れば、この銀行の有價証券總額は實にその87.5パーセントが投資物として危険視される株式に投資され、最も安全確實なる公債には國債・地方債を合しても僅かに

12.5パーセントに過ぎぬことは、投資が甚だ當を得ず、その間一抹の暗影を投ずるものと觀られ、且つ所有國債四十三萬五千餘圓の内手許有高が僅かに千三百七十餘圓即ち五分の一パーセントに過ぎぬことは借用金勘定の巨額なるに比して恐らくその國

債の大部分が借用金の擔保として提供されたためであらうが、いづれにせよ餘りに第二次支拂準備としての有價証券投資を無視してゐると觀られる。

この有價証券投資分析には、また有價証券と貸出との比較を忘れてはならない。これ蓋し兩者は共に銀行に於ける二大収益資産を構成するものなる故、その割合を觀ることは頗る價值あるがためである。而して兩者の割合は金融事情その他種々の理由によつて支配されるが、孰れにせよ有價証券投資が貸出の30乃至40パーセント程度が當を得てゐるやうに思はれる。若し有價証券投資が50パーセント以上であることは特殊の事情ある外は商業銀行本來の職能を忘れて投資に偏した嫌がある。今ここに解剖俎上にある銀行の兩者の割合を比較すれば次の如くである。

割引手形額	130,348 ⁸⁵
貸付金額	4,576,380 ⁸⁶
貸付金總額	4,706,729 ⁸¹
有價証券投資額	3,736,547 ⁷⁸

これによつて觀れば、有價証券投資が必ずしも片寄り過ぎる嫌はないかも知れぬ

が、既に指摘したるが如く危険極まる株式に殆ど悉く投資せられてゐることは、銀行投資の原則を無視してゐることが明白であるといはれても致方がな

いであらう。

(7)

更に進んでは預金と正味身代(Net Worth)との比率を觀ることが必要である。この比率は大體に於て資本調達の割合を表現するものであるから、これまた頗る重要な比率といふことが出来よう。この比率は通常負債比率(Worth & Debts Ratio)として知られるものに相當するが、銀行はその性質上一般分析の負債比率そのままを直ちに當嵌めることは不可能である。何故ならば銀行はその性質上他人資本(主として預金)に依頼するものであるから、その比率は或點まで大なることが望ましく、またその大なることが他面銀行の信用の高さを示す證左として尊重されるものであるからである。されば銀行に於ては負債比率が餘りに低いことは、警戒を要する一つであるが、さればとて餘りにその比率の高いことも最善の現象ではない。蓋し負債比率の高きに失することは一般企業の“top-heavy” condition の如く嫌はれるものではないとしても、これによつて銀行財政の安全度が薄められるからである。この資本構成の割合を示すと觀られる比率を便宜上正味身代對預金比率と名附けるが、この比率は預金總額を

正味資本額にて除して求めるものである。唯ここに一言説明を要するは、正味身代の計算には拂込未済資本金はこれを除くも、諸種の積立金及び前期繰越金はこれを加へねばならぬことである。

ここに前記銀行の正味身代對預金比率を計算すれば次表の如くである。

拂込資本金	2,000,000 ⁰⁰
法定積立金	373,000 ⁰⁰
前期繰越金	69,025 ⁰⁰
正味身代	2,442,025 ⁰⁰
預金總額	5,657,084 ⁰⁰
$\frac{5,657,084^{00}}{2,442,025^{00}} = 232\%$	

この表によつて知られる如く、その比率は232パーセントであるが、これは言葉を換へれば預金が正味身代の約二倍半であることを示すものである。果

してどの程度の比率が預金と正味身代との調和を保つものであるかは、これまた今日の如き預金偏在の時代には中々斷定を許さぬものであるが大體に於て相當の収益を擧げるためには四倍以上を必要とすることと思ふ。ロツトキー教授がこの點に關しアメリカの實狀を語つてゐるが、それによれば預金と正味身代との公正なる比率は十對一の比率即ち預金は正味身代の十倍である。而して預金が正味身代の五倍以下であるならば、銀行は収益ある企業たることを得ないと一般に考へられてゐる。し

かし大體に於て預金が正味身代の約八倍あれば先づよいと見て差支へない意味を述べてゐる(Rodkey, Op. cit. P. 273)。

このアメリカの比率は、我が國にはその儘適用されぬが、兎に角直前述べた如く、預金が正味身代の四、五倍以上なることが望ましい。故にこの比率が400パーセント以下であることは銀行の活動が不活潑なるか或はその銀行の信用程度の低いためであるかもしれない。前記の銀行に於ける比率が232パーセントに過ぎぬことは、これまた銀行預金が資本金に比して少いことを語るものであり、尙この銀行が預金以外にコストの高い且つ頼るべからざる借入金を相當巨額に擁することは、銀行經營に可成の無理が存在してゐることを暗示するといはねばならない。

(8)

銀行の固定資産は營業用土地建物什器の如き經營に利用する資産と不良貸付の結果、質流れ又は抵當流れとなつて取得する所有動産不動産の如き經營外の資産より構成されてゐる。この中所有動産不動産の多額なることは、それ自體に於て既にその銀行が情實貸付或は不良貸付をなした結果である

ことを暗示するものである。大體に於て銀行は、その性質上製造企業の如く巨額の固定資産を要するものではない。随つて銀行の固定資産は巨額であつてはならない。この固定資産が必要以上に大なるや否やは正味身代と固定資産との比率によつて大體知り得るものである。

この比率を固定比率 (Worth & Fixed Assets Ratio) と名付けてゐるが、この固定比率は正味身代を固定資産額にて除したるものであり、その比率は固定資産の調達状態即ち正味身代の固定化を表現するものである。而してこの比率が100パーセントなる時は正味身代が悉く固定化したることを示すものであり、又これ以下の比率なる時は固定資産に超過投資が行はれてゐることを示すものである。しかしながら銀行に於ける固定比率は銀行存続の期間、銀行の規模等々によつて支配されるものであるが大體に於て古いそして保守的の銀行に於ては、この比率は大なることが望ましく、これに反して新規の銀行に於ては或點までその比率が小なることは止むを得ない。

ここに前記銀行の固定比率を計算すれば次表の如くである。

拂込資本金	2,000,000 ⁰⁰
法定積立金	373,000 ⁰⁰
前期繰越金	69,025 ²⁵
正味身代	2,442,025 ²⁵
營業用土地建物 什	138,941 ²⁵
所有動産不動産	1,993,085 ²⁵
固定資産總額	2,132,026 ⁰⁰
$\frac{2,442,025^{25}}{2,132,026^{00}} = 105\%$	

この表によれば比率は105パーセントを示し殆ど悉くの正味身代が固定化してゐることを語る。これは決して銀行としてはよい比率とはいはれず寧ろ固定資産の超過投資を暴露してゐるといはれよう。殊に固定資産の中不良貸付の結果生じたる所有動産不動産が93パーセント強存在することは愈以てその思を深からしむるものである。

この固定比率に就いてアメリカの書物に次の如きことが書かれてゐる。それは固定資産は積立金より大であつてはならない。換言すれば銀行資本の一部といへども固定資産に投資してはならない。また固定資産は正味身代の50パーセントを超えてはならない。その公正なる割合は正味身代の16乃至19パーセントくらゐであると(How to Analyze a Bank's Statement P. 20)。この言葉は或點まで他山の石として傾聴するに値するであらう。

(9)

最後に正味身代と収益金との比率を研究するこ

とが必要である。これは貸借對照表に示される當期純益金と正味身代との比較によつて知り得るものである。しかし銀行貸借對照表には當期純益金は明瞭に示されてゐない故先づこれを算出することが必要である。その算出法は當期利益金として示されるものより括弧内の前期繰越金(積立金戻入があるならばそれをも加へて)を控除したものである。この純益金を正味身代にて除したものが収益率である。この収益率は大なることが望ましく、これに反してその率が餘りに小なるか又は缺損を示す時は危険信號を示すものである。

前記銀行の収益率を計算すれば次の如くである。

正味身代	2,442,025 ²⁵
當期利益金	99,808 ²⁷
前期繰越金	69,025 ²⁵
當期純益金	30,783 ²⁴
$\frac{30,783^{24}}{2,442,025^{25}} \times 2 = 1.26\%$	

この表によつて知られる如く、この銀行の収益率は僅かに1.26パーセントに過ぎない。斯くの如く収益が低率なる所以は、これまでの分析の結果によつても、當然肯き得るところである。

單一銀行貸借對照表の分析に關する主なる比率に就いて論じたが、尙これ等の比率の他に資本金對積立金の比率、預金對借入金の比率、また支拂能力に

影響を及ぼす支拂承諾の多寡等々の分析に関するものをも論せねばならぬが、紙数の關係上ここに割愛せねばならない。

以上この單一貸借對照表の分析によつても、或點まで銀行財政の正否は判斷出來得るものであるが、唯惜しむらくはこれだけにては財政の趨勢を知り得ない缺陷がある。このことは聽て複數貸借對照表の分析を要求するものである。

發行所	非賣品				昭和十一年九月十二日印 昭和十一年九月二十三日發行
	印刷所	代表者	發行者	著書	
東京市神田區神保町一丁目三番地 富山房	東京市京橋區木挽町三丁目十一番地 新馬堂	同所 坂本嘉治	同所 富山房社長	東京市神田區神保町一丁目三番地 富山房	訂改 近代銀行簿記教授資料

東京市神田區神保町一丁目三番地
富山房
電話神田二七七一八番
振替口座東京五〇一八番

特217

897



終